

令和5年度

Shizuoka City Museum of Art ANNUAL REPORT 2023

静岡市美術館年報 No.14

目次

1. 基本理念・沿革	
1-1 基本理念	3
1-2 沿革	3
1-3 令和5(2023)年度事業一覧	4
2. 展覧会事業	
2-1 英国キュー王立植物園 おいしいボタニカル・アート 食を彩る植物のものがたり	6
2-2 さくらももこ展	16
2-3 カンパール美術館所蔵 プルターニュの光と風 フランス 神秘と伝統の地へ	25
2-4 NHK大河ドラマ特別展 どうする家康	32
2-5 高畑勲展—日本のアニメーションに遺したもの	41
3. 交流事業(教育普及事業)	
3-1 交流事業	50
1) 佐内正史写真展 静岡詩/2) Shizubi Research+「倉俣史朗と静岡」ブレ企画/3) Shizubi シネマアワー/4) しずびオープンアトリエ/ 5) しずびチビッコプログラム/6) 暦とあそぶワークショップ/7) プレゼントワークショップ/8) 夜店市	
3-2 連携事業	59
1) ミュージアム教室・展示解説/2) 生涯学習センター・静岡市美術館連携事業「しずび出前講座」/3) 静岡・音楽館×科学館×美術館共同 事業(三館共同事業)/4) その他施設との連携	
4. 受託事業等	
4-1 受託事業等	63
1) 特集展示 竹久夢二展/2) 静岡市清水文化会館マリナート常設展示「平野富山—清水が生んだ彩色木彫の名匠」	
5. 調査研究・研修受入等	
5-1 調査研究	65
5-2 博物館実習	66
5-3 視察等受入	66
6. 収蔵品・図書等	
6-1 収蔵品・画像貸出	67
6-2 図書等	67
7. 広報活動	
7-1 広報制作物	68
7-2 ウェブサイト	69
7-3 施設広報記録	69
8. 管理運営	
8-1 利用者数	70
8-2 過去展覧会一覧	75
8-3 静岡市美術館運営協議会	79
8-4 組織図・職員名簿	80
8-5 条例・施行規則	81
8-6 施設・建築概要	83

1. 基本理念・沿革

1-1 基本理念

静岡市美術館は、JR静岡駅北口の複合ビル「葵タワー」3階に、平成22年5月に開館、同年10月にグランドオープンしました。「人・地域が躍動する芸術文化の創造・発信」を基本理念に、展示室では、美術を主軸にデザインや工芸など幅広いジャンルの展覧会を開催します。

また、エントランスホールや多目的室、ワークショップ室などの「交流ゾーン」では、様々なアートシーンの紹介や講演会、ワークショップ、コンサート、美術映画の上映など普及事業を実施します。駅から徒歩3分という立地を活かし、誰もが気軽に立ち寄れる“ちょっと面白い街の中の広場”のような美術館を目指しています。

美術館ロゴマーク



美術館のロゴマークは、静岡、そして日本を象徴する富士山をモチーフにしています。重ねられた2つの円には、美術館を中心とした人の輪の広がり、地域と世界を結ぶイメージが表されています。また、視点と興行きの変化による“視ることの楽しさ”にも気付かせてくれます。

デザイン：柿木原政広(アートディレクター /10inc.)

1-2 沿革

平成18(2006)年

3月 「静岡市文化振興ビジョン」策定

平成19(2007)年

3月 「(仮称)静岡市立美術館 基本計画」策定

7月4日 「葵タワー」着工

平成20(2008)年

3月 「(仮称)静岡市立美術館運営実施計画」策定

平成21(2009)年

7月8日 美術館内装建築工事着工[内装設計：(株)丹青研究所、内装建築工事：(株)木内建設]

7月16日 静岡市美術館条例制定

11月12日 静岡市美術館条例施行規則制定

平成22(2010)年

3月24日 静岡市が(財)静岡市文化振興財団を指定管理者に指定

4月1日 「葵タワー」オープン

5月1日 静岡市美術館開館・完成記念式典開催

9月30日まで展覧会関連事業および交流事業を実施

10月1日 静岡市美術館グランドオープン記念式典開催

10月2日 開館記念展<I> 「ポーラ美術館コレクション展 印象派とエコール・ド・パリ」開催(～11月28日)

平成23(2011)年

5月9日 美術館のロゴマークなどヴィジュアル・アイデンティティーが世界3大広告賞のひとつ「The One Show 2011」の銀賞を受賞

平成24(2012)年

1月4日 美術館エントランスホールに漆芸作品「東海道五十三次ひとめ図」設置、除幕式開催

平成25(2013)年

9月14日 来館100万人達成記念式典を実施

平成26(2014)年

5月2日 静岡県教育委員会より博物館相当施設に指定

平成27(2015)年

3月20日 静岡市が(公財)静岡市文化振興財団を第Ⅱ期指定管理者に指定

5月1日 静岡市美術館開館5周年

平成29(2017)年

8月18日 展覧会観覧者100万人達成

令和元(2019)年

10月10日 来館300万人達成記念式典を実施

令和2(2020)年

4月1日 静岡市が(公財)静岡市文化振興財団を第Ⅲ期指定管理者に指定

5月1日 静岡市美術館開館10周年

※過去展覧会一覧は、75～78頁を参照。

1-3 令和5(2023)年度事業一覧

		展覧会	交流事業
令和5年(2023年)	4月	英国キュー王立植物園 おいしいボタニカル・アート 食を彩る植物のものがたり 4月8日-6月4日<開館51日間>	1日 おうちで!しずびオープンアトリエ「縹綯彩色に挑戦!色鮮やかな文様を描こう」(動画配信+貸出キット)(-7月31日)
	5月		3日 Shizubiシネマアワー vol.31 ①『シード~生命の糧~』 4日 同 ②『よみがえりのレシピ』 13日 プレゼントワークショップvol.39「親子でつくる七宝焼の贈り物」 28日 しずびチビッコプログラム「おいしいボタニカル・アート」
	6月		3日 プレゼントワークショップvol.40「親子でつくる七宝焼の贈り物」 ※中止
	7月	さくらももこ展 6月17日-8月23日<開館59日間>	1日 暦とあそぶワークショップvol.25「七夕の準備をしよう!」子ども編・大人編 11日 「佐内正史写真展 静岡詩」(-8月27日) 23日 「静岡詩の解説対照(カイトイショー)」
	8月		1日 おうちで!しずびオープンアトリエ「セルアニメーションに挑戦!」(動画配信+貸出キット)(-3月31日) 5日 しずびチビッコプログラム「さくらももこ展」 11日 しずびオープンアトリエ「セルアニメーションに挑戦!」(-20日) 同 第59回 静岡夏まつり夜店市(-13日)
	9月	カンパール美術館所蔵 ブルターニュの光と風 フランス 神秘と伝統の地へ 9月5日-10月22日<開館42日間>	
	10月		7日 しずびチビッコプログラム「ブルターニュの光と風」
	11月	NHK大河ドラマ特別展 どうする家康 11月3日-12月13日<開館40日間>	11日 Shizubi Research+「倉俣史朗と静岡 プレ企画」パネル展示(-12月24日) 23日 しずびチビッコプログラム「どうする家康」※中止
12月	2日 プレゼントワークショップvol.41「クリスマスの小さな妖精“トムテ”をつくろう!」 子ども編 3日 同 大人編 同 Shizubi Research+「倉俣史朗と静岡 プレ企画」連続トークイベント① 10日 暦とあそぶワークショップvol.26「お正月だ!辰の飾り物に絵付けをしよう」		
	14日 Shizubi Research+「倉俣史朗と静岡 プレ企画」連続トークイベント②		
令和6年(2024年)	1月	高畑勲展—日本のアニメーションに遺したもの 12月27日-3月31日<開館80日間>	
	2月		3日 しずびオープンアトリエ「セルアニメーションに挑戦!」(-3月3日) 4日 Shizubi Research+「倉俣史朗と静岡 プレ企画」連続トークイベント③
	3月		2日 Shizubiシネマアワー vol.32「ユージー・ノルシュテイン《外套》をつくる」 9日 しずびチビッコプログラム「高畑勲展」

2. 展覧会事業 目次

2-1 英国キュー王立植物園 おいしいボタニカル・アート 食を彩る植物のものがたり	6
2-2 さくらももこ展	16
2-3 カンパール美術館所蔵 ブルターニュの光と風 フランス 神秘と伝統の地へ	25
2-4 NHK大河ドラマ特別展 どうする家康	32
2-5 高畑勲展—日本のアニメーションに遺したもの	41

2. 展覧会事業

2-1 英国キュー王立植物園

おいしいボタニカル・アート
食を彩る植物のものがたり

会期：4月8日(土)～6月4日(日)

概要：18～19世紀に世界をリードする大国として発展した英国では、他国との交易や国内での技術革新にともない、世界中の新しい植物が導入、栽培された。これらの植物は英国の食文化の多様性を大きく広げた。

本展では、20万点を超える世界最大規模のボタニカル・アート(植物画)コレクションで知られる英国キュー王立植物園の協力のもと、18～19世紀に描かれた野菜や果物、ハーブやスパイス、お茶などの植物画をはじめ、食卓を飾るティー・セットや当時のレシピ帖ほか資料類など約200点を展示し、新たな植物の発見が英国の食文化にもたらした影響と発展の歴史をひも解いた。観察に基づいた精密な描写と美しさが融合する「おいしい」ボタニカル・アートの世界を、英国の食を彩った植物にまつわる物語とともに紹介した。

巡回先：SOMPO美術館、西宮市大谷記念美術館、広島県立美術館、茨城県近代美術館

主催：静岡市、静岡市美術館 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団、日本経済新聞社、静岡朝日テレビ

特別協力：英国キュー王立植物園

後援：ブリティッシュ・カウンシル、静岡市教育委員会、静岡県教育委員会

協力：日本航空

企画協力：プレントラスト

観覧料：一般 1,300円(1,100円)

大高生・70歳以上 900円(700円)

※()内は前売および20名以上の団体料金

※中学生以下無料

※障がい者手帳等をご持参の方および介助者原則1名は無料

観覧者数：14,632人(有料9,510人、無料5,122人、有料率64.99%)

出品点数：約200点

制作物：

1)チラシ

<仕様>紙：B7ナチュラル 99kg

サイズ・数量：A4 62,000部

2)ポスター

<仕様>紙：ミルトGAスピリット ホワイト 135kg(B1・B2)、

モンテアルパ 120.5kg (B3)

サイズ・数量：B1 50部、B2 2,050部、B3 2,750部(うち400部はJR帯つき)



チラシ表面



チラシ裏面



B1・B2ポスター



B3ポスター

カタログ：

<仕様>190×260mm、186頁



カタログ表紙

カラー図版238点

参考図版(カラー45点)

フィオナ・エインズワース「イントロダクションー英国キュー王立植物園」

シャーロット・ギア「テーブルに美味しい食を運ぶプラントハンティング」

「コラム ジャガイモ」

「コラム イギリスとリンゴ」

「コラム イギリスとイチゴ」

「コラム お茶をめぐる戦争と冒険」

「コラム アフタヌーン・ティーとハイ・ティー」

「コラム 18世紀末から19世紀初頭のティー・セッティング」

「コラム アーツ・アンド・クラフツ運動の時代の喫茶文化」

「コラム コーヒー・ハウス」

「コラム イギリスにおけるチョコレート産業(19世紀)」

「コラム プランテーションと三角貿易」

「コラム イギリスとワイン」

The Recipe of Brasier-Creagh Family / The Royal Horticultural Society / 年譜 / List of Works / 参考文献

執筆：シャーロット・ギア、フィオナ・エインズワース、リン・パーカー、マイケル&マリコ・ホワイトウェイ、小林明子、太田紗世、下村朝香、山下寿水、山口和子、澤渡麻里

編集：(株)プレントラスト、(株)求龍堂

発行：「おいしいボタニカル・アート」カタログ製作委員会©2022

発行年：2022年

普及ツール：

1)本展オリジナルミニDMの作成・配布

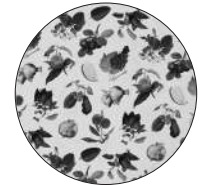
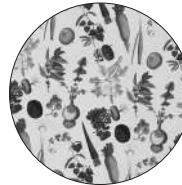
コースター型のミニDMを制作し、市内店舗等へ配布した。

制作物：

◆ミニDM

<仕様>紙：SSコースター0.5mm

サイズ・数量：直径90mm丸型 20,000部



ミニDM表面(計2種)



ミニDM裏面(計2種)

2)本展オリジナルしおりの作成・配布

しおり2種を制作し、静岡市立図書館各館で配布した。

制作物：

◆しおり

<仕様>紙：コート紙 180kg

サイズ・数量：47×143mm 30,000部



しおり表面(計2種)



しおり裏面(計2種)

3)フォトスポットの設置

来館者のSNS等での情報発信を期待し、展示室出口にフォトスポットを設置したほか、展示室内部では、果実画の名手として知られる植物画家の作品を一堂に展示した第2章と、19世紀英国のテーブル・セッティングの再現エリアを撮影可能とした。



4) ゴールデンウィーク特典の実施

4月29日(土・祝)から5月7日(日)の計9日間、15時以降の観覧者各日先着50名に、地元の老舗製茶問屋マルモ森商店が手がける日本茶専門店「chagama」のフレーバーティーをプレゼントした。



各種連携：

1) 近隣店舗との連携

葵タワー内および近隣店舗で、展覧会入場者への優待サービスの実施、本展に合わせた特別メニューの提供を行った。

制作物：

◆チラシ

<仕様>紙：マットコート 70kg

サイズ・数量：A4 4,000部



協賛チラシ表面



協賛チラシ裏面

2) 静岡市美術館×WOMO ～おまちで過ごすボタニカルな一日～ WEBメディア「WOMO」と協力し、本展のチケットを対象店舗にて提示するとお得なサービスが受けられるキャンペーンを実施した。

3) 市内図書館との連携

本展にあわせ、静岡市立中央図書館では4月27日(木)から6月4日(日)まで、同館が所蔵する明治から昭和初期にかけて出版された日本の植物図譜などの展示「和のボタニカルアート」が開催された。



4) 静岡朝日テレビカルチャーとの連携

ティータイム講座とボタニカル・アート実技講座の提案を受け、それぞれ午前は当館で展示解説を行い、午後はカルチャーセンターを会場に、同センターが招聘した講師による体験講座が行われた。

日時：①4月22日(土) ②4月30日(日)

参加者数：①5人 ②7人

主要広報記録：

1) テレビ・ラジオ

- ・「展覧会紹介」静岡朝日テレビ『いろどりナビ』、3月12日放送。
- ・「展覧会紹介」FM-Hil『chalchalサタデー 静岡ドライブインフォメーション』、4月1日放送。
- ・「イギリスの食文化を楽しむ「おいしいボタニカルアート」展」静岡朝日テレビ『県内ニュース』、4月11日放送。
- ・「イギリス 世界各地の植物画展覧会」NHK総合『県内ニュース』、4月15日放送。
- ・「展覧会紹介」静岡朝日テレビ『いろどりナビ』、4月18日放送。
- ・「展覧会紹介」FM-Hil『ひるラジ静岡情報館』、5月4日放送。
- ・「展覧会紹介」静岡朝日テレビ『いろどりナビ』、5月6日放送。
- ・「展覧会紹介」静岡朝日テレビ『いろどりナビ』、5月8日放送。
- ・「「おいしいボタニカルアート」展 1万人目来場者「感激しました」」静岡朝日テレビ『県内ニュース』、5月23日放送。
- ・「展覧会紹介」静岡朝日テレビ『いろどりナビ』、5月26日放送。
- ・「展覧会紹介」NHK総合『さらさらサラダ』、5月26日放送。
- ・「展覧会紹介」NHK総合『ウィークエンド中部』、5月27日放送。

2) 新聞

- ・「食を彩る植物の物語とともに」『日本経済新聞』名古屋版、4月18日。
- ・「英国食文化知るおいしい植物画」『読売新聞』静岡版、5月25日。

3) 雑誌他

- ・「展覧会紹介」『和楽』、2・3月号。
- ・「展覧会紹介」『和楽』、4・5月号。
- ・「知って楽しいアート 植物画 おいしいボタニカル・アートの世界」『小原流 挿花』、4月号。
- ・「展覧会紹介」『美術の窓』、4月号。
- ・「静岡市美術館で「おいしいボタニカル・アート」展開催」『天然生活』、6月号。
- ・「展覧会紹介」『和楽』、6・7月号。
- ・「展覧会紹介」『紺屋町倶楽部通信』、春号。
- ・「展覧会紹介」『すろ〜かる』、4月号。
- ・「「おまちで過ごすボタニカルな一日」コラボイベント開催中」『おだいじにっ記』、春号。
- ・「展覧会紹介」『すろ〜かる』、5月号。
- ・「展覧会紹介」『富士ニュース』、23062号。

4) ウェブサイト等(媒体名のみ記載)

「Fashion Press」、「稲沢ケーブルテレビ」、「旅色」、「びあポイント」、「WOMO」、「NOSAI静岡」、「ケイティコム 今見られる全国のおすすめ展覧会」



5月23日 来場者1万人達成

関連事業：

1) 講演会「文学とアートから見るイギリスの食事」

概要：SOMPO美術館上席学芸員の小林晶子氏を講師に招き、様々な絵画作品やイギリス文学を手がかりに、当時のイギリスの食事情や歴史的背景について詳しく紹介いただいた。イギリスの食文化を具体的にイメージすることができ、展覧会内容をより深く理解することにつながった。参加者からも「食文化の背景に、時代の流れが絡まっていた面白かった」「文学にこんなにも歴史が隠れていたのかとても楽しめた」と好評を得た。

日時：4月22日(土)14:00-15:30

会場：多目的室 参加者数：60人

講師：小林晶子氏(SOMPO美術館上席学芸員)



2) 当館学芸員によるスライドトーク

概要：展覧会に対する理解を深めるため、当館学芸員によるスライドトークを会期中実施した。

日時：5月20日(土)14:00-

会場：多目的室 参加者数：51人

参加料：無料



3) 静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業

サイエンスカフェ「おいしいカンキツ品種を作るには～新品種開発のお話～」

※61頁を参照。

4) ふじのくに地球環境史ミュージアムとの連携

ふじミュ×しずび「ボタニカル・アートのおいしい植物を解剖する」

※62頁を参照。

出品作品リスト

プロローグ 食を支える人々の営み 農耕と市場

作品番号	作家名	作品名	制作年(発行年)	技法・材質	所蔵
1	ロバート・ヒルズ	収穫、休息を取る人々	1817年	鉛筆、水彩／紙	個人蔵
2		牛耕	1823年	水彩／紙	個人蔵
3	チャールズ・ジョン・ワトソン	草刈り鎌をみがく人	1888年	鉛筆／紙	個人蔵
4	アーサー・ヒューズ	牛耕(『ジャックとジル』より)	1913年	インク／紙	個人蔵
5	チャールズ・フレデリック・タニクリフ	草刈り機	1928年	エッチング／紙	個人蔵
6	ジョージ・サミュエル・エルグッド	ヒマワリ	1909年	水彩／紙	個人蔵
7	ウィリアム・ジョゼフ・ボイス	マーケット・レーゼンのコテージ・ガーデン、リンカンシャー州	1922年	水彩／紙	個人蔵
8		子供用皿「パン職人」	1840年頃	陶器	個人蔵
9		パン切り台とナイフ	1900年頃	木、スチール	個人蔵
10	リチャード・アーロム	果物売り(フランス・スナイデルスの作品にもとづく)	1775年	メゾチント／紙	個人蔵
11		葉草(野菜)売り(フランス・スナイデルスの作品にもとづく)	1779年	メゾチント／紙	個人蔵
12	トーマス・パーカー (通称「パースのパーカー」)周辺の画家	野菜を運ぶ人	1830年頃	油彩／キャンヴァス	個人蔵
13		野菜を売る人	1830年頃	油彩／キャンヴァス	個人蔵
14	作者不明	キャベツ売り	19世紀	水彩／紙	個人蔵
15	ジョージ・ランス	静物	1846年	油彩／パネル	個人蔵
16	ウィリアム・ウィーイ・コリンズ	エアフルトの市場	1900年	水彩／紙	個人蔵

第1章 大地の恵み 野菜

作品番号	作家名	作品名	制作年(発行年)	技法・材質	所蔵
17		ジャガイモ(ジョン・ジェラード『本草書または植物の話』より)	1597年	木版／紙	個人蔵
18 (上段)	フレデリック・ホリドール・ノッター	左:ジャガイモ 中:ターニップ(カブ) 右:オーツ妻(『フローラ・ルスティカ』より)	左:1794年 中:1793年 右:1794年	エングレーヴィング、手彩色／紙	個人蔵
18 (下段)		裸オーツ妻 パースニップ 西洋アブラナ(『フローラ・ルスティカ』より)	1794年	エングレーヴィング、手彩色／紙	個人蔵
19	ジョゼフ・ヤコブ・リッター・フォン・ブレンク	ピーツ	1788~1803年頃	エングレーヴィング、手彩色／紙	キュー王立植物園
20		タマネギ	1788~1803年頃	エングレーヴィング、手彩色／紙	キュー王立植物園
21		アスパラガス	1788~1803年頃	エングレーヴィング、手彩色／紙	キュー王立植物園
22		ターニップ(カブ)	1788~1803年頃	エングレーヴィング、手彩色／紙	キュー王立植物園
23		キャベツ	1788~1803年頃	エングレーヴィング、手彩色／紙	キュー王立植物園
24		カリフラワー	1788~1803年頃	エングレーヴィング、手彩色／紙	キュー王立植物園
25		コールラビ	1788~1803年頃	エングレーヴィング、手彩色／紙	キュー王立植物園
26		アンゼリカ	1788~1803年頃	エッチング、手彩色／紙	キュー王立植物園
27	ニコラウス・トーマス・ホスト	大麦	1805年頃	エングレーヴィング、手彩色／紙	キュー王立植物園
28	ヘラルド・ファン・スベンドンク	キノコの習作	1820年頃	水彩、インク／紙	個人蔵
29		トウモロコシ(ジョン・ジェラード『本草書または植物の話』より)	1597年	木版／紙	個人蔵
30	エメ・コンスタン・フィデル・アンリ	トウモロコシ	1828~33年	エングレーヴィング、手彩色／紙	キュー王立植物園
31		ターニップ	1828~33年	リトグラフ、手彩色／紙	キュー王立植物園
32		オリーブ	1828~33年	リトグラフ、手彩色／紙	キュー王立植物園
33	バイレ・ラル	ライ豆	1809年	ガッシュ、水彩、 (おそらく)アラビア・ゴム／紙	キュー王立植物園
34	ウォルター・フッド・フィッチ	キュウリ(シッキム・キュウリ、『カーティス・ボタニカル・マガジン』のための原画)	1876年	水彩／紙	キュー王立植物園
35	エルンスト・ベナリー	トマト	2015年 (原画1889年)	写真印刷(クロモリトグラフによる原画を撮影)	キュー王立植物園

第2章 イギリスで愛された果実 『ポモナ・ロンディネンシス』

作品番号	作家名	作品名	制作年(発行年)	技法・材質	所蔵
36	ウィリアム・フッカー	リンゴ「リプストン・ピピン」	1818年	スティッブル・エングレーヴィング、 アクアチント、手彩色／紙	個人蔵
37		リンゴ「デヴォンシャー・カレンデン」	1818年	スティッブル・エングレーヴィング、 アクアチント、手彩色／紙	個人蔵
38		リンゴ「ケリー・ピピン」	1818年	スティッブル・エングレーヴィング、 アクアチント、手彩色／紙	個人蔵
39		リンゴ「インゲストリ・ピピン」	1818年	スティッブル・エングレーヴィング、 アクアチント、手彩色／紙	個人蔵
40		リンゴ「ヒューズ・ニュー・ゴールデン・ピピン」	1818年	スティッブル・エングレーヴィング、 アクアチント、手彩色／紙	個人蔵
41		リンゴ「コート・オブ・ウィック・ピピン」	1818年	スティッブル・エングレーヴィング、 アクアチント、手彩色／紙	個人蔵

作品番号	作家名	作品名	制作年(発行年)	技法・材質	所蔵
42	ウィリアム・フッカー	リンゴ「マージル」	1818年	スティッブル・エングレーヴィング、 アクアチント、手彩色／紙	個人蔵
43		リンゴ「サイクハウス・アップル」	1818年	スティッブル・エングレーヴィング、 アクアチント、手彩色／紙	個人蔵
44		リンゴ「ロビンソンス・ピピン」	1818年	スティッブル・エングレーヴィング、 アクアチント、手彩色／紙	個人蔵
45		リンゴ「ファーンズ・ゼピン」	1818年	スティッブル・エングレーヴィング、 アクアチント、手彩色／紙	個人蔵
46		リンゴ「ホーソンドン」	1818年	スティッブル・エングレーヴィング、 アクアチント、手彩色／紙	個人蔵
47		洋ナシ「サン・ジェルマン」	1818年	スティッブル・エングレーヴィング、 アクアチント、手彩色／紙	個人蔵
48		洋ナシ「ウォームズリー・ベルガモット」	1818年	スティッブル・エングレーヴィング、 アクアチント、手彩色／紙	個人蔵
49		洋ナシ「ショーモンテル」	1818年	スティッブル・エングレーヴィング、 アクアチント、手彩色／紙	個人蔵
50		洋ナシ「ガンゼルス・ベルガモット」	1818年	スティッブル・エングレーヴィング、 アクアチント、手彩色／紙	個人蔵
51		洋ナシ「アストン・タウン」	1818年	スティッブル・エングレーヴィング、 アクアチント、手彩色／紙	個人蔵
52		洋ナシ「コルマル」	1818年	スティッブル・エングレーヴィング、 アクアチント、手彩色／紙	個人蔵
53		洋ナシ「ブラウン・ビュルレ」	1818年	スティッブル・エングレーヴィング、 アクアチント、手彩色／紙	個人蔵
54		洋ナシ「クラサンヌ」	1818年	スティッブル・エングレーヴィング、 アクアチント、手彩色／紙	個人蔵
55		プラム(西洋スモモ)「アンペラトリス」	1818年	スティッブル・エングレーヴィング、 アクアチント、手彩色／紙	個人蔵
56		プラム(西洋スモモ)「コーズ・ゴールドンドロップ」	1818年	スティッブル・エングレーヴィング、 アクアチント、手彩色／紙	個人蔵
57		プラム(西洋スモモ)「キャサリン」	1818年	スティッブル・エングレーヴィング、 アクアチント、手彩色／紙	個人蔵
58		プラム(西洋スモモ)「プレコス・ド・トゥール」	1818年	スティッブル・エングレーヴィング、 アクアチント、手彩色／紙	個人蔵
59		プラム(西洋スモモ)「グリーン・ゲージ」	1818年	スティッブル・エングレーヴィング、 アクアチント、手彩色／紙	個人蔵
60		プラム(西洋スモモ)「ネクタリン」	1818年	スティッブル・エングレーヴィング、 アクアチント、手彩色／紙	個人蔵
61		プラム(西洋スモモ)「ラ・ロワイヤル」	1818年	スティッブル・エングレーヴィング、 アクアチント、手彩色／紙	個人蔵
62		モモ「ラ・ノブレス」	1818年	スティッブル・エングレーヴィング、 アクアチント、手彩色／紙	個人蔵
63		モモ「ラ・ガランド」	1818年	スティッブル・エングレーヴィング、 アクアチント、手彩色／紙	個人蔵
64		モモ「グリムウッズ・ロイヤル・ジョージ」	1818年	スティッブル・エングレーヴィング、 アクアチント、手彩色／紙	個人蔵
65		アプリコット(アンズ)「ムア・パーク」	1818年	スティッブル・エングレーヴィング、 アクアチント、手彩色／紙	個人蔵
66		サクランボ「エルトン」	1818年	スティッブル・エングレーヴィング、 アクアチント、手彩色／紙	個人蔵
67		サクランボ「ブラック・シルカシアン」	1818年	スティッブル・エングレーヴィング、 アクアチント、手彩色／紙	個人蔵
68		ブドウ「レザンド・カルム」	1818年	スティッブル・エングレーヴィング、 アクアチント、手彩色／紙	個人蔵
69		ブドウ「ブラック・プリンス」	1818年	スティッブル・エングレーヴィング、 アクアチント、手彩色／紙	個人蔵
70		グーズベリー(西洋スグリ)「ウィルモッツ・アーリー・レッド」	1818年	スティッブル・エングレーヴィング、 アクアチント、手彩色／紙	個人蔵
71		フサスグリ(白スグリ)「ホワイト・ダッチ」	1818年	スティッブル・エングレーヴィング、 アクアチント、手彩色／紙	個人蔵
72		ラズベリー「イエロー・アントワープ」	1818年	スティッブル・エングレーヴィング、 アクアチント、手彩色／紙	個人蔵
73		イチゴ「ウィルモッツ・レイト・スカレット」	1818年	スティッブル・エングレーヴィング、 アクアチント、手彩色／紙	個人蔵
74		ヘーゼルナッツ	1818年	スティッブル・エングレーヴィング、 アクアチント、手彩色／紙	個人蔵

第3章 日々の暮らしを彩る飲み物
-1 茶

作品番号	作家名	作品名	制作年(発行年)	技法・材質	所蔵
75	作者不明	チャの木	1800年	エングレーヴィングもしくはエッチング、手彩色／紙	個人蔵
76	インド(カンパニー・スクール)の画家	チャの木	19世紀初め	ガッシュ、アラビア・ゴム／紙	キュー王立植物園
77	ウェッジウッド	ティーキャディー(クイーンズウェア)	1780年頃	クリームウェア、銅版転写	個人蔵
78		ティーポット(クイーンズウェア)	1765～70年	クリームウェア	個人蔵
79	ウースター(ロイヤルウースター)	ティーカップ&ソーサー「クイーン・シャーロット・パターン」	1780年頃	磁器	個人蔵
80a		ティーカップ&ソーサー「ロイヤル・リリー」	1790年頃	磁器	個人蔵
80b		ティーポット「ロイヤル・リリー」	1807年	磁器	個人蔵
80c		シュガーポット「ロイヤル・リリー」	1807年	磁器	個人蔵
81		ティーカップ&ソーサー	1881年	磁器	個人蔵
82	(おそらく)ハーキュラネウム製陶所	ティー・セット	1810年頃	バット印刷、磁器	個人蔵
83	ミントン	ティーカップ&ソーサー	1885年	磁器	個人蔵
84		ティーカップ&ソーサー	1870年 (1869年デザイン)	磁器	個人蔵
85		ティーカップ&ソーサー	1873年 (1872年デザイン)	磁器	個人蔵
86		ケーキ用コンボート(脚付き皿)	1880年頃	磁器	個人蔵
87	ロバート・ヘンネル1世	ティーポット	1781年	銀、木	個人蔵
88	ロバート・ヘンネル3世	ティーポット・セット	1861年	銀	個人蔵
89	スティーブン・アダムズ	クリーム入れ	1791年	銀	個人蔵
90		ミルク入れ	1799年	銀	個人蔵
91		ティーキャディー	18世紀	銀	個人蔵
92		テーブル	1780年頃	木	個人蔵
93		ダム・ウェイター(給仕テーブル)	1780年頃	木	個人蔵
94		椅子(シェルトン様式)	1800年頃	木	個人蔵
95a	ウェッジウッド	ティーカップ&ソーサー「ジャパン・パターン」	1810年頃	陶器	個人蔵
95b		平皿「ジャパン・パターン」	1810年頃	陶器	個人蔵
96		ティーアーン	1800年頃	シェフィールド・プレート	個人蔵
97	ロバート(1世)&サミュエル・ヘンネル	ティーポット	1807年	銀	個人蔵
98		シュガーポット&ミルク入れ	1813年	銀	個人蔵
99		シュガートング	1810年頃	銀	個人蔵
100	マシュー・ポルトン	バスケット	1815年頃	シェフィールド・プレート	個人蔵
101	アーサー・シンプソン・オブ・ケンダル	ゲートレッグ・テーブル(折り畳み式テーブル)	1910年頃	樫	個人蔵
102	フォリー/シェリー	ティー・セット「チューダー・アップル・パターン」	1913年	磁器	個人蔵
103	ケジック・スクール・オブ・インダストリアル・アーツ、ハーバート・マリオン(デザイン)	ティーポット、クリーム入れ、シュガーポット	1910年頃	銅	個人蔵

第3章-2 コーヒー

作品番号	作家名	作品名	制作年(発行年)	技法・材質	所蔵
104	上:ジョゼフ・ヤコブ・リッター・フォン・ブレンク 下:無名の画家	コーヒーの木	上:1788～1803年頃 下:1872年	上:エッチング、手彩色／紙 下:水彩、インク／紙	キュー王立植物園
105	シデナム・ティースト・エドワーズ	コーヒーの木(『カーティス・ボタニカル・マガジン』より)	1810年	エングレーヴィング、手彩色／紙	個人蔵
106	インド(カンパニー・スクール)の画家	コーヒーの木	1810年頃	ガッシュ、アラビア・ゴム／紙	キュー王立植物園
107	ウェッジウッド	コーヒーカップ「ジャパン・パターン」	1810年頃	陶器	個人蔵
108	(おそらく)ハーキュラネウム製陶所	コーヒーカップ&ソーサー	1810年頃	バット印刷、磁器	個人蔵
109	クリストファー・ドレッサー(デザイン)、ミントン	コーヒーカップ&ソーサー	1875年頃	磁器	個人蔵
110	ウースター(ロイヤルウースター)	コーヒーカップ&ソーサー「ウィロー・パターン」	1879年頃	磁器	個人蔵
111		コーヒーカップ&ソーサー「ウィロー・パターン」	1879年頃	磁器	個人蔵
112	ウェッジウッド	コーヒーポット(クイーンズウェア)	1770年頃	クリームウェア、銅版転写	個人蔵
113		コーヒーポット	1780年頃	陶器	個人蔵
114	リチャード・ガーニー	コーヒーポット	1745年	銀	個人蔵
115		コーヒーポット	1800年頃	シェフィールド・プレート	個人蔵

第3章-3 チョコレート(カカオ)

作品番号	作家名	作品名	制作年(発行年)	技法・材質	所蔵
116	無名の北インドの画家、もしくは(おそらく)中国の画家(過去にジャネット・ハットン[1810年代に活躍]の作品とみなされる)	カカオ	1810年頃	ガッシュ/紙	キュー王立植物園
117	ウースター(ロイヤルウースター)	チョコレートカップ&ソーサー	1878年頃	磁器	個人蔵
118	ミントン	チョコレートカップ&ソーサー	1885年頃(1871年デザイン)	陶器	個人蔵

第3章-4 砂糖(サトウキビ)

作品番号	作家名	作品名	制作年(発行年)	技法・材質	所蔵
119	ジョン・B・バーカー	サトウキビ	制作年不明(おそらく19世紀)	おそらくペン、鉛筆、水彩/紙	キュー王立植物園
120		シュガーボウル	1781年	銀	個人蔵

第3章-5 アルコール

作品番号	作家名	作品名	制作年(発行年)	技法・材質	所蔵
121		大麦(ジョン・ジェラード『本草書または植物の話』より)	1597年	木版/紙	個人蔵
122		ホップ(ジョン・ジェラード『本草書または植物の話』より)	1597年	木版/紙	個人蔵
123		ビール用グラス「ラマー」	1820年頃	ガラス	個人蔵
124	フレデリック・ボルドール・ノッダー	大麦(『フローラ・ルスティカ』より)	1794年	エングレーヴィング、手彩色/紙	個人蔵
125		ジン・ボトル	18世紀	ガラス	個人蔵
126	ジョン・ウォルシュ・ウォルシュ	ウイスキーデキャンタ&グラス	1921年頃	ガラス	個人蔵
127	ウィリアム・フッカー	リンゴ「ウォームズリー・ピピン」(『ボモナ・ロンディネンシス』より)	1818年	スティッブル・エングレーヴィング、アクアチント、手彩色/紙	個人蔵
128		シードル用タンカード(ジョッキ)、ハーフバイント	1935年頃	ガラス	個人蔵
129		シードル用酒瓶	1935年頃	硝器	個人蔵
130	イギリスの画家(19世紀)	カトーバドゥ	1863年	水彩/紙	個人蔵
131a		ワイングラス	1775年頃	ガラス	個人蔵
131b		ワイングラス	1775年頃	ガラス	個人蔵
132		ワインボトル	18世紀	ガラス	個人蔵

第4章 あこがれの果物

作品番号	作家名	作品名	制作年(発行年)	技法・材質	所蔵
133	ゲオルク・ディオニコシウス・エーレット	ザクロ	1771年	エングレーヴィング、手彩色/紙	キュー王立植物園
134	インド(カンパニー・スクール)の画家	モモ	18世紀後半	ガッシュ/紙	キュー王立植物園
135	インドの画家	スイカ	19世紀前半	水彩/紙	キュー王立植物園
136	作者不明	ココヤシ	19世紀初め	ガッシュ、水彩(およびおそらくアラビア・ゴム)/紙	キュー王立植物園
137	ピーエル・ジャン・フランソワ・テュルバン	イチゴ「フレジエド・プリマス」	1807~35年	スティッブル・エングレーヴィング、手彩色/紙	個人蔵
138		洋ナシ「ボワール・ドゥフ」	1807~35年	スティッブル・エングレーヴィング、手彩色/紙	個人蔵
139		アーモンド「アマンディエ・ドラ・ジェオルジ」	1807~35年	スティッブル・エングレーヴィング、手彩色/紙	個人蔵
140		アーモンド「アマンディエ・デ・ダム」	1807~35年	スティッブル・エングレーヴィング、手彩色/紙	個人蔵
141		西洋カリ「ネリエ・デ・ボフ」	1807~35年	スティッブル・エングレーヴィング、手彩色/紙	個人蔵
142		西洋カリ「ネフルド・コレア」	1807~35年	スティッブル・エングレーヴィング、手彩色/紙	個人蔵
143		サンザシ	1807~35年	スティッブル・エングレーヴィング、手彩色/紙	個人蔵
144		グーズベリー(西洋スグリ)	1807~35年	スティッブル・エングレーヴィング、手彩色/紙	個人蔵
145	ピーエル・アントワーヌ・ポワト	西洋メギ(バーベリー)	1807~35年	スティッブル・エングレーヴィング、手彩色/紙	個人蔵
146		西洋メギ(バーベリー)	1807~35年	スティッブル・エングレーヴィング、手彩色/紙	個人蔵
147		ピスタチオ	1807~35年	スティッブル・エングレーヴィング、手彩色/紙	個人蔵
148		ビター・オレンジ	1807~35年	スティッブル・エングレーヴィング、手彩色/紙	個人蔵
149	エメ・コンスタン・フィデル・アンリ	ビター・オレンジ	1828~33年	エングレーヴィング、手彩色/紙	キュー王立植物園

作品番号	作家名	作品名	制作年(発行年)	技法・材質	所蔵
150	バンクラス・ベッサ	レモン	1807~35年	スティッフル・エングレーヴィング、手彩色／紙	個人蔵
151	バンクラス・ベッサ	ブドウ[マスカット・オブ・アレキサンドリア]	1807~35年	スティッフル・エングレーヴィング、手彩色／紙	個人蔵
152	作者不明	イチゴ[ストロベリー・オブ・ヴェルサイユ] (『カーティス・ボタニカル・マガジン』より)	1788年	エングレーヴィング、手彩色／紙	個人蔵
153	イギリスの画家(19世紀)	シャンパーニュ・ベリー	1863年	水彩／紙	個人蔵
154		ローズヒップ	19世紀	水彩／紙	個人蔵

第5章 ハーブ&スパイス

作品番号	作家名	作品名	制作年(発行年)	技法・材質	所蔵
155		ニコラス・カルペパー『カルペパー薬草大全』	1814年 (初版1653年)	エングレーヴィング、手彩色／紙	個人蔵
156 (上段)	フレデリック・ボルドール・ノッター	左:サフラン 中:コモン・マスタート(シナピス・ニグラ) 右:ノハラガラシ(シナピス・アルヴェンシス) (『フローラ・ルスティカ』より)	左:1792年 中:1793年 右:1794年	エングレーヴィング、手彩色／紙	個人蔵
156 (下段)		左:キャラウェイ 中:大麻 右:コリアンダー (『フローラ・ルスティカ』より)	左:1793年 中、右:1794年	エングレーヴィング、手彩色／紙	個人蔵
157	シデナム・ティースト・エドワーズ	左:ゴールデン・セージ(サルビア・アウレア) 右:シャイニング・リーヴド・セージ(サルビア・フォルモサ) (『カーティス・ボタニカル・マガジン』より)	左:1792年 右:1797年	エングレーヴィング、手彩色／紙	個人蔵
158		左:マウス・ガーリック(アリウム・アングロサム) 右:ドワーフ・ガーリック(アリウム・カエモリ) (『カーティス・ボタニカル・マガジン』より)	左:1808年 右:1809年	エングレーヴィング、手彩色／紙	個人蔵
159		左:オールスパイス 右:オリエンタル・フェネル・フラワー(ニゲラ・オリエンタリス) (『カーティス・ボタニカル・マガジン』より)	左:1809年 右:1810年	エングレーヴィング、手彩色／紙	個人蔵
160	インドの画家	ショウガ	1765~1815年頃	鉛筆、ガッシュ、 おそらくアラビア・ゴム／紙	キュー王立植物園
161		シナモン	1795~1815年頃	ペン、ガッシュ／紙	キュー王立植物園
162	おそらくインドの画家 (ジャネット・ハットン[1810年代に活躍]の作品と みなされる)	コンショウ	1810年頃	ガッシュ／紙	キュー王立植物園
163	フェルディナント・ルカス・パウアー	ローズマリー	1806年	エングレーヴィング、手彩色／紙	キュー王立植物園
164	エメ・コンスタン・フィデル・アンリ	ペパーミント	1828~33年	リトグラフ、手彩色／紙	キュー王立植物園
165		オレガノ	1828~33年	リトグラフ、手彩色／紙	キュー王立植物園

第6章 ブレジア=クレイ家のレシビ帖と『ビートン夫人の家政読本』

作品番号	作家名	作品名	制作年(発行年)	技法・材質	所蔵
166	メアリ・ブレジア(旧姓クレイ)	ブレジア=クレイ家のレシビ帖	1798年	インク／紙	個人蔵
167 a-c		イザベラ・ビートン著『ビートン夫人の家政読本』	a:1863年、 b:1901年、 c:1920年頃出版	書籍	個人蔵

ヴィクトリア朝のダイニング・テーブル・セッティング

2-2 さくらももこ展

会期：6月17日(土)～8月23日(水)

概要：国民的まんが『ちびまる子ちゃん』の作者として知られ、まんが家だけでなくエッセイスト、作詞家、脚本家と多彩な活動を展開した静岡市清水区(旧清水市)出身のさくらももこ(1965-2018)。本展では『ちびまる子ちゃん』や『COJI-COJI』、1984年のまんが家デビュー作『教えてやるんだありがたく思え!』などの原画のほか、ベストセラーのエッセイ『もものかんづめ』の手書き原稿、初展示となる関連原画や愛用品など約300点を展示した。“描くこと”と“書くこと”を楽しみつくし、季節のうつろいや小さな日常をこよなく愛したさくらももこの全魅力をあますことなく紹介した。

巡回先：高松市美術館、そごう美術館、神戸ゆかりの美術館、長崎県美術館、松坂屋美術館 ほか

主催：静岡市、静岡市美術館 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団、テレビ静岡、中日新聞東海本社

後援：静岡市教育委員会、静岡県教育委員会

企画：集英社、朝日新聞社

協賛：図書印刷、ファミトラ

協力：三菱ケミカルグループ

静岡展特別協賛：アイエイアイ

観覧料：一般 1,300円(1,100円)

大高生・70歳以上 900円(700円)

※()内は前売および20名以上の団体料金

※中学生以下無料

※障がい者手帳等をご持参の方および介助者原則1名は無料

観覧者数：49,369人(有料35,062人、無料14,307人、有料率71.02%)

出品点数：約300点

制作物：

1)チラシ

<仕様>紙：b7トラネクスト 99kg

サイズ・数量：A4 50,000部

2)ポスター

<仕様>紙：b7トラネクスト 99kg

サイズ・数量：B1 60部、B2 2,050部、B3 2,750部(うち400部はJR带つき)



チラシ表面



チラシ裏面



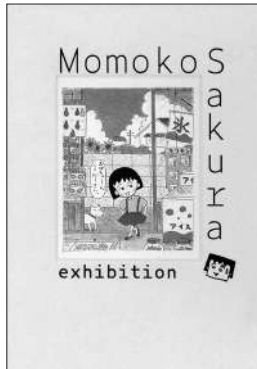
B1・B2ポスター



B3ポスター

カタログ：

<仕様>140×195mm、405頁



カタログ表紙

カラー図版387点

参考図版(カラー2点)

穂波珠絵「ももちゃんとの出会い」
TARAKO「まる子とももこちゃん」
吉本ばなな「あの頃」

さくらももこ略年譜

企画・編集：株式会社 集英社

発行：株式会社 集英社、株式会社 朝日新聞社

発行年：2022年

普及ツール：

1) 静岡展限定プレゼントの実施

会期中の6月、7月の平日にさくらももこの著作をお持ちいただいた観覧者、各日先着50名に、静岡展限定のクリアしおり(4枚綴り)をプレゼントした。

制作物：

◆クリアしおり

<仕様>用紙：PPシート(0.2mm厚)

シートサイズ：148×210mm、しおりサイズ：115×40mm



クリアしおり

2) 夏休み特典の実施

7月22日(土)から8月6日(日)の計14日間、12時以降の小学生の観覧者、各日先着100名に、静岡展限定のクリアしおり(バラ・1枚)をプレゼントした。

3) 学校向け詳細チラシの作成・配布

B5判見開きの詳細チラシを制作し、市内小中学校全生徒へ配布した。

制作物：

◆詳細チラシ

<仕様>紙：b7トラネクスト 86kg

サイズ・加工・数量：B4二つ折り(仕上B5) 94,000部



詳細チラシ表面



詳細チラシ裏面



詳細チラシ中間

4) エントランスホールにて特別展示

さくらももこが静岡市のために描き下ろした「静岡市はいいねえ。」の原画が出品されることにあわせ、静岡市の協力のもと、イラストが使用された過去のノベルティ類をエントランスホールに展示した。また、市内に設置されているちびまる子ちゃんマンホールのマップを新たに作成、掲示し市内の回遊性を高めた。



5)特設パネルの設置

清水庁舎、ちびまる子ちゃんランド、静岡市立中央図書館、静岡科学館る・く・る、の計4ヶ所に特設パネルを設置した。



各種連携：

1)近隣店舗との連携

葵タワー内および近隣店舗で、展覧会入場者への優待サービスの実施、本展に合わせた特別メニューの提供を行った。

制作物：

◆チラシ

<仕様>紙：マットコート 70kg
サイズ・数量：A4 4,000部



協賛チラシ表面



協賛チラシ裏面

2)ちびまる子ちゃんランドとの相互特典の実施

当館でちびまる子ちゃんランドのパスポートを提示すると、当館オリジナルグッズをプレゼント、ちびまる子ちゃんランドで当館の半券を提示すると、入場料10%引き及びノベルティプレゼントとなる相互特典を実施した。

利用者数：ちびまる子ちゃんランド727人、当館491人

3)清水文化会館マリナートとの相互特典の実施

当館で清水文化会館マリナートにて開催の「トムとジェリー カートゥーン・カーニバル」の半券を提示すると、当館オリジナルグッズをプレゼント、清水文化会館マリナートで当館の半券を提示すると、当日料金から100円引きとなる相互特典を実施した。

利用者数：清水文化会館マリナート94人、当館75人

4)市内図書館との連携

本展にあわせ、静岡市立中央図書館では特集コーナーが設置された。

主要広報記録：

1)テレビ・ラジオ

- ・「原画や自筆原稿など300点展示 さくらももこ展開幕」テレビ静岡『県内ニュース』、6月17日放送。
- ・「さくらももこ展 1万人」テレビ静岡『県内ニュース』、7月4日放送。
- ・「展覧会紹介」FM-Hi!『ひるラジ静岡情報館』、8月3日放送。
- ・「さくらももこ展 3万人」テレビ静岡『県内ニュース』、8月8日放送。

2)新聞

- ・「さくらももこ展」『中日新聞』静岡版、1月1日。
- ・「愛おしくて おかしくて さくらももこ展」『中日新聞』静岡版、6月16日。
- ・大海英史「まるちゃん お帰り 出身の静岡 さくらももこ展」『朝日新聞』静岡版、6月18日。
- ・板倉陽佑「さくらももこ展 クスッと笑顔に」『中日新聞』静岡版、6月18日。
- ・伊藤鮎「見どころ紹介1 ももこのデビューまで 故郷清水 ほのぼの」『中日新聞』静岡版、6月27日。
- ・伊藤鮎「見どころ紹介2 ももこと漫画 思い出基に日常描く」『中日新聞』静岡版、6月28日。
- ・伊藤鮎「見どころ紹介3 ももこの言葉 現代の清少納言」『中日新聞』静岡版、6月29日。
- ・伊藤鮎「見どころ紹介4 ももこの毎日 出産後 新たな視点も」『中日新聞』静岡版、7月1日。
- ・伊藤鮎「見どころ紹介5 ももこと静岡 故郷の魅力伝える」『中日新聞』静岡版、7月2日。
- ・小倉貞俊「さくらももこ展 来場1万人」『中日新聞』静岡版、7月5日。
- ・大海英史「さくらももこ展 来場1万人」『朝日新聞』静岡版、7月5日。
- ・板倉陽佑「日常のクスツをズバリ」『中日新聞』静岡版、7月13日。
- ・「「ももこ展」公式図録 通常の2倍ペース」『中日新聞』静岡版、7月23日。
- ・丘絢太「原画や愛用品300点 来場者1万人超える」『毎日新聞』静岡版、7月23日。
- ・後藤貴子「夢を紡ぐ究極のあそび場 上」『中日新聞』静岡版、7月31日。
- ・戸塚恵子「小さな世界に思い出再現 下」『中日新聞』静岡版、8月2日。
- ・板倉陽佑「「ももこ展」3万人突破」『中日新聞』静岡版、8月9日。

3)雑誌他

- ・「展覧会紹介」『MOE』、2月号。
- ・「展覧会紹介」『和楽』、4・5月号。
- ・「さくら先生の出身地・静岡で「さくらももこ展」が開催!」『めばえ』、6月号。
- ・「展覧会紹介」『月刊なごや』、第487号。
- ・「展覧会紹介」『和楽』、6・7月号。
- ・「まだ知らない“ももこ”に出会える!「さくらももこ展」に行こう」『MOE』、6月号。
- ・「展覧会紹介」『りぼん』、6月特大号。
- ・「展覧会紹介」『ね〜ね〜』、6・7月号。
- ・「展覧会紹介」『りぼん』、7月特大号。
- ・「子どもも大人も大好き!さくらももこさんの展覧会」『月刊クレーン』、7月号。

- ・「展覧会紹介」『懸賞ナビ』、7月号。
- ・「展覧会紹介」『和楽』、8・9月号。
- ・「展覧会紹介」『美術の窓』、7月号。
- ・「静岡市美術館で「さくらももこ展」開催」『天然生活』、9月号。
- ・「展覧会紹介」『アートコレクターズ』、7月号。
- ・「展覧会紹介」『美術の窓』、9月号。
- ・「展覧会紹介」『中日ショッパー』、vol.2478。
- ・「展覧会紹介」『リビング静岡』、1734号。
- ・「展覧会紹介」『ポトス』、2023春号。
- ・「展覧会紹介」『すろ〜かる』、6月号。
- ・「展覧会紹介」『freek』、vol.153 通巻第215号。
- ・「展覧会紹介」『リビング静岡』、1737号。

- ・「展覧会紹介」『すろ〜かる』、7月号。
- ・「展覧会紹介」『清水ベイプレス』、第951号。
- ・「展覧会紹介」『5市2町 GO TO』、2023 Summer 第19号。
- ・「展覧会紹介」『すろ〜かる』、8月号。
- ・「大人から子どもまで惹きつける唯一無二の感性「さくらももこ展」開催レポート」『arch』AUGUST 2023 VOL.169。

4)ウェブサイト等(媒体名のみ記載)

「Sfumart」、「WOMO」、「リビング静岡」、「Live Art Japan」、「アートアジェンダ」、「美術展ナビ」、「稲沢ケーブルテレビ」、「LINE配信」、「チケットぴあ(サイト、Twitter、メルマガ)」、「ぴあポイント」、「アットエス」、「Fashion Press」、「寧浄(ninjin)」Instagram」



8月8日 来場者3万人達成

関連事業：

1)静岡展開催記念 スペシャルトークショー

概要：さくらももこと同時期に「りぼん」で活躍し、交友のあったまんが家の水沢めぐみ氏と、元「りぼん」担当編集者が登壇し、担当学芸員が司会進行した。520人の申込から当選した73人が参加した。展覧会の感想や作品を手伝ったエピソードなど、親しい間柄だからこそわかる話が展開され、さくらももこの魅力が伝わる内容だった。軽妙な2人の語り到时折笑いが起こるなど、会場全体が一体となり、1時間という短い時間ながら充実した事業となった。

日時：6月24日(土)14:00-15:00

会場：多目的室 **参加者数：**73人

ゲスト：水沢めぐみ氏(まんが家)



序章 さくらももこができるまで

	○ 『ひとりずもう』扉絵	2005年 小学館
	○ 『教えてやるんだありがたく思え!』	デビュー作「りぼんオリジナル」1984年冬の号 集英社
	○	『富士山』第4号 2000年 新潮社
	○ 『ももこのほのぼの劇場』	
	・ いつものかえりみち 扉絵	『りぼんオリジナル』1988年早春の号 集英社
	・ 放課後の学級会	『りぼんオリジナル』1988年冬の号 集英社
	・ 陽だまりの粒	『りぼんオリジナル』1991年早春の号 集英社
資料	○ 大好きな先生からもらったお菓子の箱	1976年
資料	○ さくらももこが小学1年生の時に描いた絵日記(複製)	『富士山』第4号 2000年 新潮社
資料	○ 小学校の卒業文集(作文のみ複製)	1977年

第1章 ももことちびまる子ちゃん

	○ —	1990年
	○ 『ちびまる子ちゃん』	
	・ 1巻 表紙絵	『りぼんマスコットコミックス』1987年 集英社
	・ その1 おっちゃんのまほうカードの巻	『りぼん』1986年8月号 集英社
	・ その44 まる子 山口百恵のコンサートに行くの巻(まる子)	『りぼん』1990年5月号 集英社
	・ その65 たまちゃん、大好きな巻(たまちゃん)	『りぼん』1992年2月号 集英社
	・ その96 青春てなんだろうの巻(野口さん)	『りぼん』1994年12月号 集英社
	・ その70 まる子は盆栽好きの巻(はまじ)	『りぼん』1992年7月号 集英社
	・ その39 男子対女子大戦争の巻(丸尾君)	『りぼん』1989年12月号 集英社
	・ その69 とくちゃんはお人よしの巻(花輪くん)	『りぼん』1992年6月号 集英社
	・ その79 なかよしの集いの巻(みぎわさん)	『りぼん』1993年4月号 集英社
	・ その111 藤木のひきょうを直す会の巻(藤木)	『りぼん』1996年3月号 集英社
	・ その66 永沢君の家 火事になるの巻(永沢君)	『りぼん』1992年3月号 集英社
	・ その116 山根、手相に凝るの巻(山根)	『りぼん』2002年4月号 集英社
	・ その122 小杉、みんなによい心配をかけるの巻(小杉)	『りぼん』2008年1月号 集英社
	・ その46 まる子 まぼろしの洋館を見るの巻(ブー太郎)	『りぼん』1990年7月号 集英社
	・ その71 まる子 きもだめしに出かけるの巻(山田)	『りぼん』1992年8月号 集英社
	・ その29 まるちゃんカゼをひくの巻	『りぼん』1989年1月号 集英社
	・ その33 おかあさんの日の巻	『りぼん』1989年5月号 集英社
	・ その36 まるちゃん南の島へ行くの巻(後編)	『りぼん』1989年9月号 集英社
	・ その37 ゆううつな参観日の巻	『りぼん』1989年10月号 集英社
	・ その40 まるちゃん年賀状をかくの巻	『りぼん』1990年1月号 集英社
	・ その41 まるちゃん学校でお腹いたくなるの巻	『りぼん』1990年2月号 集英社
	・ その42 まるちゃん熱帯魚を飼うの巻	『りぼん』1990年3月号 集英社
	・ その43 まるちゃん 自分の部屋がほしくなるの巻	『りぼん』1990年4月号 集英社
	・ その51 ゆうかい 犯に気をつけるの巻	『りぼん』1990年12月号 集英社
	・ その54 まる子 不幸の手紙をもらうの巻	『りぼん』1991年3月号 集英社
	・ その62 おねえちゃん ついにまる子にあいそをつかすの巻	『りぼん』1991年11月号 集英社
	・ その66 永沢君の家 火事になるの巻	『りぼん』1992年3月号 集英社
	・ その80 まる子 おすし屋さんに行くの巻	『りぼん』1993年5月号 集英社
	・ その45 お父さんとお母さんけんかするの巻 扉絵	『りぼん』1990年6月号 集英社
	・ その50 まる子 ノストラダムスの予言を気にするの巻 扉絵	『りぼん』1990年11月号 集英社
	・ その62 おねえちゃん ついにまる子にあいそをつかすの巻 扉絵	『りぼん』1991年11月号 集英社
	・ 9巻 表紙絵	『りぼんマスコットコミックス』1992年 集英社
	・ その71 まる子 きもだめしに出かけるの巻 扉絵	『りぼん』1992年8月号 集英社
	・ その72 すず虫がうるさいの巻 扉絵	『りぼん』1992年9月号 集英社
	・ その74 ビートルズとずるとるびの巻 扉絵	『りぼん』1992年11月号 集英社
	・ その115 藤木のかした30円の巻 扉絵	『りぼん』2002年1月号 集英社
	○ 『りぼん』表紙絵	1988年12月号 集英社
	○ まるちゃんカルタ	『りぼん』1988年2月号 ふろく 集英社
	○ まるちゃんおぼけごっこレター	『りぼん』1988年8月号 ふろく 集英社
	○ 『まんが倶楽部』第1回 ちびしかくちゃん	『グラウンドジャンプ』2015年21号 集英社
	○ 『ちびしかくちゃん』1巻 表紙絵	『りぼんマスコットコミックス』2017年 集英社

○	『永沢君』	
	・ 表紙絵	『スピリッツボンバーコミックス』1995年 小学館
	・ No.3 不良	『週刊ビッグコミックスピリッツ』1993年19号 小学館
○	『4コマ!!永沢君』	
	・ 有名な本	『週刊ビッグコミックスピリッツ』1996年7号 小学館
	・ 花輪くんと永沢	『週刊ビッグコミックスピリッツ』1996年33号 小学館
○	『てんご盛り!!永沢君』永沢君の詳細 挿絵	2013年 小学館
○	『さくらももこのシリーズ絵本3 ちびまる子ちゃん 百恵ちゃんのコンサートに行く』	1993年 集英社
○	『おはなし ちびまる子ちゃん』	
	・ 第2巻 金魚すくいに情熱をの巻 挿絵	1998年 集英社
	・ 第2巻 夏休みの登校日の巻 挿絵	1998年 集英社
	・ 第6巻 まる子 カプトムシの幼虫を飼うの巻 挿絵	1999年 集英社
○	『映画原作特別描き下ろし ちびまる子ちゃん 大野君と杉山君』	1990年 ホーム社
○	『映画原作特別描き下ろし ちびまる子ちゃん 大野君と杉山君』	1990年 ホーム社
○	『映画原作特別描き下ろし ちびまる子ちゃん 大野君と杉山君』	1990年 ホーム社
○	『映画原作特別描き下ろし ちびまる子ちゃん わたしの好きな歌』	1992年 集英社
○	『映画原作特別描き下ろし ちびまる子ちゃん キミを忘れないよ』	『りぼん』2015年12月号 集英社
○	4コマちびまる子ちゃん	2007年11月29日 全国11紙
○	4コマちびまる子ちゃん	2008年2月19日 全国11紙
○	4コマちびまる子ちゃん	2009年4月24日 全国11紙
資料	○ 『りぼん』ふろく(一部複製)	
資料	○ おはなしちびまる子ちゃん第9巻 単行本	
資料	○ ドールハウス駄菓子屋(戸塚恵子作)	
資料	○ ドールハウスさくらベーカリー(戸塚恵子作)	
資料	○ アニメ「ちびまる子ちゃん」脚本	71話「おじいちゃんベルトクイズに出るの巻(前編)」1991年5月12日放送 72話「おじいちゃんベルトクイズに出るの巻(後編)」1991年5月19日放送
資料	○ アニメ映画「ちびまる子ちゃん 大野君と杉山君」脚本	1990年公開
資料	○ アニメ映画「ちびまる子ちゃん わたしの好きな歌」シナリオ台本・AR台本	1992年公開
資料	○ アニメ映画「ちびまる子ちゃん イタリアからきた少年」脚本	2015年公開
資料	○ 4コマちびまる子ちゃん	新聞切り抜き

第2章 ももこのエッセイ

○	『もものかんづめ』	
	・ 表紙絵	1991年 集英社
	・ 奇跡の水虫治療	『青春と読書』1989年8月号 集英社 ※一部コピー原稿
	・ 奇跡の水虫治療 挿絵	『青春と読書』1989年8月号 集英社
○	『さるのこしかけ』	
	・ 前世日本人の疑い	『小説すばる』1992年7月号 集英社
	・ 前世日本人の疑い 他 挿絵	『小説すばる』集英社
○	『たいのおかしら』	
	・ 歯医者に行く	1993年 集英社
	・ 歯医者に行く 他 挿絵	1993年 集英社
○	あのことろ三部作 初期本表紙ラフ	1996年 集英社
○	あのことろ三部作 見返し用素材	1996年 集英社
○	『あのことろ』	
	・ タイトル手書き文字	1996年 集英社
	・ ノンブル・柱用手書き文字	1996年 集英社
	・ 総扉絵	1996年 集英社
○	『まるむし帳』	
	・ まるむし帳	1991年 集英社
	・ 善くも悪くもない	1991年 集英社
	・ きもち	1991年 集英社
	・ まるい星	1991年 集英社
	・ 今のわたしの声	1991年 集英社
○	『ももこのいきもの図鑑』	
	・ アオムシ	『anan』No.865 1993年3月26日 マガジンハウス
	・ ヒヨコ	『anan』No.866 1993年4月2日 マガジンハウス
	・ カメ	『anan』No.868 1993年4月16日 マガジンハウス

・ カブトムシ(さなぎ編)	[anan]No.873	1993年5月28日	マガジンハウス
・ カブトムシ(成虫編)	[anan]No.874	1993年6月4日	マガジンハウス
・ シラス	[anan]No.900	1993年12月10日	マガジンハウス
・ サル	[anan]No.906	1994年1月28日	マガジンハウス
・ イヌ	[anan]No.907	1994年2月4日	マガジンハウス
・ キンギョ	[anan]No.908	1994年2月11日	マガジンハウス
・ オウム	[anan]No.909	1994年2月18日	マガジンハウス
・ 最終回	[anan]No.911	1994年3月4日	マガジンハウス
○ 3月のミー子	[月刊カドカワ]	1991年3月号	KADOKAWA
○ うみに来た	[月刊カドカワ]	1991年8月号	KADOKAWA
○ きんもくせい	[月刊カドカワ]	1991年11月号	KADOKAWA
○ あたらしい年	[月刊カドカワ]	1992年1月号	KADOKAWA
資料 ○ 『あこのろ』 単行本		1996年	集英社
資料 ○ さくらももこのオールナイトニッポン		1991年10月21日～1992年10月12日	ニッポン放送
資料 ○ 走れ正直者		1991年	BMGビクター
資料 ○ ごきげん～まる子の音日記～		1991年	BMGビクター
資料 ○ うれしい予感		1995年	Yoo-Loo, Oo Records
資料 ○ 100万年の幸せ!!(配信用ジャケット)		2012年	タイシタレーベル、SPEEDSTAR RECORDS
資料 ○ 花はただ咲く		2013年	EMIミュージック・ジャパン
資料 ○ One Week		2017年	テンイヤーズレコード

第3章 ももこのまいにち

○ 『そういうふうにできている』 表紙絵 箔押し用線画イラスト(複製)と印刷用カラーイラスト		1995年	新潮社
○		[富士山] 第2号	2000年 新潮社
○ 『さくら日和』 深まる息子の疑惑 挿絵		[青春と読書]	1999年7月号 集英社
○ 息子の手紙		[富士山] 第2号	2000年 新潮社
○ 『赤ちゃん日記 FIRST YEAR MEMORIES』			1997年 小学館
○ 『スーパー0くん』			
・ おばけやしきへ行くのまき 扉絵		[小学一年生]	2001年9月号 小学館
・ おばけやしきへ行くのまき		[小学一年生]	2001年9月号 小学館
○ おばけの手			2002年 幻冬舎
○ のほほん絵日記		1999年	サントリー「続のほほん茶」キャンペーン用イラスト
○ 『ももこの21世紀日記 N'01』 イラスト			2002年 幻冬舎
○ 『ももこの21世紀日記 N'03』 イラスト			2004年 幻冬舎
○ 『ももこのまんねん日記』 表紙絵			2010年 集英社
○ 『ももこのまんねん日記 2011』 表紙絵			2011年 集英社
○ 『ももこのまんねん日記』 イラスト			2010年 集英社
○ 『ももこのまんねん日記』 イラスト			2012年 集英社
○ 『GJ8マン』 キャラクターイラスト		[グランドジャンプ]	2016年21号 集英社
○ ピエール・ラニエ コラボウオッチ 12星座ウオッチ			2001年
○ ピエール・ラニエ コラボウオッチ 地球の子供たち			2017年
○			2007年
○ 『映画原作特別描き下ろし ちびまる子ちゃん わたしの好きな歌』			1992年 集英社
○ 『劇場用オリジナル長編 さくらももこワールド ちびまる子ちゃん わたしの好きな歌』パンフレット			1992年 東宝出版
○ 『ちびまる子ちゃん』 その61 さくら家のお月見の巻 扉絵		[りぼん]	1991年10月号 集英社
○ 4コマちびまる子ちゃん			2010年11月26日 全国11紙
○ まるちゃんの静岡音頭CDジャケットイラスト			2013年 ワーナーミュージック・ジャパン
資料 ○ 『そういうふうにできている』 単行本			1995年 新潮社
資料 ○ さくらももこが妊娠中に作った箱			1994年
資料 ○ 『おばけの手』 単行本			2002年 幻冬舎
資料 ○ さくらももこが息子のために作ったポイントカード			2003年
資料 ○ さくらももこが息子のために作った箱			2005年
資料 ○ 缶バッジ・ピンバッジ			
資料 ○ さくらももこがプライベートで集めたもの			
資料 ○ ピエール・ラニエ コラボウオッチ		(左)12星座ウオッチ おひつじ座	2001年 (右)地球の子供たち 2017年
資料 ○ まるちゃんの静岡音頭			2013年 ワーナーミュージック・ジャパン

第4章 ももこのナンセンス・ワールド

	○ 『神のちから』	
	・ 神さまのうた	「スピリッツボンバーコミックス」1992年 小学館
	・ ナゾの転入生 の巻 扉絵	「月刊IKKI」2003年第2号 小学館
	・ 尻が売り物のおやじ の巻	「週刊ビッグコミックスピリッツ」1990年6号 小学館
	・ 歓迎された男 の巻	「週刊ビッグコミックスピリッツ」1992年5号 小学館
	○ 『神のちからっ子新聞』	
	・ 第12回	「週刊ビッグコミックスピリッツ」2004年49号 小学館
	・ 第20回	「週刊ビッグコミックスピリッツ」2005年5・6合併号 小学館
資料	○ 『ちからっ子の常識1』	2004年 さくらプロダクション
資料	○ 『神のちからっ子の世界1』	2004年 さくらプロダクション
資料	○ 神のちからっ子ごよみ 原案	2004年頃
資料	○ 神のちからっ子の世界2 原案	2004年頃
資料	○ 神のちからっ子グッズ 木彫りの箱	2004年
資料	○ 神のちからっ子グッズ 木彫りのペン立て	2004年
資料	○ 神のちからっ子グッズ	2004年頃

第5章 ももことコジコジ

	○ COJI-COJI さくらももこが初めて描いたコジコジ	1991年
	○ COJI-COJI	1995年
	○ 『COJI-COJI』	
	・ 第1話 コジコジはコジコジ の巻	「きみとぼく」1994年12月号 ソニー・マガジズ
	・ 第3話 学級劇 ちびまる子ちゃん の巻	「きみとぼく」1995年2月号 ソニー・マガジズ
	・ 第7話 手紙を書こう!! の巻	「きみとぼく」1995年6月号 ソニー・マガジズ
	・ 第8話 嵐が来るぞ!! の巻	「きみとぼく」1995年7月号 ソニー・マガジズ
	・ 第9話 海水浴へ行こう の巻	「きみとぼく」1995年8月号 ソニー・マガジズ
	・ 第11話 ファッションショーをやろう の巻	「きみとぼく」1995年10月号 ソニー・マガジズ
	・ 第13話 きょうはクリスマス の巻	「きみとぼく」1995年12月号 ソニー・マガジズ
	・ 第15話 やすひこ君に会いに行こう の巻	「きみとぼく」1996年2月号 ソニー・マガジズ
	・ 第19話 カエルの生き方 の巻	「きみとぼく」1996年6月号 ソニー・マガジズ
	・ 第32話 クールのひけつ の巻	「富士山」第4号 2000年 新潮社
	・ 第33話 不思議屋がやってきた の巻	「富士山」第5号 2002年 新潮社
	・ メルヘンストーリー その2 たまご	「りぼんオリジナル」1991年秋の号 集英社
	・ 第2話 がんばれ!! ジョニー君 の巻 扉絵	「きみとぼく」1995年1月号 ソニー・マガジズ
	・ 第15話 やすひこ君に会いに行こう の巻 扉絵	「きみとぼく」1996年2月号 ソニー・マガジズ
	・ 第18話 カメ吉君お茶断ちをする の巻 扉絵	「きみとぼく」1996年5月号 ソニー・マガジズ
	○ まんが倶楽部 コジコジ vol.1	「グランドジャンプ」2015年22号 集英社

終章 アトリエより

	○ 『ももこのファンタジック・ワールド コジコジ』	
	・ コジコジがやってきた の巻 下絵	1992年
	・ コジコジが やってきた の巻	1993年 ソニー・マガジズ
	・ カエルのうたが きこえるよ の巻	1993年 ソニー・マガジズ
	・ ぼくら なかよし 三人組 の巻	「幼稚園」1994年2月号 小学館
	○ 『まる子だった』 さくらももこの手引き	1997年 集英社
	○ 『ももこのほのぼの劇場』 放課後の学級会 扉絵	「りぼんオリジナル」1988年冬の号 集英社
	○	1995年
	○ 少女の絵	2015年
資料	○ さくらももこのアトリエに置いていた水晶	
資料	○ 神のちからっ子の置物	
資料	○ さくらももこ自身による手彫りの特製ハンコ	

資料	○ さくらももこの仕事部屋より
	・ さくらももこ特製原稿用紙(マンガ/エッセイ)
	・ 愛用のシャープペンシル
	・ 愛用のカラーペン
	・ タバコの空き缶を利用したペン立て
	・ お手製ミニ色えんぴつ箱
	・ 色えんぴつの削りカス
	・ さくらももこ特製マグカップ
	・ 「4コマちびまる子ちゃん」ネタ帳
資料	○ チェンパロ

2-3 カンペール美術館所蔵
ブルターニュの光と風
フランス 神秘と伝統の地へ

会期：9月5日(火) - 10月22日(日)

概要：フランス北西部、大西洋と英仏海峡の間にせり出すブルターニュ半島は、岩々が露出した岬やエメラルドグリーン的大海、起伏に富んだ大地が作り出す壮大な自然景観を有することで知られる。中世にはこの地域一帯で一つの国がつけられ、ケルト民族に由来する独自の文化が育まれた。フランスの地域圏になってからも、その郷土色あふれる風俗や風景は保たれ、鉄道網が発達した19世紀以降、多くの画家たちがこの地を訪れた。本展ではフランス・カンペール美術館のコレクションを中心に、ウジェーヌ・ブーダン、ギュスターヴ・クールベ、クロード・モネ、ポール・ゴーギャン、モーリス・ドニら45作家による約70点の絵画作品を通して、ブルターニュという場所の魅力をひも解きつつ、この地にゆかりのある画家たちと、彼らが編み出した多様な芸術表現を紹介した。

巡回先：SOMPO美術館、福島県立美術館、豊橋市美術博物館、広島県立美術館

主催：静岡市、静岡市美術館 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団、静岡新聞社・静岡放送

後援：静岡市教育委員会、静岡県教育委員会、在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ

企画協力：株式会社ホワイトインターナショナル

特別協賛：清水銀行

観覧料：一般 1,400円(1,200円)
大高生・70歳以上 1,000円(800円)
※()内は前売および20名以上の団体料金
※中学生以下無料
※障がい者手帳等をご持参の方および介助者原則1名は無料

観覧者数：15,747人(有料11,238人、無料4,509人、有料率71.37%)

出品点数：69点

制作物：

1)チラシ

<仕様>紙：b7トラネクスト 99kg

サイズ・加工・数量：A3二つ折り(仕上A4)60,000部

2)ポスター

<仕様>紙：グラディアCoC 120.5kg

サイズ・数量：B1 50部、B2 2,050部、B3 2,750部(うち400部はJR帯つき)



チラシ表面



チラシ裏面



チラシ中面



B1・B2ポスター



B3ポスター

カタログ：

<仕様>187×250mm、171頁

カラー図版69点

参考図版(モノクロ10点)

千足伸行「画家たちのブルターニュ」

監修：千足伸行(広島県立美術館館長)

編集：SOMPO美術館、福島県立美術館、**カタログ表紙**

静岡市美術館

執筆：ギヨーム・アンブローズ(カンパール美術館館長)、千足伸行、岡坂桜子(SOMPO美術館学芸員)、橋本恵里(福島県立美術館学芸員)、濱田洋亮(福島県立美術館学芸員)、深尾茅奈美(静岡市美術館学芸員)、森万由子(広島県立美術館学芸員)

執筆協力：ソフィー・ケルヴラン(ポン=タヴァン美術館館長)、ソフィー・アレン(マニャン美術館館長)、アンドレ・カリウ(カンパール美術館前館長)

翻訳：岡坂桜子、朝倉南(SOMPO美術館学芸員)、橋本恵里、深尾茅奈美

発行：ホワイトインターナショナル

発行年：2023年



普及ツール：

1)音声ガイド

2)鑑賞ガイド

出品作品の見どころをわかりやすく解説した鑑賞ガイドを制作した。

制作物：

◆鑑賞ガイド

<仕様>紙：b7トラネクスト 99kg

サイズ・加工・数量：210×589mm(仕上210×148mm)、両観音折り 12,000部



鑑賞ガイド表面



鑑賞ガイド中面①



鑑賞ガイド中面②

3)本展オリジナルミニDMの作成・配布

円型のミニDMを制作し、市内店舗等へ配布した。

制作物：

◆ミニDM

<仕様>紙：ミルトGAスピリット 180kg

サイズ・数量：直径120mm円型 15,000部



ミニDM表面(計2種)



ミニDM裏面(計2種)



4)フォトスポットの設置

来館者のSNS等での情報発信を期待し、展示室の入口にキービジュアルの作品画像を入れたタイトルバナーを設置したほか、展示室内部では、メインビジュアルに使用していたアルフレッド・ギユの大画面作品を含む数点を撮影可能とした。



5)前売りペアチケット購入特典

前売りペアチケットを購入した方に、メイン画像のアルフレッド・ギユの作品を載せたカード型カレンダーをプレゼントした。

利用者数：109件

6)本展オリジナル缶バッジプレゼントの実施

会期中の9月の土、日、祝日に本展をご観覧の方、各日先着50名に、本展オリジナル缶バッジをプレゼントした。

制作物：

◆缶バッジ

<仕様>45×70mm 計2種



7)速報チラシ特典

「おいしいボタニカル・アート展」「さくらももこ展」の会期中に、館内に本展の速報チラシを配架し、本展の会期中にそのチラシを持参した方に、美術館オリジナルクリアファイルをプレゼントした。

利用者数：379人

8)ご紹介カード特典

展示室の出口に「ご紹介カード」を配架して来館者に持ち帰ってもらい、友人や家族が来館時にそのカードを受付で提示すると、美術館オリジナル缶バッジを2つもらえるという特典を実施した。

利用者数：73人

9)マリンコーデでプレゼントの実施

美しい海に囲まれたブルターニュ半島にちなみ、ブルーやボーダー、いかりモチーフなど、海を思わせるファッションで本展をご観覧の方に、当館オリジナルグッズをプレゼントした。

利用者数：157人

各種連携：

1)近隣店舗との連携

葵タワー内および近隣店舗で、展覧会入場者への優待サービスの実施、本展に合わせた特別メニューの提供を行った。

制作物：

◆チラシ

<仕様>紙：マットコート 70kg

サイズ・数量：A4 4,000部



協賛チラシ表面



協賛チラシ裏面

2)清水文化会館マリナートとの相互特典の実施

当館で清水文化会館マリナートにて開催の「知られざる文具アートの世界」展の半券を提示すると、当館オリジナルグッズをプレゼント、清水文化会館マリナートで当館の半券を提示すると、当日料金から100円引きとなる相互特典を実施した。

利用者数：清水文化会館マリナート3人、当館32人

主要広報記録：

1)テレビ・ラジオ

- ・「展覧会紹介」FM-Hi!『あさラジ@Morning』、9月8日放送。
- ・「展覧会紹介」SBSラジオ『サタデービューン』、9月16日放送。
- ・「展覧会紹介」SBSラジオ『3時のドリル』、9月27日放送。
- ・「展覧会紹介」SBSテレビ『ヨエロスン』、9月29日放送。
- ・「展覧会紹介」SBSテレビ『鉄崎幹人のWASABI』、10月10日放送。
- ・「展覧会紹介」SBSテレビ『県内ニュース』、10月11日放送。
- ・「展覧会紹介」SBSテレビ『LIVEしずおか』、10月13日放送。

2)新聞

- ・深尾茅奈美「異国情緒 パリの画家魅了」『静岡新聞』、8月30日。
- ・岡本妙「ブルターニュ展あす開幕」『静岡新聞』、9月4日。
- ・「ブルターニュ展開幕 特有の自然、文化描く」『静岡新聞』、9月6日。
- ・「ブルターニュ半島描く ゴーギャンなど絵画70点」『読売新聞』静岡版、9月9日。
- ・岡本妙「ブルターニュ料理いかが 静岡のホテル展覧会コラボ」『静岡新聞』、9月20日。
- ・「ブルターニュ展1万人達成」『静岡新聞』、10月12日。

3)雑誌他

- ・「ブルターニュの情景を伝える名画が来日」『美術の窓』、12月号。
- ・「展覧会紹介」『和楽』、6・7月号。
- ・「展覧会紹介」『和楽』、8・9月号。
- ・「展覧会紹介」『和楽』、10・11月号。
- ・「展覧会紹介」『美術の窓』、9月号。
- ・「展覧会紹介」『懸賞なび』、10月号。
- ・「ブルターニュに縁のある画家たちと彼らが編み出した多様な芸術表現を紹介」『Travel&Life』、8・9月号。
- ・「展覧会紹介」『道の駅』、2023 AUTUMN。
- ・「展覧会紹介」『すろ〜かる』、9月号。
- ・「展覧会紹介」『すろ〜かる』、10月号。
- ・「展覧会紹介」『富士ニュース』、23184号。

4)ウェブサイト等(媒体名のみ記載)

「アートアジェンダ」、「Fashion Press」、「週刊じゃらん」、「WOMO」、「アットエス」



10月11日 来場者1万人達成

関連事業：

1) 静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業/静岡室内楽フェスティバル2023
ミュージアム・コンサート「ピアノ連弾で楽しむフランス音楽」

概要：静岡音楽館AOIとの連携事業として、ピアノの連弾コンサートを実施した。定員60名のチケットは完売し、当日は58名の参加があった。「ブルターニュの光と風」展の内容にちなんで、上野由理氏と上野史織氏がフランスの楽曲を演奏し、「展示室で見た絵画を思い浮かべながら演奏を聴くことができた」等の好意的な感想が寄せられた。

日時：9月24日(日)14:30開場 15:00開演

会場：多目的室 参加料：1,500円 参加者数：58人

出演：上野由理(ピアノ)、上野史織(ピアノ)

曲目：C.ドビュッシー：小組曲／C.ドビュッシー：2つのアラベスク より 第1番／G.フォーレ：ピアノ組曲《ドリー》op.56／M.ラヴェル：マ・メール・ロワ(マザーグース がちょうおばさんのおはなし)／G.ビゼー：子供の遊び op.22 ほか

主要広報記録：

◆新聞

・「『印象主義』の連弾披露 浜松出身姉妹 絵画展合わせ演奏」『静岡新聞』、9月26日。



2) 記念講演会「ブルターニュの光と風」

概要：本展の監修者の千足伸行氏をお招きし、ブルターニュで活躍した近代の画家たちについてお話しいただいた。出品作に限らずカンパール美術館が所蔵する作品を幅広くご紹介くださり、ブルターニュの地理的・文化的特性や、同地で生み出された様々な絵画表現について理解を深められる機会となった。参加者アンケートでも「ブルターニュの風土を知ることにより鑑賞の視点が変わった」等の好評をいただいた。

日時：9月9日(土)14:00-15:30

会場：多目的室 **参加者数：**58人

講師：千足伸行氏(成城大学名誉教授・広島県立美術館館長)

主要広報記録：

◆新聞

・鈴木明芽「監修者千足さんが魅力解説」『静岡新聞』、9月10日。



3) 講演会「ブルターニュと近代美術：フランスと日本の美術館をめぐる旅」

概要：一橋大学教授の小泉順也氏をお招きし、ブルターニュをテーマとして国内の所蔵品や関連展覧会についてご講演いただいた。過去に国内で開催されたブルターニュ関連の展覧会や巡回展の楽しみ方のほか、ブルターニュ旅行のポイントまで、一般の方々にも分かりやすい口調でお話しいただいた。参加者アンケートでも「旅した気持ちにもなり、他の美術館にも足を運んでみたくなった」等の感想が寄せられた。

日時：9月17日(日)14:00-15:30

会場：多目的室 **参加者数：**51人

講師：小泉順也氏(一橋大学教授)



4) 当館学芸員によるスライドトーク

概要：展覧会に対する理解を深めるため、当館学芸員によるスライドトークを会期中実施した。

日時：①9月30日(土) ②10月14日(土) いずれも14:00-

会場：多目的室 **参加者数：**計102人

参加料：無料



出品作品リスト

第1章 ブルターニュの風景—豊饒な海と大地

作品番号	作家名	作品名	制作年	技法／素材	所蔵
1	テオドール・ギュダン	ベル=イル沿岸の暴風雨	1851年	油彩／カンヴァス	カンパール美術館
2	エヴァリスト=ヴィタル・リュミネ	グラドロン王の逃亡	1884年頃	油彩／カンヴァス	カンパール美術館
3	テオフィル・デイロール	鯖漁	1881年	油彩／カンヴァス	カンパール美術館
4	アルフレッド・ギユ	さらば!	1892年	油彩／カンヴァス	カンパール美術館
5	アルフレッド・ギユ	コンカルノーの鱈加工場で働く娘たち	1896年頃	油彩／カンヴァス	カンパール美術館
6	オーギュスト・アナスタジ	ドゥアルヌネの渡し船の乗り場	1870年	油彩／カンヴァス	カンパール美術館
7	エミール・ヴェルニエ	コンカルノーのブルターニュの引馬	1883年	油彩／カンヴァス	カンパール美術館
8	エマニュエル・ランシエ	干潮のドゥアルヌネ湾	1879年	油彩／カンヴァス	カンパール美術館
9	ジャン=マリー・ヴィラール	ドゥアルヌネ近郊のケルレゲールの岩場	1878年	油彩／カンヴァス	カンパール美術館
10	カミーユ・ベルニエ	サン=タンヌの荒地	1878年頃	油彩／カンヴァス	カンパール美術館
11	アレクサンドル・セジエ	ブルケルムール溪谷、アレー山地	1883年頃	油彩／カンヴァス	カンパール美術館
12	エヴァリスト=ヴィタル・リュミネ	狩猟の帰途、またはブルターニュの密猟者	1861年頃	油彩／カンヴァス	カンパール美術館
13	オーギュスト・ゴフ	ボン=ラベ近くの室内風景	1858年	油彩／厚紙	カンパール美術館
14	ジャン=マリー・ヴィラール	ブルターニュの室内風景	1870年	油彩／カンヴァス	カンパール美術館
15	アドルフ・ルルー	ブルターニュの婚礼	1863年	油彩／カンヴァス	カンパール美術館
16	ジョルジュ=アレクサンドル・フィシエ	ブルターニュの理髪師	1868年	油彩／カンヴァス	カンパール美術館
17	ポール=モリス・デュトワ	ブルターニュ女性の肖像	1896年	油彩／カンヴァス	カンパール美術館
18	リュシアン・レヴィ=デュルメル	バンマルの聖母	1896年	油彩／カンヴァス	カンパール美術館
19	ジョゼフ=フェリックス・ブショール	サン=タンヌ=ドレーの奇跡の泉	1900-10年頃	油彩／カンヴァス	カンパール美術館

第2章 ブルターニュに集う画家たち—印象派からナビ派へ

作品番号	作家名	作品名	制作年	技法／素材	所蔵
20	ウジェーヌ・ブーダン	ノルマンディーの風景	1854-57年	油彩／板にカンヴァス	丸沼芸術の森 (埼玉県立近代美術館に寄託)
21	ウジェーヌ・ブーダン	教会前のブルターニュ女性	19世紀	水彩／紙	カンパール美術館
22	クロード・モネ	ルエルの眺め	1858年	油彩／カンヴァス	丸沼芸術の森 (埼玉県立近代美術館に寄託)
23	クロード・モネ	アンティープ岬	1888年	油彩／カンヴァス	愛媛県美術館
24	ポール・ゴーギャン	2人の音楽家	1886-89年頃	黒鉛筆／青い紙	カンパール美術館
25	ポール・ゴーギャン	マルティニクの眺め	1887年	鉛筆／紙	カンパール美術館
26	ポール・ゴーギャン	いちじくと女	1894年	エッチング、淡彩、緑色のインク／亜鉛版	カンパール美術館
27	ポール・ゴーギャン	ブルターニュの子供	1889年	水彩、パステル／紙	福島県立美術館
28	エミール・ベルナル	サン=ブリアックの風景	1886年	鉛筆／紙	カンパール美術館
29	エミール・ベルナル	水瓶を持つブルターニュの女性	1886年	ジンコグラフ／紙	カンパール美術館
30	エミール・ベルナル	りんごの採り入れ	1889年	ジンコグラフ／紙	カンパール美術館
31	エミール・ベルナル	収穫	1888年	木炭、水彩／紙	カンパール美術館
32	ポール・セリュジエ	ル・ブールデュの老婦人	1889-93年	油彩／カンヴァス	カンパール美術館
33	ポール・セリュジエ	水瓶を持つブルターニュの若い女性	1892年	油彩／カンヴァス	カンパール美術館
34	ポール・セリュジエ	さようなら、ゴーギャン	1906年	油彩／カンヴァス	カンパール美術館
35	ポール・セリュジエ	青い背景のりんご	1917年	油彩／カンヴァス	カンパール美術館
36	アンリ・モレ	ボン=タヴァンの風景	1888-89年	油彩／カンヴァス	カンパール美術館
37	アンリ・モレ	ブルターニュの風景	1889-90年	油彩／カンヴァス	カンパール美術館
38	モーリス・ドニ	小舟の中のブルターニュ女性	1891-92年	油彩／板に貼られた紙	カンパール美術館
39	モーリス・ドニ	フォルグエットのバルドン祭	1930年	油彩／カンヴァス	カンパール美術館
40	アルマン・セガン	横たわるブルターニュの女性あるいはプリマヴェーラ	1895年	ジンコグラフ／紙	カンパール美術館
41	ジョルジュ・ラコンブ	カマレの荒地	20世紀初頭	鉛筆／紙	カンパール美術館
42	ジョルジュ・ラコンブ	森の中の3人のピグダン地方の女性	1894年	テンペラ／カンヴァス	カンパール美術館
43	ビエール・ボナル	アンドレ・ボナル嬢の肖像 画家の妹	1890年	油彩／カンヴァス	愛媛県美術館

第3章 新たな眼差し—多様な表現の探求

作品番号	作家名	作品名	制作年	技法／素材	所蔵
44	クロード＝エミール・シュブネッケル	ブルターニュの岩石海岸	1886年	油彩／カンヴァス	カンパール美術館
45	マクシミリアン・リュス	岩の多い海岸	1893年	油彩／板	カンパール美術館
46	マキシム・モーフラ	3つの断崖、サン＝ジャン＝デュ＝ドワ	1894年	油彩／カンヴァス	カンパール美術館
47	マキシム・モーフラ	海岸の泥炭地における黄昏、ロクテュディ	1898年	油彩／カンヴァス	カンパール美術館
48	アンリ・ジャン・ギヨーム・マルタン	ブルターニュの海	1900年	油彩／カンヴァス	カンパール美術館
49	フェルディナン・ロワイアン・デュ・ピュイゴドー	藁ぶき屋根の家のある風景	1921年	油彩／カンヴァス	カンパール美術館
50	エミール・ジュールダン	嵐の後	1900-14年	油彩／カンヴァス	カンパール美術館
51	ウラディ斯拉ウ・スレヴィンスキー	水の入ったグラスとりんごのある静物	1904年頃	油彩／カンヴァス	カンパール美術館
52	ウラディ斯拉ウ・スレヴィンスキー	バナナのある静物	1901年	油彩／カンヴァス	カンパール美術館
53	ギュスターヴ・クールベ	波	1869年	油彩／カンヴァス	愛媛県美術館
54	シャルル・コッテ	嵐から逃げる漁師たち	1903年頃	油彩／厚紙	カンパール美術館
55	シャルル・コッテ	海	1903-05年頃	油彩／カンヴァス	カンパール美術館
56	リュシアン・シモン	じゃがいもの収穫	1907年	油彩／カンヴァス	カンパール美術館
57	アンドレ・ドーシェ	ラニユロンの松の木	1917年	油彩／カンヴァス	カンパール美術館
58	イヴ・ブレイア	カマレの岩	1929年	油彩／カンヴァス	カンパール美術館
59	フェルナン・ル・グー＝ジェラル	カンパールのテール＝オ＝デュック広場	1910年	油彩／カンヴァス	カンパール美術館
60	ジャン＝ジュリアン・ルモルダン	逆風	1905年頃	油彩／カンヴァス	カンパール美術館
61	エドゥアール＝エドモンドワニョー	ボン＝ラベの子どもたち	1905年	油彩／厚紙	カンパール美術館
62	ジョルジュ・ゴボ	ドゥアルヌネ、港の通り	1929年頃	油彩／カンヴァス	カンパール美術館
63	モーリス・レオナール	ビッグダンの祭り	20世紀	油彩／カンヴァス	カンパール美術館
64	モーリス・レオナール	ブルターニュの市場	1923年頃	油彩／カンヴァス	カンパール美術館
65	ピエール・ド・ブレ	コンカルノーの港	1927年	油彩／厚紙	カンパール美術館
66	ピエール・ド・ブレ	コンカルノーの港	1927年	油彩／厚紙	カンパール美術館
67	ピエール・ド・ブレ	ブルターニュの少女	1940年	油彩／カンヴァス	カンパール美術館
68	ピエール・ド・ブレ	ブルターニュの女性	1940年	油彩／カンヴァス	カンパール美術館
69	マックス・ジャコブ	ふたりのブルターニュの女性	1930年頃	グワッシュ／紙	カンパール美術館

2-4 NHK大河ドラマ特別展 どうする家康

会期：11月3日(金・祝)～12月13日(水)

概要：戦国乱世に次々と起こる予期せぬ出来事に逃げることなく答えを出し続け、泰平の世の礎を築いた徳川家康。本展は「どうする？」をキーワードに、その生涯において重要なターニングポイントとなった合戦や出来事の数々を、関連する豊富な資料を通してひもといた。

また、家康の前に立ちはだかり、重要な決断を迫った武田信玄、織田信長、豊臣秀吉をはじめ、酒井忠次、本多忠勝、榊原康政ら「徳川四天王」に代表される家臣団の精鋭たちゆかりの肖像画、武器なども数多く展覧。さらに家康自身が愛用した甲冑や刀剣、駿府で暮らした晩年に使用した茶道具、香道具、文房具といった手沢品の数々も紹介した。国宝・重要文化財を多数含む110点余りの作品を通して、誕生から歿後に東照大権現として祀られるまでの足跡を辿るとともに、真の姿を浮き彫りにした。

巡回先：三井記念美術館、岡崎市美術博物館

主催：静岡市、静岡市美術館 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団、NHK静岡放送局、NHKエンタープライズ中部、中日新聞東海本社

後援：静岡市教育委員会、静岡県教育委員会

協賛：凸版印刷、ハウス食品グループ

制作協力：NHKプロモーション

観覧料：一般 1,500円(1,300円)

大高生・70歳以上 1,100円(900円)

※()内は前売および20名以上の団体料金

※中学生以下無料

※障がい者手帳等をご持参の方および介助者原則1名は無料

※2回目以降、本展有料観覧券半券提示で当日券200円引きとなるリピーター割引を実施

観覧者数：21,201人(有料15,581人、無料5,620人、有料率73.49%)

出品点数：116点

制作物：

1)チラシ

<仕様>紙：コート紙 110kg(A3二つ折り(仕上A4))、
マットコート 90kg(A4)

サイズ・加工・数量：A3二つ折り(仕上A4) 100,000部、
A4 56,000部

2)ポスター

<仕様>紙：コート紙 135kg

サイズ・数量：B1 60部、B2 2,100部、B3 2,750部(うち
400部はJR帯つき)



チラシ表面



チラシ裏面



チラシ中面



B1・B2ポスター



B3ポスター

カタログ：

<仕様>225×297mm、250頁

カラー図版329点

参考図版(カラー56点、モノクロ9点)

清水実「総論「どうする家康」という視点で見る家康の一生」

清水実「大日本五道中図屏風」に家康の居城をたどる」

高橋哲也「徳川家康の愛刀と刀剣観」

湯谷翔悟「十六将・四天王・三傑」

齋藤慎一「豊臣大名徳川家康の本城」



カタログ表紙

翻刻・釈文／作品リスト／徳川家康略年表／主要参考文献

企画委員：清水実(三井記念美術館学芸部長)、海老澤りは(三井記念美術館主任学芸員)、藤原幹大(三井記念美術館学芸員)、湯谷翔悟(岡崎市美術博物館学芸員)、山下葵(岡崎市美術博物館学芸員)、高橋哲也(静岡市美術館学芸員)、大石沙織(静岡市美術館学芸員)、齋藤慎一(東京都江戸東京博物館学芸員)

編集：NHK、NHKプロモーション、笠井木々路

発行・著作：NHK、NHKプロモーション

発行年：2023年

普及ツール：

1)音声ガイド

2)本展オリジナルミニDMの作成・配布

円型のミニDMを制作し、市内中学校・小学校高学年、市内店舗等へ配布した。

制作物：

◆ミニDM

<仕様>紙：コート紙 135kg

サイズ・数量：直径110mm円型 45,000部



ミニDM表面



ミニDM裏面

3)速報チラシ特典

「東海道之美 駿河への旅」の会期中に、館内に本展の速報チラシを配架し、本展の会期中にそのチラシを持参した方に、美術館オリジナルグッズをプレゼントした。

利用者数：206人

4)月曜日観覧特典の実施

開館日の月曜に展覧会を観覧した方、各日先着50名に、美術館オリジナルグッズをプレゼントした。

各種連携：

1)近隣店舗との連携

葵タワー内および近隣店舗で、展覧会入場者への優待サービスの実施、本展に合わせた特別メニューの提供を行った。

制作物：

◆チラシ

<仕様>紙：マットコート 70kg

サイズ・数量：A4 4,000部



協賛チラシ表面



協賛チラシ裏面

2)『刀剣乱舞ONLINE』とのコラボレーションの実施

重要文化財《刀 金象嵌銘 永禄三年五月十九日 義元討捕刻彼所持刀 織田尾張守信長(名物義元左文字)》建勲神社、国宝《短刀 無銘 正宗(名物 日向正宗)》三井記念美術館、重要文化財《太刀 無銘 光世 切付銘 妙純伝持ソハヤノツルキ ウツスナリ》久能山東照宮博物館の出品を記念し、『刀剣乱舞ONLINE』刀剣男士 宗三左文字、日向正宗、ソハヤノツルキの等身大パネルを館内に展示した。



3)どうする家康 静岡 大河ドラマ館との相互特典の実施

11月3日～12日の10日間、当館で「どうする家康 静岡 大河ドラマ館」の観覧証明を提示すると、当館オリジナルグッズをプレゼント、「どうする家康 静岡 大河ドラマ館」で当館の半券を提示すると、入館料100円引きとなる相互特典を実施した。

利用者数：大河ドラマ館209人、当館409人

4)静岡駅ビル パルシェとのコラボレーションの実施

パルシェ店内に設置された《金扇馬標》原寸大パネルにメッセージを書いたシールを貼って完成させる企画を実施。ハッシュタグをつけてSNSに投稿した方へ当館オリジナルグッズをプレゼントした。

実施日：10月31日(火)～12月13日(水)

場所：パルシェ食彩館 インフォメーション横

5)市内図書館との連携

本展にあわせ、静岡市立中央図書館では10月11日(水)から11月21日(土)まで、徳川家康をテーマとする展示が開催された。

主要広報記録：

1) テレビ・ラジオ

- ・「展覧会紹介」NHK Eテレ『日曜美術館アートシーン』、5月28日放送。
- ・「展覧会紹介」NHK Eテレ『日曜美術館アートシーン』、6月4日放送。
- ・「展覧会紹介」NHK総合『たっぷり静岡』、10月4日放送。
- ・「展覧会紹介」FM-Hil『chalchalサタデー 静岡ドライブインフォメーション』、10月28日放送。
- ・「静岡市美術館で開催中 NHK大河ドラマ特別展 どうする家康」NHK総合『たっぷり静岡』、11月6日放送。
- ・「展覧会紹介」トコちゃんねる静岡『トコちゃんねる静岡』、11月8日放送。
- ・「「どうする家康」ファミリーフェスタin静岡」NHK総合『たっぷり静岡』、11月9日放送。
- ・「8K高精細映像でかっちゅう鑑賞」NHK総合『県内ニュース』、11月11日放送。
- ・「展覧会紹介」FM-Hil『ひるラジ静岡情報館』、11月23日放送。
- ・「「どうする家康」特別展 来場者1万人達成」NHK総合『県内ニュース』、11月24日放送。

2) 新聞

- ・清水祐樹「東京・三井記念美術館 特別展「どうする家康」ゆかりの逸品ざらり」『中日新聞』静岡版(夕刊)、5月2日。
- ・「覇気まとう逸品」『中日新聞』静岡版、10月31日。
- ・飯盛結衣「天下取り たどる一級品」『中日新聞』静岡版、11月3日。
- ・飯盛結衣「家康に迫る 静岡市美術館 名品ざらり」『中日新聞』静岡版、11月5日。
- ・高橋哲也「第1章 家康誕生－今川からの独立と三河平定－」『中日新聞』静岡版、11月8日。
- ・高橋哲也「第2章 戦国乱世の選択－今川・武田との抗争－」『中日新聞』静岡版、11月9日。
- ・高橋哲也「第3章 豊臣大名徳川氏－豊臣政権下の家康－」『中日新聞』静岡版、11月10日。
- ・高橋哲也「第4章 天下人への道－関ヶ原から江戸開府－」『中日新聞』静岡版、11月11日。
- ・「家康の武具や愛用品120点 静岡市美術館で特別展」『静岡新聞』、11月11日。



11月2日 開幕式
大河ドラマ「どうする家康」徳川秀忠役の森崎ウィン氏
来場(左から4人目)

- ・高橋哲也「第5章 大御所時代－駿府の生活と大坂の陣－」『中日新聞』静岡版、11月12日。
- ・高橋哲也「第6章 東照大権現－家康神となる－」『中日新聞』静岡版、11月14日。
- ・板倉陽佑「特別展、来場1万人」『中日新聞』静岡版、11月25日。
- ・飯盛結衣「大河ドラマ秀忠役の俳優 静岡市美術館特別展を見学」『中日新聞』静岡版、12月5日。

3) 雑誌他

- ・「展覧会紹介」『和楽』、10・11月号。
- ・「展覧会紹介」『ノジュール』、11月号。
- ・「展覧会紹介」『和楽』、12・1月号。
- ・「展覧会紹介」『NHK大河ドラマ・ガイド どうする家康 完結編』。
- ・「展覧会紹介」『懸賞なび』、12月号。
- ・宮城島由貴「大河ドラマ巡回展について」『久能山東照宮文化財保存顕彰会会報』、第56号。
- ・「展覧会紹介」『道の駅』、2023 AUTUMN。
- ・「展覧会紹介」『すろ〜かる』、11月号。
- ・「家康の生涯たどる110点を紹介」『たんぼぼニュース』、第644号。
- ・「家康の生涯たどる110点を紹介」『安城ホームニュース』、第874号。
- ・「家康の生涯たどる110点を紹介」『刈谷ホームニュース』、第1735号。
- ・「家康の生涯たどる110点を紹介」『知立くらしのニュース』、第837号。
- ・「展覧会紹介」『すろ〜かる』、12月号。
- ・「展覧会紹介」『共済だよりHarmony』、10月号
- ・「展覧会紹介」『富士ニュース』。
- ・「展覧会紹介」『月刊トコちゃん』、12月号。

4) ウェブサイト等(媒体名のみ記載)

- 「Sfumart」,「アートアジェンダ」,「ウォーカープラス」,「MIRAI」,「じゃらんnet」,「アットエス」,「WOMO」,「NHK静岡 静岡WEB特集」,「びあポイント」,「刀剣ワールド」



11月24日 来場者1万人達成



関連事業：

1) 記念講演会「家康を育んだ駿府、駿府を発展させた家康」

概要：静岡大学名誉教授の小和田哲男氏を講師に招き、徳川家康と駿府の関わりや大御所時代に当地に移住した理由などについて豊富な資料からご紹介いただいた。また駿府城跡の発掘調査で得られた知見を交えながら街づくりの様子についてもお話いただき、駿府が近世都市として発展を遂げた背景を理解する機会となった。参加者からは「家康の街づくりに関する具体的なお話を伺うことができ、新たな学びの多い時間となった」と好評を得た。

日時：11月5日(日)14:00-15:30

会場：多目的室 参加者数：69人

講師：小和田哲男氏(静岡大学名誉教授・大河ドラマ時代考証)

主要広報記録：

◆新聞

・鈴木弘人「駿府25年・浜松16年「家康は静岡県民」小和田さん講演」『中日新聞』静岡版、11月7日。



2)8K文化財で体感！戦う芸術「甲冑」in しずび

概要：NHKの企画協力を得て、文化財の内部や細部まで鑑賞することが可能な8Kデジタルコンテンツを来場者に体感いただくとともに、歴史研究者・小和田泰経氏と久能山東照宮博物館学芸員を講師に招いて甲冑の魅力と戦国武将の人物像に迫るトークイベントを2日間にわたり開催した。対談では徳川家康および周辺武将の甲冑を例に挙げながら、その造形的特質についてわかりやすく解説いただき、甲冑に対する理解を深める機会となった。

◆トークイベント

日時：①11月11日(土) ②11月12日(日)いずれも11:00-、14:00-

会場：多目的室 参加者数：計243人

講師：①小和田泰経氏(歴史作家・歴史研究家)、戸塚直史氏(久能山東照宮博物館学芸課長)

②小和田泰経氏(歴史作家・歴史研究家)、宮城島由貴氏(久能山東照宮博物館学芸員)

◆体感型8Kデジタルコンテンツ展示

日時：11月11日(土)、12日(日)いずれも10:00-19:00(最終受付18:30)

会場：多目的室 参加者数：計587人



3)連続講座

①「あなたの知らない 本多忠勝所用品のはなし」

②「戦国武将・松平家忠の日記を読む」

③「遺愛品にみる家康の素顔」

概要：岡崎市美術博物館、静岡市歴史博物館、当館の学芸員が講師を務め、本展に関連する内容の講座を3週連続で実施した。各講師の研究領域である文献史学、文化史、美術史と多角的な視点から家康とその周辺に関するテーマを設定し、展覧会への理解促進を図った。参加者からは「会場で展示作品を見るのが楽しみになる内容だった」「作品の裏話が聞けて理解が深まった」「学芸員の視点からの話が興味深かった」など好評を得た。

日時：①11月19日(日) ②11月25日(土) ③12月3日(日)

いずれも14:00-15:00

会場：多目的室 参加者数：計153人

講師：①湯谷翔悟氏(岡崎市美術博物館学芸員)

②鈴木将典氏(静岡市歴史博物館学芸員)

③当館学芸員



出品作品リスト

・図録番号欠番の作品は当館には出品されなかった。

第1章 家康誕生—今川からの独立と三河平定

展示 No.	図録 No.	指定	作品名	作者等	員数	時代・年代、世紀	所蔵	展示期間 11/3-11/19 11/21-12/13	
1	3	和歌山県	東照宮縁起絵巻 第一巻	住吉如慶筆	5巻のうち 1巻	正保3年(1646)	和歌山・紀州東照宮	(半期場面替)	
2	5	岡崎市	松平清康像		1幅	室町・桃山時代(16世紀)	愛知・随念寺		
3	7		太原雪齋像		1幅	弘治3年(1557)	静岡・清見寺		
4	8		太原雪齋像		1幅	桃山・江戸時代(16-17世紀)	静岡・臨濟寺		
5	9	静岡県	紅糸威腹巻		1領	室町時代(16世紀)	静岡・静岡浅間神社		
6	11		松平元信判物 高隆寺宛		1通	弘治3年(1557)5月3日	愛知・高隆寺		
7	16	重文	刀 金象嵌銘 永禄三年五月十九日 義元討捕刻彼所持刀 織田尾張守 信長(名物義元左文字)	筑前左文字	1口	南北朝時代(14世紀)	京都・建勲神社		
8	21		松平元康覚書		1巻	永禄4年(1561)4月15日	静岡・久能山東照宮博物館		
9	22	埼玉県	松平家康起請文 松平亀千世(家忠)・ 松井左近(忠次)宛		1通	永禄6年(1563)10月24日	埼玉・光西寺		

第2章 戦国乱世の選択—今川・武田との抗争

展示 No.	図録 No.	指定	作品名	作者等	員数	時代・年代、世紀	所蔵	展示期間 11/3-11/19 11/21-12/13	
10	38		武田信玄像		1幅	江戸時代(18-19世紀)	東京都江戸東京博物館		
11	39	重文	太刀 銘 南无薬師琉璃光如来 備前国長船住景光	長船景光	1口	鎌倉時代(14世紀)	静岡・富士山本宮浅間大社		
12	62	静岡県	鉄板札紅糸威五枚胴具足		1領	室町時代(16世紀)	静岡・富士山本宮浅間大社		
13	46		長篠合戦図屏風		6曲1隻	江戸時代(17世紀)	愛知・名古屋市博物館		
14	47	犬山市	長篠合戦図屏風(正本)		6曲1隻	江戸時代(17世紀)	愛知・犬山城白帝文庫		
15	180	和歌山県	金唐革陣羽織		1領	桃山・江戸時代(16-17世紀)	和歌山・紀州東照宮	11/3- 11/16	
16	44	重文	信長公記 第五巻	太田牛一筆	1冊	江戸時代(17世紀)	京都・建勲神社		
17	45		信長記 第五巻		1冊	寛文2年(1662)	愛知・名古屋市博物館		
18	59		織田信長黒印状 三河守(家康)宛		1通	天正5年(1577)正月22日	静岡・久能山東照宮博物館		
19	60	重文	松平家忠日記 第一冊		1冊	天正5-7年(1577-1579)	東京・駒澤大学図書館	(半期場面替)	
20	66		織田信長像	狩野永徳筆	1幅	天正12年(1584)	京都・大徳寺		11/17-12/13
21	67	重文	織田信長像	狩野元秀(宗秀)筆	1幅	桃山時代(16世紀)	愛知・長興寺	11/3- 11/16	
22	72	重文	信長公記 第十五巻	太田牛一筆	1冊	江戸時代(17世紀)	京都・建勲神社		
23	73		信長記 第十五巻		1冊	寛文2年(1662)	愛知・名古屋市博物館		
24	77		誠仁親王令旨		1幅	天正10年(1582)8月4日	静岡・臨濟寺		

第3章 豊臣大名徳川氏—豊臣政権下の家康

展示 No.	図録 No.	指定	作品名	作者等	員数	時代・年代、世紀	所蔵	展示期間 11/3-11/19 11/21-12/13	
25	80	重文	豊臣秀吉像	玄圃霊三・惟杏永哲賛	1幅	慶長5年(1600)賛	滋賀・天台眞盛宗総本山西教寺		
26	83		小牧長久手合戦図屏風		6曲1隻	江戸時代(17世紀)	愛知・名古屋市博物館		
27	82	犬山市	長久手合戦図屏風(正本)		6曲1隻	江戸時代(17世紀)	愛知・犬山城白帝文庫		
28	32		家康及び徳川十六将図	伝狩野探信守政筆	1幅	江戸時代(17-18世紀)	静岡・久能山東照宮博物館		
29	24		酒井忠次像		1幅	江戸時代	京都・先求院		
30	25	重文	色々威胴丸具足		1領	室町時代(16世紀)	山形・致道博物館		

展示 No.	図録 No.	指定	作品名	作者等	員数	時代・年代、世紀	所蔵	展示期間 11/3-11/19 11/21-12/13	
31	26	山形県	朱塗黒糸威二枚胴具足		1領	桃山時代(16世紀)	山形・致道博物館		
32	27		刀 銘 正真 金象嵌銘 猪切	三河文殊正真	1口	室町時代(16世紀)	愛知・岡崎市		
33	55	国宝	太刀 銘 真光	長船真光	1口	鎌倉時代(13世紀)	山形・致道博物館		
34	87	国宝	太刀 銘 信房作	古備前信房	1口	平安時代(12世紀)	山形・致道博物館		
35	89	千葉県	本多忠勝像		1幅	江戸時代(17世紀)	千葉・良玄寺(千葉県立中央博物館大多喜城分館寄託)		
36	90	重文	黒糸威胴丸具足		1領	桃山時代(16世紀)	個人蔵		
37	93	国宝	刀 金象嵌銘 正宗 本阿(花押) 本多中務所持(名物 中務正宗)	相州正宗	1口	鎌倉時代(14世紀)	文化庁		
38	95	重文	榑原康政像		1幅	江戸時代(17世紀)	東京国立博物館		
39	97	重文	紺糸威南蛮胴丸具足		1領	桃山時代(16世紀)	東京国立博物館		
40	105		織田信雄覚書写 参河守(徳川家康)宛		1通	天正13年(1585)6月11日	静岡・久能山東照宮博物館		
41	109	重文	太刀 銘 長船住人長光	長船長光	1口	鎌倉時代(13世紀)	静岡・静岡浅間神社		
42	109	重文	金梨子地桐紋散糸巻太刀拵		1口	桃山・江戸時代(16-17世紀)	静岡・静岡浅間神社		
43	121	重文	松平家忠日記 第五冊		1冊	天正14-17年(1586-1589)	東京・駒澤大学図書館		
44	122		駿府城跡出土金箔瓦		5点	桃山時代(16世紀)	静岡市		
45	161	重文	駿府城絵図		1舗	江戸時代(17-18世紀)	中井正知氏・中井正純氏 (大阪市立住まいのミュージアム寄託)		
46	112		聚楽第図屏風		6曲1隻	桃山時代(16世紀)	東京・三井記念美術館		
47	118		観能図屏風		8曲1隻	江戸時代(17世紀)	兵庫・神戸市立博物館		
48	127		徳川家康書状 大和中納言(豊臣秀保)宛		1通	文禄4年(1595)4月4日	東京都江戸東京博物館		
49	136	重文	刀 銘 国広(号 加藤国広)	堀川国広	1口	江戸時代(17世紀)	東京・三井記念美術館		

第4章 天下人への道—関ヶ原から江戸開府

展示 No.	図録 No.	指定	作品名	作者等	員数	時代・年代、世紀	所蔵	展示期間 11/3-11/19 11/21-12/13	
50	142		内府ちがいの条々		1巻	慶長5年(1600)7月17日	大阪歴史博物館		
51	147		徳川秀忠書状 井伊兵部少輔(直政)・ 本多中務少輔(忠勝)宛		1幅	慶長5年(1600)9月7日	東京都江戸東京博物館		
52	167	和歌山県	東照宮縁起絵巻 第二巻	住吉如慶筆	5巻のうち 1巻	正保3年(1646)	和歌山・紀州東照宮		(半期場面替)
53	150	重文	齒朶具足(伊予札黒糸威胴丸具足)	岩井与左衛門作	1領	桃山・江戸時代(16-17世紀)	静岡・久能山東照宮博物館		
54	151		金扇馬標		1面	桃山・江戸時代(16-17世紀)	静岡・久能山東照宮博物館		
55	154	国宝	短刀 無銘 正宗(名物 日向正宗)	相州正宗	1口	鎌倉時代(14世紀)	東京・三井記念美術館		

第5章 大御所時代—駿府の生活と大坂の陣

展示 No.	図録 No.	指定	作品名	作者等	員数	時代・年代、世紀	所蔵	展示期間 11/3-11/19 11/21-12/13	
56	162		小太刀 銘 源左衛門尉信国 応永廿一年二月日(名物 松浦信国)	源左衛門尉信国	1口	応永21年(1414)	愛知・徳川美術館		
57	170	奈良市	茶糸威胴丸具足	岩井与左衛門作	1領	江戸時代(17世紀)	奈良・漢國神社		
58	163		大坂冬の陣図屏風		6曲1双	江戸時代(19世紀)	東京国立博物館		
59	166		東照宮縁起絵巻 第二巻	住吉広行・板谷慶舟・ 板谷慶意筆	5巻のうち 1巻	寛政6年(1794)	愛知・名古屋東照宮		(半期場面替)
60	200		南蛮屏風		6曲1双	江戸時代(17世紀)	東京・三井記念美術館		

展示 No.	図録 No.	指定	作品名	作者等	員数	時代・年代、世紀	所蔵	展示期間	
								11/3-11/19	11/21-12/13
61	171	国宝	太刀 銘 久国	粟田口久国	1口	鎌倉時代(13世紀)	文化庁		
62	173	重美	太刀 銘 国俊(名物 烏養国俊)	二字国俊	1口	鎌倉時代(13世紀)	愛知・徳川美術館		
63	174	重美	短刀 銘 吉光(号 庖丁藤四郎)	粟田口吉光	1口	鎌倉時代(13世紀)	愛知・徳川美術館		
64	175		刀 銘 以南蛮鉄於駿州越前康継	越前康継	1口	江戸時代(17世紀)	東京・大倉集古館		
65	176	重美	刀 銘 駿州住重国造之 金象嵌銘 一夜業風起 吹倒二仏堂	南紀重国	1口	江戸時代(17世紀)	個人蔵		
66	177	重文	刀 銘 奉納接州住吉大明神御宝前 小野繁慶	小野繁慶	1口	江戸時代(17世紀)	大阪・住吉大社		
67	178	重文	火縄銃 附 火薬入・玉入・火縄・胴乱	野田善四郎清堯作	2挺のうち 1挺	慶長17年(1612)	静岡・久能山東照宮博物館		
68	186	重文	伏見版木活字		1箱	慶長4-11年(1599-1606)	京都・圓光寺		
69	187		伏見版「六韜」		2冊	慶長4年(1599)	東京都江戸東京博物館	(乾巻)	(坤巻)
70	188	重文	駿河版銅活字		23箱のうち 1箱	慶長11・元和2年(1606-1616)	東京・TOPPANホールディングス 株式会社 印刷博物館		
71	190		駿河版「群書治要」		47冊のうち 5冊	元和2年(1616)	静岡県立中央図書館		
72	191		「春秋公羊伝」		2冊	明時代(16-17世紀)	静岡県立中央図書館		
73	193	重文	朝鮮版「和剂局方」		6冊のうち 2冊	朝鮮・正統12年(1447)	静岡・久能山東照宮博物館		
74	195	重文	びいどろ薬壺		3口のうち 1口	16-17世紀	静岡・久能山東照宮博物館		
75	196	重文	薬刻小刀 附 時絵鞘		1口	桃山-江戸時代(16-17世紀)	静岡・久能山東照宮博物館		
76	183	重文	目器(眼鏡)		1掛	16-17世紀	静岡・久能山東照宮博物館		
77	214	重文	芭蕉蒔絵硯箱		1合	江戸時代(17世紀)	静岡・久能山東照宮博物館		
78	184	重文	金銀象嵌けひきばし		1挺	16-17世紀	静岡・久能山東照宮博物館		
79	224	重文	桑木地葵紋蒔絵脇息		1基	桃山-江戸時代(16-17世紀)	静岡・久能山東照宮博物館		
80	203	重文	唐物茶壺 銘 九右衛門		1口	南宋-元時代(13-14世紀)	静岡・久能山東照宮博物館		
81	207	重文	鑄銅花生		1口	南宋-元時代(13-14世紀)	静岡・久能山東照宮博物館		
82	210	重文	天目茶碗		1口	南宋-元時代(13-14世紀)	静岡・久能山東照宮博物館		
83	211	重文	青磁茶碗		2口のうち 1口	南宋-元時代(13-14世紀)	静岡・久能山東照宮博物館		
84	217	重文	香木 伽羅		2材	16-17世紀	静岡・久能山東照宮博物館	(半期入替)	
85	220	重文	金銅獅子鈕香炉		1口	南宋-元時代(13-14世紀)	静岡・久能山東照宮博物館		
86	221	重文	青磁香炉		1口	明時代(15世紀)	静岡・久能山東照宮博物館		
87	222	重文	堆朱香合		1合	明時代(14-15世紀)	静岡・久能山東照宮博物館		
88	230	重文	藍地花菱唐草文散紋小袖		1領	桃山-江戸時代(16-17世紀)	和歌山・紀州東照宮		11/24- 12/13
89	231	重文	紺地宝尽小紋小袖		1領	桃山-江戸時代(16-17世紀)	和歌山・紀州東照宮	11/3- 11/23	
90	232	重文	萌葱地葵紋付小紋染羽織		1領	桃山-江戸時代(16-17世紀)	東京都江戸東京博物館		11/17-12/13
91	233	重文	白練緯地松皮菱竹模様小袖		1領	桃山-江戸時代(16-17世紀)	東京国立博物館	11/3- 11/16	
92	238		徳川家康自筆消息 新城(亀姫)宛		1幅	天正15-16年(1587-1588)	愛知・徳川美術館		
93	239		徳川家康書状 水野和泉守(忠重)宛		1幅	天正15・慶長4年(1587-1599) 12月24日	愛知・徳川美術館		
94	240		徳川家康書状 金森法印(長近)宛		1幅	文禄4年(1595)4月28日	愛知・徳川美術館		
95	241		徳川家康自筆 伊勢国年貢皆済状 篠山(資友)宛		1幅	慶長16年(1611)3月28日	愛知・徳川美術館		

展示 No.	図録 No.	指定	作品名	作者等	員数	時代・年代、世紀	所蔵	展示期間	
								11/3-11/19	11/21-12/13
96	242		判金請取状		1幅	元和元年(1615)8月3日	静岡・久能山東照宮博物館		
97	243		道中宿付		1通	元和元年(1615)	静岡・久能山東照宮博物館		

第6章 東照大権現一家康、神となる

展示 No.	図録 No.	指定	作品名	作者等	員数	時代・年代、世紀	所蔵	展示期間	
								11/3-11/19	11/21-12/13
98	247	重文	太政大臣口宣案		1通	元和2年(1616)3月17日	静岡・久能山東照宮博物館		
99	249		東照宮縁起絵巻 第三巻	住吉如慶筆	5巻のうち 1巻	慶安元年(1648)	個人蔵		
100	250	和歌山県	東照宮縁起絵巻 第三巻	住吉如慶筆	5巻のうち 1巻	正保3年(1646)	和歌山・紀州東照宮	(半期場面替)	
101	269	重文	位記案(東照社)		1通	元和3年(1617)3月9日	静岡・久能山東照宮博物館		
102	270		後水尾天皇宣旨		1通	元和3年(1617)12月7日	静岡・久能山東照宮博物館		
103	271		太政官符(遷宮使・奉幣使発遣)		2通	元和3年(1617)12月7日	静岡・久能山東照宮博物館		
104	267		後水尾天皇宸翰神号「東照大権現」	後水尾天皇筆	1幅	江戸時代(17世紀)	静岡・久能山東照宮博物館		
105	19		徳川家康画像	徳川義直筆・同賛	1幅	江戸時代(17世紀)	愛知・名古屋東照宮		
106	254		家康天海対座図	狩野探幽筆 天海賛	1幅	江戸時代(17世紀)	東京・寛永寺現龍院		
107	263		東照大権現霊夢像		1幅	正保3年(1646)12月25日	千葉・国立歴史民俗博物館		
108	265		東照大権現像	守澄法親王賛	1幅	江戸時代(17世紀)	愛知・岡崎市美術博物館		
109	275		駿府御分物御道具帳		11冊のうち 1冊	元和2-4年(1616-1618)	愛知・徳川美術館	(半期場面替)	
110	276		久能山御道具之覚		1冊	寛文4年(1664)	静岡・久能山東照宮博物館	(半期場面替)	
111	257	重文	太刀 無銘 光世 切付銘 妙純伝持 ソハヤノツルキ ウツスナリ	三池光世	1口	鎌倉時代(13世紀)	静岡・久能山東照宮博物館		
112	258	重文	革柄蠟色鞘打刀拵		1口	桃山-江戸時代(16-17世紀)	静岡・久能山東照宮博物館		
113	261	重文	脇指 無銘 貞宗	相州貞宗	1口	南北朝時代(14世紀)	静岡・久能山東照宮博物館		
114	262	重文	黒蛟柄合口拵		1口	桃山-江戸時代(16-17世紀)	静岡・久能山東照宮博物館		
115	272	国宝	太刀 銘 真恒	古備前真恒	1口	平安時代(12世紀)	静岡・久能山東照宮博物館		
116			黒漆塗葵紋時絵刀箱		1合	江戸時代(17-18世紀)	静岡・久能山東照宮博物館		

2-5 高畑勲展—日本のアニメーションに遺したもの

会期：12月27日(水) - 3月31日(日)

概要：1960年代から日本のアニメーションを牽引し続けた高畑勲(1935-2018)。『アルプスの少女ハイジ』や『火垂るの墓』、『かぐや姫の物語』などの監督(演出)を務め、それまで映画化は不可能とされてきた題材や新しい表現に次々と挑戦し、国内外の制作者にも大きな影響を与えた。本展では宮崎駿や大塚康生、小田部羊一など、初期から高畑作品を支えたスタッフによる絵コンテやレイアウト、原画、背景画とともに、高畑直筆の制作ノートや企画書、音楽設定など、1300件超の作品や資料をとおして名作アニメーション誕生の裏側を展覧。また、絵を描かない高畑の「演出術」というポイントに注目し、多数の未公開資料も紹介しながら多面的な作品世界の秘密に迫った。

巡回先：東京国立近代美術館、岡山県立美術館、福岡市美術館、新潟県立近代美術館、台北流行音楽センター、三重県総合博物館、岩手県立美術館

主催：静岡市、静岡市美術館 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団、Daiichi-TV

後援：静岡市教育委員会、静岡県教育委員会、NHK静岡放送局

企画協力：スタジオジブリ

協力：(公財)徳間記念アニメーション文化財団

制作協力：NHKプロモーション

静岡展特別協賛：セキスイハイム東海

観覧料：一般 1,500円(1,300円)

大高生・70歳以上 1,100円(900円)

※()内は前売および20名以上の団体料金

※中学生以下無料

※障がい者手帳等をご持参の方および介助者原則1名は無料

観覧者数：32,090人(有料22,828人、無料9,262人、有料率71.14%)

出品点数：約1,300件

制作物：

1)チラシ

<仕様>紙：b7トラネクスト 86kg(A3二つ折り(仕上A4))、
マットコート 90kg(A4)

サイズ・加工・数量：A3二つ折り(仕上A4) 70,000部、
A4 72,000部

2)ポスター

<仕様>紙：b7トラネクスト 99kg

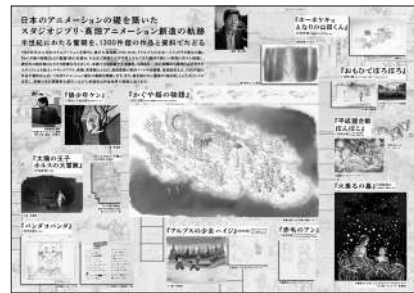
サイズ・数量：B1 55部、B2 2,050部、B3 2,450部(うち
400部はJR帯つき)



チラシ表面



チラシ裏面



チラシ中面



B1・B2ポスター



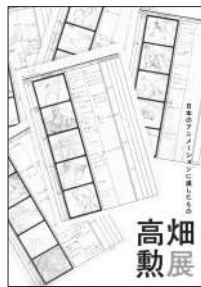
B3ポスター

カタログ：

<仕様>235×297mm、256頁

カラー図版611点

参考図版(カラー56点)



カタログ表紙

ユーリー・ノルシュテイン「特別寄稿 高畑勲さんの思い出」

氷川竜介「アニメーションの変革者・高畑勲」

鈴木勝雄「高畑勲の演出術－アニメーションにおける風景の美学」

叶精二「漫画映画の枠を超えた心理的演技の追求」

叶精二「日常の再発見と客観主義の確立」

叶精二「現代日本を照らすアニメーション」

叶精二「長編アニメーションの革新と創造」

鈴木勝雄「コラム 高畑勲とジャック・プレヴェールの詩」

鈴木勝雄「コラム 高畑勲と音楽」

叶精二「コラム「空白の5年間」とプロデューサー就任の真実」

鈴木勝雄「コラム 高畑勲と美術研究」

「フレデリック・バックとの友情」

文献目録／年譜／出品リスト

編集：齊藤陸志(クラフトワークス)、筒井亮子、東京国立近代美術館(鈴木勝雄、榊田倫広、山田歩)、スタジオジブリ(田居因、野中晋輔、田中千義)、NHKプロモーション

執筆：ユーリー・ノルシュテイン、叶精二、氷川竜介、鈴木勝雄

翻訳：クリストファー・スティヴンズ、児島宏子

発行：NHKプロモーション

発行年：2019年

高畑勲監督講演会 記録集：

<仕様>182×257mm、43頁

カラー図版4点、モノクロ図版75点



記録集表紙

ピーター・バラカンの「音を見る。アートを聴く。」

第8回「映画と音楽－高畑勲作品をめぐって」

講演会「主観と客観」

編集後記

編集・発行：静岡市美術館

発行年：2023年

普及ツール：

1)音声ガイド

音声ガイドを利用した方に、本展オリジナル缶バッジをプレゼントした。

2)本展オリジナルミニDMの作成・配布

ハガキサイズのミニDMを制作し、市内店舗等へ配布した。

制作物：

◆ミニDM

<仕様>紙：ハイアピスNEOウルトラホワイト 130kg

サイズ・数量：100×148mm 15,000部



ミニDM表面



ミニDM裏面

3)鑑賞ガイド

出品作品の見どころをわかりやすく解説した鑑賞ガイドを制作し、市内の小学5・6年生の全校生徒および中学・高校の美術部生徒に配布した。

制作物：

◆鑑賞ガイド

<仕様>紙：b7トラネクスト 86kg

サイズ・加工・数量：210×594mm(仕上A5縦)、両観

音折り 50,000部



鑑賞ガイド表面



鑑賞ガイド中面

4)本展オリジナルしおりの作成・配布

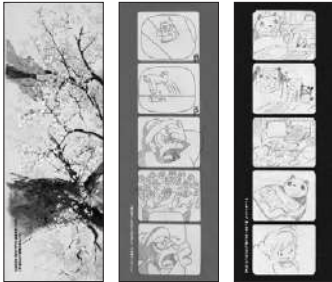
しおり3種を制作し、市立図書館、前売券取扱書店、生涯学習センター等で配布した。

制作物：

◆しおり

<仕様>紙：コート 180kg

サイズ・数量：47×143mm 43,500部



しおり表面(計3種)



しおり裏面(3種共通)

5)前売券購入特典

当館窓口で前売り券を購入した方に、本展オリジナル缶バッジをプレゼントした。

利用者数：368件

6)SNS投稿でプレゼントの実施

1月10日(水)から3月29日(金)の平日に、高畑勲展フォトスポットの写真をSNSに投稿した方に、当館オリジナルパラパラマンガキット(全4種セット)をプレゼントした。

利用者数：395件

制作物：

◆パラパラマンガキット

<仕様>紙：上質紙 110kg

サイズ：A4



パラパラマンガキット(計4種)

7)当館オリジナルパラパラマンガキットプレゼントの実施

12月27日(水)、28日(木)、2月の16時以降に本展をご観覧の方、各日先着50名に、本展出品作品の図版を用いた当館オリジナルパラパラマンガキット(2種)をプレゼントした。

8)ミュージアム教室利用者特典映像の制作・配信

ミュージアム教室の利用促進を狙い、ミュージアム教室の利用校に、スタジオジブリで取材した特別映像を配信した。

各種連携：

1)近隣店舗との連携

葵タワー内および近隣店舗で、展覧会入場者への優待サービスの実施、本展に合わせた特別メニューの提供を行った。

制作物：

◆チラシ

<仕様>紙：マットコート 70kg

サイズ・数量：A4 4,000部



協賛チラシ表面



協賛チラシ裏面

主要広報記録：

1)テレビ・ラジオ

- ・「展覧会紹介」FM-Hil『chalchalサタデー 静岡ドライブインフォメーション』、12月16日放送。
- ・「静岡市美術館「高畑勲展」アニメファン詰めかける」Daiichi-TV『every.しずおか』、12月27日放送。
- ・「“高畑勲展”の魅力に迫る!!」Daiichi-TV『every.しずおか』、1月5日放送。
- ・「展覧会紹介」SBSラジオ『TOROアニメーション総研』、1月22日放送。
- ・「「高畑勲展」来場者1万人達成」Daiichi-TV『every.しずおか』、2月2日放送。
- ・「展覧会紹介」FM-Hil『ひるラジ静岡情報館』、2月29日放送。
- ・「「高畑勲展」来場者2万人達成」Daiichi-TV『NNNストレイトニュース』、3月2日放送。
- ・「高畑勲展の魅力は?」Daiichi-TV『NNNストレイトニュース』、3月9日放送。
- ・「展覧会紹介」Daiichi-TV『NNNストレイトニュース』、3月13日放送。
- ・「高畑勲展 その見どころ」Daiichi-TV『NNNストレイトニュース』、3月16日放送。
- ・「展覧会紹介」Daiichi-TV『NNNストレイトニュース』、3月21日放送。
- ・「静岡市美術館「高畑勲展」の魅力」Daiichi-TV『NNNストレイトニュース』、3月23日放送。
- ・「展覧会紹介」Daiichi-TV『NNNストレイトニュース』、3月28日放送。

2)新聞

- ・「高畑勲監督作品の全貌を知る!初の回顧展 静岡市美術館で開催」『スポーツ報知』静岡版、11月23日。
- ・「高畑勲さんの世界 間近で」『読売新聞』静岡版、12月28日。
- ・「高畑勲監督作品の全貌を知る初の回顧展 静岡市美術館で開催中」『スポーツ報知』静岡版、12月28日。
- ・「アニメ巨匠 歩み回顧」『静岡新聞』、1月1日。
- ・飯盛結衣「日本アニメの礎 高畑勲さん回顧」『中日新聞』静岡版、1月15日。
- ・「優しく温かい気持ちになれる「高畑勲展」」『スポーツ報知』静岡版、1月19日。
- ・「高畑勲展 特別企画「かぐや姫の物語」など無料上映」『スポーツ報知』静岡版、1月25日。
- ・「高畑勲展 1万人突破」『読売新聞』静岡版、2月3日。
- ・「「高畑勲展」に1万人目の来場者」『スポーツ報知』静岡版、2月3日。
- ・「アニメ巨匠回顧展 来場者1万人突破」『静岡新聞』、2月3日。
- ・「高畑勲展来場 2万人を突破」『読売新聞』静岡版、3月2日。
- ・「高畑勲展 2万人達成」『スポーツ報知』静岡版、3月2日。
- ・「高畑勲展、閉幕迫る!宮崎駿監督の貴重な資料も展示」『スポーツ報知』静岡版、3月21日。



3)雑誌他

- ・「アニメ界の巨匠、創作の秘密」『美術の窓』、2022年12月号。
- ・「展覧会紹介」『和楽』、10・11月号。
- ・「展覧会紹介」『和楽』、12・1月号。
- ・「展覧会紹介」『ゆうゆう』、1月号。
- ・「展覧会紹介」『ひととき』、1月号。
- ・「展覧会紹介」『月刊アートコレクターズ』、12月号。
- ・「展覧会紹介」『和楽』、2・3月号。
- ・「展覧会紹介」『月刊なごや』、第495号。
- ・「展覧会紹介」『pumpkin』、1月号。
- ・「展覧会紹介」『InRed』、1・2月号。
- ・「展覧会紹介」『美術展びあ 2024』。
- ・「展覧会紹介」『懸賞なび』、2月号。
- ・「展覧会紹介」『プレーン』、2月号。
- ・「展覧会紹介」『美術の窓』、2月号。
- ・「展覧会紹介」『和楽』、2・3月号。
- ・「展覧会紹介」『ポトス』、2023秋 特別増刊号。
- ・「展覧会紹介」『すろ〜かる』、1月号。
- ・「展覧会紹介」『しずおか保険医新聞』、第479号。
- ・「展覧会紹介」『すろ〜かる』、2月号。
- ・「展覧会紹介」『すろ〜かる』、3月号。



4)ウェブサイト等(媒体名のみ記載)

「Sfumart」、「じゃらんnet」、「アートアジェンダ」、「WOMO」、
「LINE配信」、「アットエス」、「ぴあポイント」、「週刊じゃらん」



2月2日 来場者1万人達成



3月1日 来場者2万人達成

関連事業：

1) 講演会「高畑勲監督作品について語る」(対談)

概要：スタジオジブリの田中千義氏と西岡純一氏をお招きし、高畑監督作品の魅力やその演出術について、生前のエピソードを交えながら対談形式でお話しいただいた。田中氏は制作スタッフとして、西岡氏は広報面から長年にわたり高畑作品を支えてきた。両氏だからこそ知りえる内容に聴講者は熱心に耳を傾けていた。本事業には271人の申込みがあり、終了後の質疑応答にも多くの聴講者から手が挙がるなど関心の高さがうかがえた。

日時：1月28日(日)14:00-15:30

会場：多目的室 参加者数：74人

講師：田中千義氏(スタジオジブリ/スタジオ学芸室制作プロデューサー)、西岡純一氏(スタジオジブリ執行役員)



2) 週替わり！高畑監督作品上映会

概要：参加者アンケートには「展示と繋がりを持って映画を観ることができ大変有意義に感じた」「子どもたちの笑い声を聞きながら見れて良かった」「全く古臭さを感じず、今の子どもたちにも魅力が伝わっていることが嬉しかった」といった感想が寄せられた。また上映終了後に拍手が沸き起こるなど満足度の高い関連事業となった。上映会は19日間実施し1,171人が参加。展覧会閑散期の中だるみ対策にも繋がった。

上映内容：①『かぐや姫の物語』(2013年/137分)、②『パンダコパンダ』(1972年/33分)、③『パンダコパンダ 雨ふりサーカスの巻』(1973年/38分)

日時：①2月6日(火)-12日(月・祝)、②2月14日(水)-18日(日)、③2月20日(火)-25日(日)

いずれも13:30-(開場13:00)

会場：多目的室 参加者数：計1,171人

参加料：無料



3)当館学芸員によるスライドトーク

概要：展覧会に対する理解を深めるため、当館学芸員によるスライドトークを会期中実施した。

日時：①1月21日(日) ②3月16日(土) いずれも14:00-

会場：多目的室 参加者数：計67人

参加料：無料



4)笑顔デカケルプロジェクト事業／静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業

「る・く・るでくるくる☆おさんぽアニメーションを作ろう！」

※61頁を参照。

出品作品リスト

- ・このリストは第1章、第2章、第3章、第4章、年譜の順に、展示品の内容を記したものである。第1～4章の各章内はフィルモグラフィに沿った配列とし、それ以外の展示物は「その他」に記した。
- ・アニメーションの制作工程に沿って、展示品を以下のカテゴリーに分類。これらのカテゴリーを示したのちに、必要に応じてその内容を記述する。

○企画 ○作画 ○脚本 ○背景 ○制作資料 ○音楽 ○イメージボード ○広報・宣伝
○設定 ○映像 ○絵コンテ ○場面スチル ○レイアウト ○作品関連資料 ○ボード ○その他

第1章

『安寿と厨子王丸』(1961年)	○制作資料 ライブアクションの写真
	○絵コンテ
	○作画 セル画
	○広報・宣伝 ポスター
	○場面写真
	○作品関連資料 人形
『わんぱく王子の大蛇退治』 (1963年)	○脚本
	○絵コンテ
	○作画 セル画
	○背景 背景画
	○広報・宣伝 ポスター
『狼少年ケン』(1963-65年)	○脚本
	○絵コンテ
	○音楽
	○広報・宣伝 宣伝用セル画
	○映像 第72話「誇りたかきゴリラ」より
	○作品関連資料 人形
『太陽の王子 ホルスの大冒険』 (1968年)	○企画 企画書、企画ノート
	○脚本 脚本準備ノート、脚本
	○制作資料 (スタッフへの覚書、スタッフからの提案、 香盤表、テンション・チャート、進行管理、 東映動画との交渉記録)
	○イメージボード
	○設定 キャラクター・スケッチ、キャラクター表、美 術設定、色指定
	○絵コンテ
	○作画 原画、動画、セル画
	○背景 背景画
	○音楽 設計、歌詞、楽譜、振り付けの写真資料
	○広報・宣伝 広報計画、ポスター
	○映像 予告編、「収穫の唄」シーン
	○場面写真
	○その他 ターゲット映画祭関連資料

その他

*「ぼくらのかぐや姫」企画ノート

*東映動画で使用されていたアニメーターの机

第2章

『パンダコパンダ』、 『パンダコパンダ 雨ふりサーカス の巻』(1972-1973年)	○企画 企画ノート
	○脚本 脚本準備ノート
	○絵コンテ
	○レイアウト
	○広報・宣伝 ポスター
『アルプスの少女ハイジ』(1974年)	○企画 企画ノート
	○脚本 脚本準備ノート
	○制作資料 ロケハン資料
	○設定 キャラクタースケッチ、キャラクター表
	○絵コンテ
	○レイアウト
	○作画 原画、動画、セル画
	○背景 背景画
	○映像 オープニング、第1話抜粋
	○作品関連資料 関連グッズ
『母をたずねて三千里』(1976年)	○レイアウト
	○作画 原画
	○背景 背景画
	○映像 第2話抜粋
	○作品関連資料 劇場版ポスター、関連グッズ
『赤毛のアン』(1979年)	○脚本 脚本準備ノート
	○設定 キャラクタースケッチ、キャラクター表
	○絵コンテ
	○レイアウト
	○作画 原画、セル画
	○背景 背景画
	○映像 オープニング
	○作品関連資料 劇場版ポスター、関連グッズ
その他	
	*『長くつ下のピッピ』関連資料 ・企画(企画ノート、企画書) ・高畑勲・宮崎駿・小田部羊一『幻の「長くつ下のピッピ」』、岩波書店、2014年
	*『フランダーズの犬』絵コンテ
	*『ヘリウム物語』絵コンテ
	*『リトル・ニモ』イメージボード

第3章

『じゃりン子チエ』(1981年)	<input type="checkbox"/> 設定 キャラクター表
	<input type="checkbox"/> レイアウト
	<input type="checkbox"/> 背景 背景画
	<input type="checkbox"/> 映像
	<input type="checkbox"/> 広報・宣伝 ポスター
『セロ弾きのゴーシュ』(1982年)	<input type="checkbox"/> 背景 美術ボード、背景画
	<input type="checkbox"/> 音楽 設計ノート
	<input type="checkbox"/> 広報・宣伝 ポスター
	<input type="checkbox"/> 映像
	<input type="checkbox"/> 作品関連資料 『カッコー通信』オープニング、 1984年
『柳川掘割物語』(1987年)	<input type="checkbox"/> 企画 企画ノート
	<input type="checkbox"/> 脚本
	<input type="checkbox"/> 広報・宣伝 ポスター用イラスト
『火垂るの墓』(1988年)	<input type="checkbox"/> 脚本 脚本準備ノート
	<input type="checkbox"/> 制作資料 ロケハン資料
	<input type="checkbox"/> イメージボード
	<input type="checkbox"/> 設定 色指定
	<input type="checkbox"/> 絵コンテ
	<input type="checkbox"/> レイアウト
	<input type="checkbox"/> 作画 セル画
	<input type="checkbox"/> 背景 美術ボード、背景画
	<input type="checkbox"/> 広報・宣伝 ポスター
『おもひでぼろぼろ』(1991年)	<input type="checkbox"/> 設定 キャラクタースケッチ、キャラクター表
	<input type="checkbox"/> レイアウト
	<input type="checkbox"/> 作画 セル画
	<input type="checkbox"/> 背景 美術ボード、背景画
	<input type="checkbox"/> 広報・宣伝 ポスター
『平成狸合戦ぽんぽこ』(1994年)	<input type="checkbox"/> イメージボード
	<input type="checkbox"/> 設定 美術設定
	<input type="checkbox"/> レイアウト
	<input type="checkbox"/> 作画 セル画
	<input type="checkbox"/> 背景 美術ボード、背景画
	<input type="checkbox"/> 映像
	<input type="checkbox"/> 広報・宣伝 ポスター

第4章

『ホーホケキョ となりの山田くん』 (1999年)	<input type="checkbox"/> ボード 着彩ボード
	<input type="checkbox"/> 映像
	<input type="checkbox"/> 広報・宣伝 ポスター
『かぐや姫の物語』(2013年)	<input type="checkbox"/> イメージボード
	<input type="checkbox"/> ボード
	<input type="checkbox"/> 作画 原画
	<input type="checkbox"/> 背景 背景画
	<input type="checkbox"/> 映像
	<input type="checkbox"/> 広報・宣伝 ポスター
	<input type="checkbox"/> その他 高畑勲が使用していたストップウォッチ

その他

- * フレデリック・バック関連資料
 - ・「クラック」原画
 - ・「木を植えた男」原画
 - ・高畑宛私信
- * 高畑勲「木を植えた男を読む」徳間書店、1990年
- * 高畑勲「十二世紀のアニメーション」徳間書店、1999年

年譜

- * 年譜に掲載されるポスターは各フィルム資料として記載した。
- * 「ルパン三世」絵コンテ
- * 「ドラえもん」関連資料
- * 「風の谷のナウシカ」関連資料
- * 高畑勲解説「話の話」徳間書店、1984年
- * ユーリー・ノルシュテインの高畑宛私信
- * 「やぶにらみの暴君」と「王と鳥」関連資料

静岡会場特別出品

山本二三 デモンストレーション作品 2014年 静岡市美術館蔵

3. 交流事業(教育普及事業)目次

3-1 交流事業

1) 佐内正史写真展 静岡詩	50
2) Shizubi Research+「倉俣史朗と静岡」プレ企画	51
3) Shizubi シネマアワー	53
4) しずびオープンアトリエ	54
5) しずびチビッコプログラム	55
6) 暦とあそぶワークショップ	56
7) プレゼントワークショップ	57
8) 夜店市	58

3-2 連携事業

1) ミュージアム教室・展示解説	59
2) 生涯学習センター・静岡市美術館連携事業「しずび出前講座」	60
3) 静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業(三館共同事業)	61
4) その他施設との連携	62

3. 交流事業(教育普及事業)

3-1 交流事業

1) 佐内正史写真展 静岡詩

概要：静岡市出身の写真家・佐内正史(1968-)。美術館での個展は2009年の川崎市岡本太郎美術館ぶりとなる本展では、「静岡詩」というタイトルを掲げ、本展のために新撮された静岡の風景のほか、30年前の未現像写真を展示するなど、作家にとっても表現の新境地を開く機会となった。過去の写真集も閲覧できるスペースも設け、小企画展ながら充実した内容となり、関東圏を中心に全国からファンが訪れた。最終日には作家が滞在し、作品の意図などを直接観覧者へ語るなど交流した。

会期：7月11日(火)～8月27日(日)

観覧者数：66,176人

制作物

◆チラシ

<仕様>紙：B7 トラネクスト 99kg
サイズ・数量：A4 25,000部



チラシ表面



チラシ裏面

◆ポスター

<仕様>紙：B7 トラネクスト 99kg
サイズ・数量：B2 50部



B2ポスター

出品作品：写真37点

主要広報記録：

◆テレビ・ラジオ

・「展覧会紹介」SBSラジオ『ゴゴボラケ』、8月9日放送。

◆新聞

・橋爪充「情」排除 軽やかな静岡 地元で初個展 写真家・佐内正史さん『静岡新聞』、7月17日。

・「静岡と写真」本県出身プロが語る『静岡新聞』、7月26日。

◆雑誌他

・「展覧会紹介」『和楽』、8・9月号。

・「展覧会紹介」『SWITCH』、Vol.41 No.9。

◆ウェブサイト等(媒体名のみ記載)

「美術展ナビ」、「アートアジェンダ」、「Sfumart」、「Fashion Press」、「ENCOUNTER MAGAZINE」、「コロカル」、「アットエス」、「Lula Japan」、「TRANSIT」、「TRILL」、「HILLS LIFE」

カタログ：

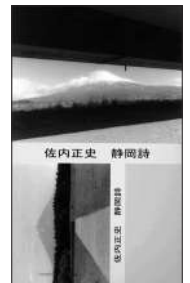
<仕様>110×180mm、208頁

カラー図版96点

執筆：佐内正史

編集・発行：対照

発行：2023年



カタログ表紙

関連事業：

◆「静岡詩の解対照(カイトイショー)」

概要：佐内氏をよく知る2人のゲストとともに、本展の制作意図やシャッターを押す瞬間の判断など、様々な方向から作家に迫っていった。佐内氏から発せられる独特の言葉の意味を少しずつ読み解いていくことで、佐内氏の写真に対する考えに近づくことができた。時折笑いが起こり、参加者からも質問が出るなど和やかな鼎談となった。トーク後はサイン会を行ったが、多くの人が列をなし作家との交流を楽しんだ。定員50名のところ85名の参加があり大盛況だった。

日時：7月23日(日)14:30～16:30

出演：佐内正史氏(写真家・本展出品作家)

ゲスト：若木信吾氏(写真家)

司会：永井祐介氏(VACANT主宰)

会場：多目的室 参加者数：85人





2) Shizubi Research+「倉俣史朗と静岡」プレ企画

(1) パネル展示

概要：2024年度に計画している小企画アーカイブ展のプレ企画として、エントランスホールの一角に倉俣史朗が手掛けた静岡での内装の仕事をもとめたパネルを掲示した。事前調査で新発見された写真や美術館周辺地図などを掲出、静岡とのつながりが一目でわかるような内容とした。イベント参加者以外の来館者もパネル前で立ち止まり、興味深く閲覧する様子が見られた。記入カードを設置し、市民からの情報収集も同時に行った。回収率は多くなかったが、有益な情報を得ることができた。

会期：11月11日(土) - 12月24日(日)

観覧者数：38,203人

制作物

◆チラシ

<仕様>紙：マットコート 90kg

サイズ・数量：A4 6,000部

主要広報記録：

◆新聞

・「逸品2024 伝説的デザイナー「倉俣史朗」が呉服町でも店舗デザインを手がけていた!」『静岡新聞』、3月21日。



チラシ表面



チラシ裏面

(2)連続トークイベント

概要：倉俣史朗が内装を手掛けたバー COMBLÉを会場に、対話形式と講義形式で当時の関係者や研究者から話を伺い、30年以上前の倉俣史朗と静岡の関係について深く掘り下げることができた。現存する倉俣の内装は全国的にみても珍しいため、気軽に参加できる本事業への注目度は高く、全3回ともチケットは発売直後に完売、県外からの参加も多くあった。

①「バー COMBLÉができるまで」

日時：12月3日(日)14:30-16:00

ゲスト：五十嵐久枝氏(イガラシデザインスタジオ、武蔵野美術大学教授、元クラマタデザイン事務所勤務)、勝俣震一氏(勝俣銘木工業)、中山昌彦氏(COMBLÉオーナー)

参加者数：24人

②「家具産地イメージアップ事業と倉俣史朗」

日時：1月14日(日)14:30-16:00

ゲスト：町田光氏(デーシーエスデザイン研究所、《静岡ファニコンの椅子》製作)

参加者数：22人

③「倉俣史朗のショップ・インテリア」

日時：2月4日(日)14:30-16:00

ゲスト：橋本啓子氏(近畿大学建築学部准教授)

参加者数：24人

会場：いずれも COMBLÉ(静岡市葵区呉服町2-7静専ビル2F)

参加料：いずれも 1,000円

主要広報記録：

◆新聞

- ・「30年前の姿 デザイナーの息吹」『中日新聞』静岡版、11月2日。
- ・池田知之「空間デザイナー倉俣史朗の足跡に着目」『中日新聞』静岡版、12月10日。

◆ウェブサイト等(媒体名のみ記載)

「エル・デコ(ELLE DÉCOR)」、「WOMO」



3)Shizubi シネマアワー

(1)Shizubi シネマアワー vol.31

「種子(たね)を守る人々」

概要：「英国キュー王立植物園 おいしいボタニカル・アート 食を彩る植物のものがたり」にあわせ、植物の種子を守り続けてきた人々を追ったドキュメンタリー作品を2本上映した。

日時：①5月3日(水・祝) ②5月4日(木・祝)

いずれも14:00-(開場13:30)

上映内容：

①『シード～生命の糧～』(タガート・シーゲル、ジョン・ベッツ

監督/2016年/アメリカ/94分)

②『よみがえりのレシピ』(渡辺智史監督/2011年/日本/95分)

会場：多目的室 参加者数：①53人 ②39人

参加料：いずれも500円

企画協力：(株)サルナートホール



告知チラシ(当館作成)

(2)Shizubi シネマアワー vol.32

「ユーリー・ノルシュテイン《外套》をつくる」

概要：「高畑勲展—日本のアニメーションに遺したもの」にあわせ、高畑氏とも交流のあったロシアを代表するアニメーション作家ユーリー・ノルシュテイン氏についてのドキュメンタリー作品を上映した。

日時：3月2日(土)14:00-(開場13:30)

上映内容：

『ユーリー・ノルシュテイン《外套》をつくる』(才谷遼監督/2019年/日本/109分)

会場：多目的室 参加者数：42人

参加料：500円

企画協力：(株)サルナートホール



告知チラシ(当館作成)

4)しずびオープンアトリエ

概要：春・夏の年2回、開催中の展示会にあわせて実施する、鑑賞と創作が一体となったオリジナルワークショップ。地元の大学生による「学生ボランティア」が制作をサポートする。

(1)「セルアニメーションに挑戦！」(夏季)

概要：指導員の武田あずみ氏にイラスト制作を依頼し、セルアニメの原理を簡単に体験できるキットを3種用意した。冒頭のレクチャーでは出品作品の図版を用い、複雑なアニメの制作工程をわかりやすく紹介し制作へとつなげた。参加者はセルを模した透明なOHPシートの裏面からボスカで彩色し背景画と重ねて6コマ撮影。専用のアプリを使って完成したアニメを鑑賞した。学校現場のGIGAスクール構想を見据えた新しい事業が展開できた。

日時：8月11日(金・祝)～20日(日)

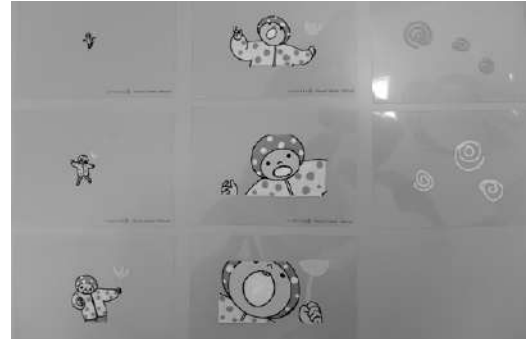
いずれも ①13:30～ ②15:00～

(各回約1時間、計10日間・20回実施)

会場：ワークショップ室

対象・参加者数：小学生以上 計136人(各回定員10人)

参加料：200円(材料費含む)



(2)「セルアニメーションに挑戦！」(春季)

概要：夏季と同様のワークショップを実施した。学生ボランティアはコロナ以降最多となる9名の応募があり、当日は参加者の制作や撮影をサポートした。実施時間が映画上映会と重なったこともあり集客に苦戦したが、参加者数は夏季より微増し目標値を上回ることができた。国内外のアニメーション関係者の参加も見られ、HPやSNSを駆使した事業告知が国外の関心層にも届いていることが確認できた。

日時：2月3日(土)～3月3日(日)の毎週土曜・日曜日

いずれも ①13:30～ ②15:00～

(各回約1時間、計10日間・20回実施)

会場：ワークショップ室

対象・参加者数：小学生以上 計148人(各回定員10人)

参加料：200円(材料費含む)



(3)おうちで!しずびオープンアトリエ(動画配信+貸出キット)「縹綯彩色に挑戦!色鮮やかな文様を描こう」

概要：しずびオープンアトリエの内容を自宅でも楽しむことができるよう、動画の配信及び貸出キットを提供。昨年度に引き続きプログラム第1弾を実施し、4～6月までの間に16人の利用があった。8月からは新たな動画配信プログラムをスタートするため、本プログラムは7月末で一旦終了した。

日時：4月1日(土)～7月31日(月)

参加者数：16人

貸出キット価格：1作品につき200円



(4)おうちで!しずびオープンアトリエ(動画配信+貸出キット)「セルアニメーションに挑戦!」

概要：動画配信と制作キット貸出サービスの第2弾を、オープンアトリエ(夏季)の開始にあわせ実施。8月～3月までの間に42セットの利用があった。オープンアトリエ期間中は参加者にも動画配信の実施を案内し、自宅での作品も体験したいと複数の利用があった。

日時：8月1日(火)～3月31日(日)

参加者数：39人

貸出キット価格：1作品につき200円



5)しずびちピッコプログラム

概要：2歳以上の未就学児を対象とした、鑑賞に基づく制作プログラム。保護者は展覧会を見学する。展覧会毎に様々なアプローチで未就学児の表現の可能性を引き出している。市内保育支援団体の協力を得て実施。(保護者は要観覧券)

(1)「英国キュー王立植物園 おいしいボタニカル・アート 食を彩る植物のものがたり」

概要：銅版画に手彩色で仕上げられた出品作品を参考に、紙版画による版画技法を体験した。紙版画とは専用の厚紙とプレス機を用いる凹版画で、原理は銅版画と大きく変わらない。厚紙にボールペンで作品の輪郭や陰影を描画し、凹んだ部分にインクを詰めプレス機で紙に転写後、水彩絵の具で着色して仕上げた。「作品が素敵でびっくりした。母と兄でゆっくり展示を回ることができたのもよかった」など保護者向けアンケートでも好評を得た。

日時：5月28日(日)①10:30-12:00 ②14:00-15:30

会場：ワークショップ室

対象・参加者数：2歳以上の未就学児 計15人

参加料：子ども1人につき500円



(2)「さくらももこ展」

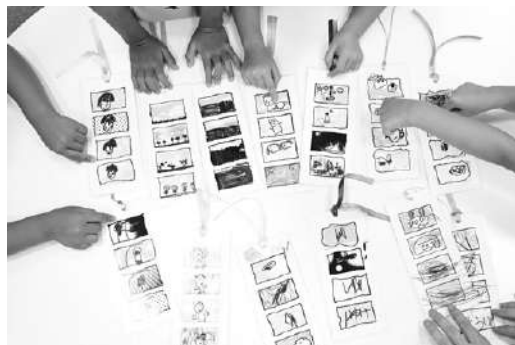
概要：さくらももこ展にちなみ、スクリーントーンを使って作品を制作した。参加者は4コマ漫画の枠の中に思い思いの絵を描き、その背景に自分で選んだスクリーントーンを切り貼りした。オリジナルのストーリーを考えながら制作したり、完成した作品に効果音をつけて楽しむ参加者の姿も見られた。スクリーントーンを選ぶ際は、模様や柄によって印象が変わることを皆で確認し、素材感や心象表現などに効果的なスクリーントーンの特徴を伝えた。

日時：8月5日(土)①10:30-12:00 ②14:00-15:30

会場：ワークショップ室

対象・参加者数：2歳以上の未就学児 計18人

参加料：子ども1人につき500円



(3)「カンパール美術館所蔵 ブルターニュの光と風 フランス 神秘と伝統の地へ」

概要：出品作品のアルフレッド・ギユ《コンカルノーの鰯加工場で働く娘たち》を立体的に表した紙のジオラマ「立版古」を制作した。作品を前景・中景・後景に切り分ける前にワークシートにペンで書き込み見当をつけた。その後、箱の中に各パーツを配置し額縁を取りつけて仕上げた。作品の隅々までじっくりと鑑賞することにも繋がり、保護者向けアンケートでも好評を得た。

日時：10月7日(土)①10:30-12:00 ②14:00-15:30

会場：ワークショップ室

対象・参加者数：2歳以上の未就学児 計20人

参加料：子ども1人につき500円



(4)「NHK大河ドラマ特別展 どうする家康」

11月23日に開催予定であったが、講師の体調不良により中止とした。

(5)「高畑勲展—日本のアニメーションに遺したもの」

概要：オープンアトリエ「セルアニメーションに挑戦！」の内容を未就学児向けにアレンジして実施した。参加者は、赤ちゃんが転がるように見える「ころころ」と、食べ物を自由に描き足す「もぐもぐ」の2本のアニメーション制作に挑戦した。ポスカで彩色し、背景と重ねて撮影するというシンプルな内容のため、最年少の2歳児も制作を楽しむことができたようだ。完成したアニメーションはお迎えに来た保護者とともに鑑賞した。

日時：3月9日(土)①10:30-12:00 ②14:00-15:30

会場：ワークショップ室

対象・参加者数：2歳以上の未就学児 計22人

参加料：子ども1人につき500円



6) 暦とあそぶワークショップ

概要：祭事や年中行事を通して季節を感じ、それをかたちにするワークショップシリーズ。暦の本来の意味や歴史を学びながら制作する。

(1) 暦とあそぶワークショップvol.25

「七夕の準備をしよう！」

概要：午前は子ども編、午後は大人編を実施した。短冊の前身と言われる「梶の葉飾り」と、お裁縫の上達等を願い和紙で小さな着物を形作る「七夕紙衣」を制作した。制作前には七夕の様子が描かれた作品をモニターで鑑賞しながら地域や時代によって異なる七夕の風習や飾り物の変遷を紹介した。参加者からは「七夕の歴史も学べてよかった」「紙で着物が作れてびっくりした」という声が寄せられた。紙衣用に用意した友禅和紙も好評であった。

日時：①子ども編 7月1日(土) 10:30-12:00

②大人編 7月1日(土) 14:00-15:30

会場：いずれも ワークショップ室

対象・参加者数：①小学生11人 ②中学生以上14人

参加料：いずれも 1人につき500円(材料費含む)

主要広報記録：

◆新聞

・「伝統的な七夕飾り作ろう 学芸員、子どもに手ほどき」『静岡新聞』、7月2日。



子ども編



大人編

(2) 暦とあそぶワークショップvol.26

「お正月だ！辰の飾り物に絵付けをしよう」

概要：来年の干支、辰の飾り物(16cm程度)に古代色のアクリル絵の具で絵付けをした。使用したFRP製の飾り物は、静岡市出身の彩色木彫家・平野富山の作品を原型に特別に制作。彩色手順は富山作品にも見られる縹緗彩色の技法で面を塗ったのちに、金・銀の筆ペンで細かな装飾文様を描いた。参加者は小学生から80代の女性まで幅広い年齢層の参加を得た。アンケートからも「富山の技術の凄さが伝わった」などと好評を得た。

日時：12月10日(日) ①9:30-12:00 ②14:30-17:00

会場：ワークショップ室

対象・参加者数：いずれも 小学生以上 計26人

参加料：1人につき3,000円(材料費含む)



主要広報記録：

◆新聞

・「竜に絵付け思い思いに」『読売新聞』静岡版、12月13日。

7) プレゼントワークショップ

概要：子どもたちの創作意欲の原点である、家族や大切な人への想いをかたちにするという行為に焦点を当て、記念日にあわせて実施。プレゼントを「つくって、贈る」ことから生まれるコミュニケーションに主眼を置く。

(1) プレゼントワークショップvol.39

「親子でつくる七宝焼の贈り物」

概要：小・中学生の親子計7組が参加し、七宝焼のプローチを制作した。まず下絵の形に合わせて素地となる銅板を切り出し、叩く、磨く等の下処理を行った後、専用のガラス質の絵の具を少しずつ盛りつけ彩色した。七宝焼の講座は今回初めて実施したが、道具や技法、工程を入念に調べ、短時間で素地の成形から体験できるプログラムを考案した。今後も美術館ならではの専門的なプログラムを企画実施していきたい。

日時：5月13日(土)13:00-16:30

会場：ワークショップ室

対象・参加者数：小学生以上の親子 7組16人

参加料：1人につき1,000円(材料費含む)



(2) プレゼントワークショップvol.40

「親子でつくる七宝焼の贈り物」

6月3日に開催予定であったが、6月2日の豪雨の影響で公共交通機関が運休となり、講師が出勤困難となったため中止した。

(3)プレゼントワークショップvol.41

「クリスマスの小さな妖精“トムテ”をつくろう！」

概要：

子ども編：トムテの登場する絵本をいくつか鑑賞しイメージを膨らませてから制作に入った。絵本によるとトムテは農場に住み羊などの家畜の世話をすることから材料には羊の毛を使用。全長25cm程の人形を1人2体制作した。参加者は色とりどりの羊毛の中から好きな色を選んでフェルト化し、トレードマークであるとんがり帽子や洋服を形作った。フェルトの色合いや顔のパーツの位置で一体一体微妙に表情が変わり個性豊かなトムテが完成した。

大人編：子ども編を上回る35名の申込みがあった。まずスウェーデン、デンマーク、フィンランド等のトムテにまつわる絵本を鑑賞し、地域によって異なるその呼び名や特徴などを紹介した。また羊毛のフェルト化の原理を解説し素材の特性を伝えた。本事業には14歳から74歳と幅広い世代が参加し細部にまでこだわりの感じられる大人編ならではの質の高い作品が完成した。最後に余ったフェルトでオリジナルのクリスマスカードを制作した。

日時：①子ども編 12月2日(土)

②大人編 12月3日(日)

いずれも 13:00-16:30

会場：いずれも ワークショップ室

対象・参加者数：①小学生13人 ②中学生以上13人

参加料：いずれも 1人につき500円(材料費含む)



子ども編



大人編

8)夜店市

概要：静岡市中央商店街で実施される夏まつりに静岡市文化振興財団ブースとして、事務局、静岡市美術館、静岡市歴史博物館で出店した。新型コロナウイルス感染症の影響により、今回が4年ぶりの出店となった。静岡市美術館の展覧会チケットやグッズの販売をするとともに、法人広報の場として活用した。広報ツールとしてうちわやAOI BREWINGとのコラボビールを作成したほか、チケット、グッズの購入者を対象に、グッズやコンサート招待券が当たるくじ引きを行った。夜店市の場で美術館チケットを購入している、との声も多く、財団が夜店市に出店していることが市民にも知られてきたと感じた。

日時：8月11日(金・祝)・12日(土)・13日(日)

いずれも 16:00-21:00

場所：葵区紺屋町名店街「小椋神社」前

販売物：「さくらももこ展」当日券、「カンパール美術館所蔵 プルターニュの光と風 フランス 神秘と伝統の地へ」展前売券、「NHK大河ドラマ特別展 どうする家康」展前売券、静岡市美術館オリジナル虹色鉛筆、同マスキングテープ、同缶バッジ、EARTH PIECE、ヨーヨーバトル、クレヨン、バンドボール

※チケット・グッズ購入者には、スピードくじを実施した。



3-2 連携事業

1)ミュージアム教室・展示解説

概要：当館では、学校や生涯学習センター等からの団体を対象にして、展覧会担当学芸員が直接解説する鑑賞教室に力を入れている。幼稚園・保育園児～高校生については、子どもたちと当館学芸員等が対話形式で展覧会鑑賞を行う「ミュージアム教室」として実施。子どもたち自身が作品の魅力を発見し、考えるよう促すことで、美術を身近で楽しいものと感じることを目指すとともに、美術館でのマナーも学習することを目的とする。大学・専門学校生、および生涯学習センター・生涯学習交流館等の事業参加者については、展覧会の見どころを中心とした「展示解説」として実施している。



対象：＜ミュージアム教室＞幼稚園・保育園児～高校生

＜展示解説＞大学生・専門学校生～一般

実施内容・所要時間(共通)：

スタッフの解説30分+自由鑑賞30分 計60分

利用状況：

◆ミュージアム教室利用状況

	幼稚園・保育園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校 特別支援学級		児童クラブ 等		展覧会合計	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
英国キュー王立植物園 おいしいボタニカル・アート 食を彩る植物のものがたり	0	0	0	0	14	562	5	53	0	0	1	18	20	633
さくらももこ展	3	102	5	103	18	359	13	197	1	15	19	323	59	1,099
カンパール美術館所蔵 プルターニユの光と風 フランス 神秘と伝統の地へ	0	0	0	0	4	77	8	161	0	0	0	0	12	238
NHK大河ドラマ特別展 どうする家康	0	0	1	3	3	51	6	70	0	0	2	48	12	172
高畑勲展 —日本のアニメーションに遺したもの	0	0	3	129	16	246	16	195	0	0	7	95	42	665
計	3	102	9	235	55	1,295	48	676	1	15	29	484	145	2,807

計 145団体 2,807人

◆展示解説利用状況

	大学・専門学校		生涯学習センター 生涯学習交流館		その他		展覧会合計	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
英国キュー王立植物園 おいしいボタニカル・アート 食を彩る植物のものがたり	0	0	2	25	2	12	4	37
さくらももこ展	1	10	0	0	0	0	1	10
カンパール美術館所蔵 プルターニユの光と風 フランス 神秘と伝統の地へ	1	7	2	43	1	28	4	78
NHK大河ドラマ特別展 どうする家康	1	26	2	45	4	139	7	210
高畑勲展 —日本のアニメーションに遺したもの	1	29	1	8	1	33	3	70
計	4	72	7	121	8	212	19	405

計 19団体 405人

2)生涯学習センター・静岡市美術館連携事業

「しずび出前講座」

概要：「しずび出前講座」は、開催中の展覧会にかかわらず、生涯学習センターに当館学芸員を講師として派遣し、座学やワークショップを実施する連携講座。本年度は13講座を実施した。

①藁科生涯学習センター

「おいしいボタニカル・アートの世界」

概要：「おいしいボタニカル・アート」展にあわせ実施。1回目の講座では、銅版画や陶磁器、銀器など出品作品の制作技法を図説するほか、イギリスにおける各植物の獲得の歴史と植物画の役割について、当時の植民地政策などの時代背景を織り交ぜながら解説した。2回目は展覧会のみどころや鑑賞のポイントを紹介した後、各自で展覧会を鑑賞した。展示室内での撮影可能エリアでの撮影も楽しみながらじっくりと鑑賞する様子が見られた。

日時：①5月9日(火) ②5月16日(火)

いずれも 10:00-11:30

会場：①藁科生涯学習センター ②当館 参加者数：計19人

講師：太田紗世

②西部生涯学習センター

「おいしいボタニカル・アートの世界」

概要：「おいしいボタニカル・アート」展にあわせ実施。1回目の講座では、銅版画や陶磁器、銀器など出品作品の制作技法を図説するほか、イギリスにおける各植物の獲得の歴史と植物画の役割について、当時の植民地政策などの時代背景を織り交ぜながら解説した。2回目は展覧会のみどころや鑑賞のポイントを紹介した後、各自で展覧会を鑑賞した。「事前にレクチャーいただけるのが、大変良かった。楽しみになった」などと好評だった。

日時：①5月23日(火) ②5月30日(火)

いずれも 10:00-11:30

会場：①西部生涯学習センター ②当館 参加者数：計22人

講師：太田紗世

③北部生涯学習センター

「絵本の絵を読む」

概要：絵本の絵の魅力について、ロングセラー絵本を例に多角的に紹介した。登場人物の心理描写や細部に描かれたサイドストーリー、独特の色合いや画材の質感など、絵本の絵には物語を視覚化しただけではないたくさんの魅力がある。その具体例を読み聞かせを交えながら、スクリーンに大写しにした絵本で細部を見せつつ解説した。台風の影響で当日キャンセルが多かったものの、図書館職員や読み聞かせボランティアなど熱心な参加者が聴講した。

日時：6月2日(金)10:00-11:30

会場：北部生涯学習センター 参加者数：13人

講師：安岡真理

④南部生涯学習センター

「絵本の絵を読む」

概要：絵本の絵の魅力について、ロングセラー絵本を例に多角的に紹介した。今回はこれまでの続編として絵本のラインナップを一新。地域のテレビ局の取材が入り、当財団の強みである専門性を生かした連携事業を紹介する機会となった。

日時：6月24日(土)10:00-11:30

会場：南部生涯学習センター 参加者数：28人

講師：安岡真理

⑤高齢者学級みのり大学 東部学級での講義

「絵画にみる『平家物語』の世界」

概要：人気の読物であった平家物語は、江戸時代、浮世絵(武者絵)に描かれ人々に親しまれた。本講座では、「敦盛の最期」や「扇の的」など名場面を屏風や絵巻物、浮世絵などの絵画とともに紹介した。

日時：6月27日(火)10:00-11:30

会場：東部生涯学習センター 参加者数：44人

講師：大石沙織

⑥大里生涯学習センター 大里心の乙女塾

「駿府御分物一徳川家康の遺愛品」

概要：徳川家康の没後に尾張、駿河(のち紀州)、水戸のいわゆる御三家に相続された武具、装束、調度品や久能山東照宮伝来の手沢品などを紹介し、遺愛品から浮かび上がる家康の美意識や人物像について解説した。

日時：7月12日(水)19:00-21:00

会場：大里生涯学習センター 参加者数：28人

講師：高橋哲也

⑦高齢者学級みのり大学 長田学級での講義

「徳川家康と戦国合戦図屏風」

概要：本講座ではNHK大河ドラマ「どうする家康」展開催にあわせ、徳川家康の生涯を重要な4つの合戦(長篠、小牧長久手、関ヶ原合戦、そして大坂の陣)を描いた合戦図屏風から解説した。

日時：7月14日(金)9:30-11:30

会場：長田生涯学習センター 参加者数：48人

講師：大石沙織

⑧高齢者学級みのり大学 美和学級での講義

「駿府御分物一徳川家康の遺愛品」

概要：徳川家康の逝去後に御三家へと譲られた品々を中心に、久能山、日光、紀州の東照宮に伝存する遺愛品の数々を取り上げ、それらから窺える家康の美意識や当時の国際交流などについて解説した。

日時：7月19日(水)13:15-15:30

会場：美和生涯学習センター 参加者数：42人

講師：高橋哲也

⑨高齢者学級みのり大学 藁科学級での講義

「近代美術の中の猫 日本画を中心に」

概要：菱田春草、竹内栖鳳、竹久夢二を中心に、日本の近代美術における猫の表現に着目。現実の猫はもとより古今東西の多様なイメージソースが画家の個性と融合し、猫の名画が誕生したことを解説した。

日時：9月14日(木)9:30-11:15

会場：藁科生涯学習センター 参加者数：41人

講師：山本香瑞子

⑩ 葵生涯学習センター

「どうする？家康の選択」

概要：NHK大河ドラマ「どうする家康」に関連させ、家康の生涯において重大な転機となった合戦や事件と、家康が下した決断について紹介。続く展覧会鑑賞にあたっては、刀剣をはじめ出品作品の見どころを解説し、展覧会への理解促進を図った。

日時：①11月17日(金) ②11月24日(金)

いずれも 13:30-15:30

会場：①葵生涯学習センター ②当館 参加者数：計67人

講師：高橋哲也

⑪ 高齢者学級みのり大学 西部学級での講義

「倉俣史朗のデザインの世界」

概要：交流事業「Shizubi Research+ 倉俣史朗と静岡 プレ企画」にあわせ実施。インテリアデザイナー倉俣史朗の家具やインテリアなどの代表作を辿りながら、作品の特徴を紹介し、その後静岡との関わりを紹介した。馴染のある場所や今も経営を続ける地元企業と倉俣との繋がりに参加者は驚きつつも興味を持っている様子だった。

日時：12月7日(木)9:30-11:30

会場：西部生涯学習センター 参加者数：58人

講師：伊藤結

⑫ 高齢者学級みのり大学 西奈学級での講義

「フランス印象派入門」

概要：日本でも高い人気を誇るフランス印象派。本講座では美術史における印象派の革新性のほか、印象派グループ内の人間模様や、各画家の画風の違い、個々の作品にまつわるエピソードなどを紹介した。

日時：12月13日(水)9:30-11:15

会場：西奈生涯学習センター 参加者数：34人

講師：深尾茅奈美

⑬ 西奈生涯学習センター

「高畑勲アニメーション創造の軌跡」

概要：高畑勲展にあわせて実施した全2回の講座。1回目の講座では複雑なアニメーションの制作工程を丁寧に解説しながら、高畑勲の仕事の全貌を紹介した。2回目の講座では展覧会の構成と各章の見どころに触れながら、名作アニメーション誕生の裏側を紹介した。

日時：①2月2日(金) ②2月9日(金)

いずれも 13:30-15:30

会場：①西奈生涯学習センター ②当館 参加者数：計17人

講師：安岡真理

3) 静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業(三館共同事業)

概要：JR静岡駅前に位置する静岡音楽館AOI、静岡科学館る・く・る、静岡市美術館が特徴を活かして、音楽、科学、美術の境界を越え、総合的な文化空間の創造を目指して連携実施する事業。本年度は3事業を実施した。

(1) 静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業

サイエンスカフェ「おいしいカンキツ品種を作るには～新品种開発のお話～」

概要：「おいしいボタニカル・アート」展にあわせ実施。本展で18～19世紀のイギリスでは貴重なあこがれの果物として紹介されているカンキツについて、品種改良という科学的な面から取り上げた。実際に異なる品種のカンキツの花や果実の実物を見て比較するなど体験を交えながら研究について紹介し、大人から子供まで興味を持って講師の話聞く様子が見られた。また、講師に質問をしている参加者も多く、参加者の興味関心の高さがうかがえた。

日時：4月29日(土・祝)13:00-15:00

会場：静岡科学館る・く・る 参加者数：14人

講師：後藤新悟氏(国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 果樹茶業研究部門)

(2) 静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業/静岡室内楽フェスティバル2023

ミュージアム・コンサート「ピアノ連弾で楽しむフランス音楽」

※28頁を参照

(3) 笑顔デカケルプロジェクト事業/静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業

る・く・る でくるくる☆おさんぼアニメーションを作ろう！

概要：「高畑勲展」に関連してアニメーションをテーマにしたワークショップを行った。丸いコースターに子供たちがオリジナルのキャラクターを描き、背景のイラストを動かしながらカメラで撮影するというシンプルな内容だったが、子供たちが作った作品それぞれに個性があり、すばらしい作品が完成した。参加者からは家でもやってみたいという声が多く聞かれ、アニメーションがどのようにつくられているのか、そのしくみに興味を持ってもらうことができた。

日時：2月17日(土)①10:30-12:00 ②13:30-15:00

会場：静岡科学館る・く・る 参加者数：計36人

講師：JAA アニメーション・キャラバン

4)その他施設との連携

(1)Kids Art Project Shizuoka

概要：令和5年4月～令和6年3月末まで、「Kids Art Project Shizuoka 実行委員会」に参画、県内の小学生全児童に参加各館のオリジナルスタンプを集めるスタンプラリー付の「しずおかミュージアムパスポート」を配布した。

実施期間：4月1日(土)～3月31日(日)

対象：静岡県内の全小学生(545校・約16万人)

加盟館：静岡県内の美術館・博物館 計41館

利用者数(当館分のみ)：1,097人



(2)ふじのくに地球環境史ミュージアムとの連携

ふじミュ×しずび「ボタニカル・アートのおいしい植物を解剖する」

概要：「おいしいボタニカル・アート」展にあわせ実施。出品作品に登場する植物を実際に用意し、グループごとに相談して「果物」や「野菜」に仕分けるワークショップや、イチゴやジャガイモなど親しみある植物の知られざる側面など、植物分類学を専門とする早川氏ならではの視点による体験型レクチャーとなった。早川氏の親しみやすい語り口により終始和やかな雰囲気でのワークショップとなり「普段と違う切り口から野菜や果物を見ることができ、とても面白かった」など好評を得た。

日時：5月7日(日)13:30～15:00

会場：ふじのくに地球環境史ミュージアム

参加者数：21人

講師：早川宗志氏(ふじのくに地球環境史ミュージアム准教授)

4. 受託事業等

4-1 受託事業等

1) 特集展示 竹久夢二展

概要：静岡市美術館が所蔵する竹久夢二作品(志田コレクション)を、蒲原の旧五十嵐歯科医院(旧五十嵐邸)を会場に公開してきたが、昨年度に引き続き当館多目的室にて開催した。本年は、展示室で開催中の「プルターニュの光と風」展示場者にも興味を持ってもらえるよう、作品解説だけでなく、夢二と西洋の関わりや同時代的な背景を解説したコラムパネルも展示した。

会期：10月3日(火)～10月9日(月・祝)

会場：当館多目的室

来場者数：5,942人

展示内容：志田コレクションより

- 1.竹久夢二《羽衣(セノオ楽譜原画)》大正13年頃、紙本着色、一枚
- 2.竹久夢二装画、澤田柳吉作曲《セノオ楽譜12番「お江戸日本橋」》大正13年 6版(大正5年 初版)、紙・石版
- 3.竹久夢二装画、チャイコフスキー作曲、二見孝平訳詞《セノオ楽譜27番「唯我心悩ぞ知らぬ」》大正13年 6版(大正5年 初版)、紙・石版
- 4.竹久夢二装画、ビゼー作曲、堀内敬三訳詞《セノオ楽譜28番「歌劇カルメン ハバネラの歌」》昭和2年 7版(大正6年 初版)、紙・石版
- 5.竹久夢二装画、ヂョール・マスネー作曲、二見孝平訳詞《セノオ楽譜56番「汝が碧き眼を開け」》大正14年 6版(大正6年 初版)、紙・石版
- 6.竹久夢二装画、藤井清水作曲、柳澤健作詞《セノオ楽譜185番「暮れて行く」》大正14年 2版(大正9年 初版)、紙・石版
- 7.竹久夢二装画、小野竹三作歌、山田耕作編曲《セノオ楽譜292番「四部合唱 世の態」》大正13年 2版(大正12年 初版)、紙・石版
- 8.竹久夢二装画、榊原直作曲《セノオ楽譜338番「草の夢」》大正13年 初版、紙・石版
- 9.竹久夢二装画、奥好義作曲、山田耕作編曲《セノオ楽譜355番「唱歌 金剛石」》大正13年 初版、紙・石版
- 10.竹久夢二装画、デイリー作曲《セノオ楽譜361番「新流行歌 アイウォント アプレディ ガール」》大正13年 初版、紙・石版
- 11.竹久夢二装画、ブラームス作曲、堀内敬三訳詞《セノオ楽譜409番「サフォー頌歌」》大正15年 初版、紙・石版
- 12.竹久夢二装画、リスト作曲、近藤朔風作詞《セノオ楽譜416番「花かそもなれ」》大正15年 初版、紙・石版
- 13.竹久夢二装画、関屋敏子作曲《セノオ楽譜441番「日本民謡 蛍来い」》大正15年 初版、紙・石版
- 14.竹久夢二《山に舟》大正中期、紙本着色、短冊一枚
- 15.竹久夢二《竹久方しの宛書簡》大正7年1月11日、紙・墨書
- 16.竹久夢二著・装幀『山へよする』大正8年 初版、書籍
- 17.竹久夢二《日記帳》大正7年3月4日～12月29日、表紙革製
- 18.竹久夢二《木に寄る女》大正4年頃、絹本着色、一幅
- 19.竹久夢二《合鏡》大正3年頃、絹本着色、一幅
- 20.竹久夢二著・装幀『夢二画集 秋の巻』明治43年 2版(同年初版)、書籍
- 21.竹久夢二著・装幀『夢二画集 冬の巻』明治43年 初版、書籍
- 22.竹久夢二著・装幀『夢二画集 都会の巻』明治44年 初版、書籍
- 23.竹久夢二著・装幀『縮刷夢二画集』大正5年 5版(大正3年初版)、書籍
- 24.竹久夢二著・装幀『昼夜帯』大正2年 初版、書籍
- 25.竹久夢二著・恩地孝四郎装幀『どんたく』大正8年 21版(大正2年初版)、書籍

- 26.竹久夢二著・恩地孝四郎装幀『小夜曲』大正8年 5版(大正4年初版)、書籍
- 27.竹久夢二著・装幀『さよなら』明治43年 初版、書籍
- 28.竹久夢二著・装幀『ねむの木』大正5年 3版(同年初版)、書籍
- 29.竹久夢二著・装幀『歌時計』大正8年 初版、書籍
- 30.竹久夢二著・装幀『青い小径』大正10年 5版(同年初版)、書籍
- 31.竹久夢二著・装幀『青い船』大正7年 初版、書籍
- 32.竹久夢二著・装幀『凧』大正15年 初版、書籍
- 33.竹久夢二著・装幀『春』大正15年 初版、書籍
- 34.竹久夢二著・装幀『コドモのスケッチ帖 活動写真にて』明治44年 初版、書籍
- 35.竹久夢二著・装幀『どんたく絵本 一』大正12年 初版、書籍
- 36.竹久夢二著・装幀『夢二画手本 一』大正12年 初版、書籍
- 37.竹久夢二著・装幀『夢二画手本 二』大正12年 初版、書籍
- 38.竹久夢二著・装幀『夢二画手本 三』大正12年 初版、書籍
- 39.竹久夢二著・装幀『夢二画手本 四』大正12年 初版、書籍
- 40.竹久夢二著・装幀『夢二繪手本』大正3年 初版、書籍

計40点



2) 静岡市清水文化会館マリナート常設展示

「平野富山ー清水が生んだ彩色木彫の名匠」

概要：今年度で12年目となる静岡市清水文化会館マリナートにおける、彩色木彫家・平野富山の常設展示。静岡市が収蔵する富山作品(彩色木彫35点、塑像等約35点、書2点)と富山の収集品454件を活用し、各期テーマを設けて年3回の展示を行った。また、それに係る保存管理、調査研究もあわせて実施した。

テーマおよび会期：

【第1期】富山の塑像 7月-10月

【第2期】縁起物 11月-2月

【第3期】平野富山と平野千里 3月-6月

会場：静岡市清水文化会館マリナート 1階ギャラリー隣
平野富山常設展示コーナー



第2期



第1期



第3期

作品リスト：

【第1期】テーマ：富山の塑像

第1期は平野富山の塑像と題し、日展入選作の石膏像《ボデー・ビルダー》や富山が得意とした裸婦像《しづか》を紹介。彩色木彫を手がけながら西洋彫刻にも取り組み、日展評議員として活躍して解剖学的正確さを示す写実表現と評された富山の仕事に焦点を当てた。そのほか、イタリアで彫刻を学んでいた次男・千里の元を訪ねた際、現地ならではのブロンズ鑄造法「蠟型鑄造法」で制作したブロンズレリーフ《顔》も紹介した。

- 1.平野富山《筒井筒》木、彩色、静岡市
- 2.平野富山《孫》木、彩色、静岡市
- 3.平野富山《良寛》木、彩色、静岡市
- 4.平野富山《欄間扇面散らし》木、彩色、静岡市
- 5.平野富山(敬吉)《ボデー・ビルダー》※第11回日展出品、昭和30年、石膏、静岡市
- 6.平野富山(敬吉)《しづか》※第6回改組日展出品、昭和49年、石膏、静岡市
- 7.平野富山《顔》、昭和46年頃、ブロンズレリーフ、静岡市

【第2期】テーマ：縁起物

第2期は、平野富山の彩色木彫とそのコレクションより縁起物をテーマに紹介。松竹梅に鶴を加えた吉祥文様の赤い衣装を着た猿が、不老長寿の象徴である桃を両手で抱え、頬を寄せるといった愛らしい姿で表された《瑞果喜猿》、大きな小槌を携えたおめでたい姿の《福童子》といった縁起物のほか、富山の収集品から吉祥文様が描かれた陶磁器類も展示した。

- 1.平野富山《瑞果喜猿》木、彩色、静岡市
- 2.平野富山《福童子》木、彩色、静岡市
- 3.平野富山《韋駄天童子》木、彩色、静岡市
- 4.永楽妙全《色絵福神形置物》陶器、静岡市/平野富山コレクション

- 5.平野富山(敬吉)《斜光》※第5回新日展出品、昭和37年、FRP、静岡市
- 6.平野富山(敬吉)《おもがえり》※第4回改組日展出品、昭和47年、FRP、静岡市
- 7.《青花花鳥図皿》明時代末期、漳州窯、磁器、静岡市/平野富山コレクション
- 8.《呉須赤絵赤玉文合子》明時代後期、漳州窯、磁器、静岡市/平野富山コレクション
- 9.《色絵龍文皿》江戸時代中期、有田、磁器、静岡市/平野富山コレクション

【第3期】テーマ：平野富山と平野千里

第3期は、父・富山の作品と、父と同じく彩色木彫家として活躍する次男・千里の作品を展示した。小品ながら卓越した彫技と彩色技術が堪能できる富山の《福ねずみ》のほか、和歌山・金剛峯寺の作例などが知られる《矜羯羅童子》《制吨迦童子》を独自の解釈を交えて表現した千里の作品を紹介。あわせて富山の収集品から吉祥文様が描かれた陶磁器類も出品した。

- 1.平野富山《稚児雛》昭和52~平成元年頃、木、彩色、静岡市
- 2.平野富山《福ねずみ》昭和52~平成元年頃、木、彩色、静岡市
- 3.平野富山《光明》※原型は第85回太平洋展出品作、平成元年※FRPは没後制作、FRP、静岡市
- 4.平野千里《不動明王半跏像》平成7年、木、彩色、静岡市
- 5.平野千里《矜羯羅童子》平成6年、木、彩色、静岡市
- 6.平野千里《制吨迦童子》木、彩色、静岡市
- 7.《青花花唐草文皿》清代後期、徳化窯、磁器、静岡市/平野富山コレクション
- 8.《染付花卉文蕎麦猪口》江戸中期、有田、磁器、静岡市/平野富山コレクション
- 9.《青花山水鳥図輪花碗》清代後期、中国南部、磁器、静岡市/平野富山コレクション

5. 調査研究・研修受入等

5-1 調査研究

令和5年度中に当館職員が行った、館外での主な活動および執筆・寄稿等は下記のとおりである。

●田中豊稲

<館外での活動>

- ・静岡市文化振興審議会委員
- ・静岡県しずおか遺産認定審査委員

●山本香瑞子

<館外での活動>

- ・東海大学海洋学部環境社会学科「美術・デザイン史」非常勤講師(4月-7月)
 - ・静岡市立芹沢銈介美術館協議会委員
- <雑誌・新聞等寄稿>
- ・「山本香瑞子「作品紹介1 文様の描写 卓越」『中日新聞』静岡版、6月16日。

●高橋哲也

<館外での活動>

- ・静岡県博物館協会事業推進グループ委員
 - ・久能山東照宮文化財保存顕彰会講演会「徳川家康公遺愛の名刀」講師(9月3日)
 - ・令和5年度第2回 静岡市歴史博物館収集資料審議委員会(3月14日)
- <展覧会カタログ等編集・執筆>
- ・「NHK大河ドラマ特別展 どうする家康」カタログ編集、作品解説執筆、「徳川家康の愛刀と刀剣観」執筆。
- <雑誌・新聞等寄稿>
- ・高橋哲也「第1章 家康誕生-今川からの独立と三河平定-」『中日新聞』静岡版、11月8日。
 - ・高橋哲也「第2章 戦国乱世の選択-今川・武田との抗争-」『中日新聞』静岡版、11月9日。
 - ・高橋哲也「第3章 豊臣大名徳川氏-豊臣政権下の家康-」『中日新聞』静岡版、11月10日。
 - ・高橋哲也「第4章 天下人への道-関ヶ原から江戸開府-」『中日新聞』静岡版、11月11日。
 - ・高橋哲也「第5章 大御所時代-駿府の生活と大坂の陣-」『中日新聞』静岡版、11月12日。
 - ・高橋哲也「第6章 東照大権現-家康神となる-」『中日新聞』静岡版、11月14日。

●伊藤鮎

<館外での活動>

- ・公開講座 第3回雙葉アカデミー「美術館めぐり「観る」ことで世界は広がる」講師、静岡雙葉学園(1月27日)
- <雑誌・新聞等寄稿>
- ・伊藤鮎「見どころ紹介1 ももこのデビューまで 故郷清水 ほのぼの」『中日新聞』静岡版、6月27日。
 - ・伊藤鮎「見どころ紹介2 ももこと漫画 思い出基に日常描く」『中日新聞』静岡版、6月28日。
 - ・伊藤鮎「見どころ紹介3 ももこの言葉 現代の清少納言」『中日新聞』静岡版、6月29日。
 - ・伊藤鮎「見どころ紹介4 ももこの毎日 出産後 新たな視点も」『中日新聞』静岡版、7月1日。
 - ・伊藤鮎「見どころ紹介5 ももこと静岡 故郷の魅力伝える」『中日新聞』静岡版、7月2日。

●太田紗世

<館外での活動>

- ・常葉大学造形学部アート領域ゼミ「美術館の現場に触れる"静岡市美術館編"」講師(7月9日)
- <展覧会カタログ等編集・執筆>
- ・「英国キュー王立植物園 おいしいボタニカル・アート 食を彩る植物のものがたり」カタログ編集・作家解説執筆。

●大石沙織

<館外での活動>

- ・連続講座「日本人の美意識」のうち「知ればもっと面白い! 浮世絵の魅力」、SBS学苑パルシェ校(1月24日)
- <展覧会カタログ等編集・執筆>
- ・「NHK大河ドラマ特別展 どうする家康」カタログ編集、作品解説執筆。

●安岡真理

<展覧会カタログ等編集・執筆>

- ・「高畑勲監督講演会 記録集」編集、執筆。

●深尾茅奈美

<研究発表・論文等>

- ・「カミーユ・ピサロと世紀末のパリー「テアトル・フランセ広場連作」に見る都市のユートピア」、『第29回鹿島美術財団 財団賞・優秀賞授賞式』、鹿島KIビル(5月18日)
 - ・「カミーユ・ピサロ作『りんご採り』に関する考察-描かれた理想社会と「総合」のための絵画様式』『京都美術史学』5号、2024年3月、37-69頁。
- <展覧会カタログ等編集・執筆>
- ・「カンパール美術館所蔵 プルターニュの光と風 フランス 神秘と伝統の地へ」カタログ編集、章解説・作家解説執筆、作品解説翻訳、「色彩の時代に現れた「黒い一団」-バンド・ノワールの画家たち-」執筆。
 - ・「カンパール美術館所蔵 プルターニュの光と風 フランス 神秘と伝統の地へ」鑑賞ガイド編集、執筆。
- <雑誌・新聞等寄稿>
- ・深尾茅奈美「異国情緒 パリの画家魅了」『静岡新聞』、8月30日。

◆教育普及プログラム企画・制作(担当: 太田・安岡)

- ・「しずびちびこプログラム」オリジナルプログラム(計4種)
- ・「しずびオープンアトリエ」オリジナルプログラム(計3種) 夏、春:「セルアニメーションに挑戦!」 「おうちで! しずびオープンアトリエ(動画配信+貸出キット)」: 「縹緗彩色に挑戦! 色鮮やかな文様を描こう」、「セルアニメーションに挑戦!」
- ・「プレゼントワークショップ」(計2種) vol.39「親子でつくる七宝焼の贈り物」 vol.41「クリスマスの小さな妖精“トムテ”をつくろう!」
- ・「暦とあそぶワークショップ」(計2種) vol.25「七夕の準備をしよう!」 vol.26「お正月だ! 辰の飾り物に絵付けをしよう」

5-2 博物館実習

以下の要領で学芸員資格取得を目指す学生を対象に博物館実習を行った。

対象：博物館法施行規則第一条に定められた博物館に関する科目の単位を履修済みまたは履修中で、以下の要件を満たす者。ただし学芸員資格を既に取得済みの者は除く。

- ①美学・美術史または美術教育専攻であること。(美術館で研修する理由がある者)
- ②静岡県内在学者もしくは県内に帰省先があること。 ③パソコンのメールアドレスを持っていること。(携帯メールは不可)
- ④学部3年生以上であること。(4年生を優先する)

実習期間：8月8日(火)～12日(土) 計5日間

実習場所：当館

受入大学・人数：武蔵野美術大学、東京工芸大学、東京大学、静岡文化芸術大学、千葉大学 計5大学5人

実習日	時間	実施内容
8日(火)	10:10～11:00 11:10～12:00 13:00～13:50 14:00～15:50	ガイダンス・職員紹介・施設案内 静岡市美術館の特色について(講義) 展覧会の組み立て方<家康展の事例を中心に>(講義) 開催中の展覧会について<展示演出、関連事業の立案など>(講義) 開催中展覧会の見学(実習)
9日(水)	9:10～10:00 10:10～11:00 11:10～12:00 13:00～13:50 14:00～14:50	美術館のIPM・空気環境について(講義) 美術品の展示・輸送について(講義) 日本美術の調査と展示<作品調査の実際、日本美術の展示>(講義) 静岡市美術館の教育普及活動について(講義) オンライン配信ワークショップ体験(実習)
10日(木)	9:10～09:50 9:50～10:30 10:30～12:00 13:00～13:50 14:00～14:50	自記温湿度計の取り扱い(実習) 開館時混雑対応(実習) 図書整理作業(実習) 静岡市美術館の広報活動について(講義) 夜店市またはオープンアトリエ準備
11日(金)	13:00～14:50 15:00～15:50 16:00～17:50	作品(軸・卷子)の取扱いと点検・調書作成について(実習) オープンアトリエ見学(実習) 夜店市手伝い(実習)
12日(土)	10:10～11:30 13:30～14:50	美術館とメディアについて(講義) 「これまでの実習で学んだこと」(実習生による発表)

5-3 視察等受入

令和5年度受入分は下記のとおりである。

	日付	視察団体名	人数
1	10月18日(水)	岡山市議会	13人
2	10月18日(水)	熊本市役所	3人

(※外部施設との連携事業における展示解説分は除く。)

計 2件 16人

6. 収蔵品・図書等

6-1 収蔵品・画像貸出

1) 美術図書『日本伝統の配色事典』

貸出画像：竹久夢二《草に憩う女》1点

発行者：青人社

体裁：B5判、総頁208頁オールカラー、並製本(4,000部)

発行日：令和5年5月19日

2) 特別展「竹久夢二—大正ロマンに魅せられて—」

会期：6月10日（土）—8月13日（日）

会場（所在地）：平野美術館（京都府京都市）

貸出内容：志田コレクションより

竹久夢二《草に憩う女》《木に寄る女》《紫色の春の夜の》（すべて日本画） 計3点

3) 「浪漫の光芒—永見徳太郎と長崎の近代」展

会期：10月14日（土）—2024年1月8日（月・祝）

会場（所在地）：長崎県美術館（長崎県長崎市）

貸出内容：志田コレクションより

竹久夢二原画・加藤版画研究所

種別	題名	種別	題名
版画	《女十題 舞姫》	版画	《女十題 北方の冬》
	《女十題 産衣》		《女十題 泣き黒子》
	《女十題 朝の光へ》		《長崎六景 眼鏡橋》
	《女十題 三味線堀》		《長崎六景 燈籠流し》
	《女十題 黒猫》		《長崎六景 浦上天主堂》
	《女十題 木場の娘》		《長崎六景 出島》
	《女十題 ネルの感触》		《長崎六景 青い酒》
	《女十題 逢状》		《長崎六景 丘の青楼》

計2件16点

6-2 図書等

令和5年度図書等受入数

	購入	寄贈	合計
カタログ	15冊	300冊	315冊
雑誌	25冊	56冊	81冊
一般図書・その他	28冊	382冊	410冊
合計	68冊	738冊	806冊

7. 広報活動

7-1 広報制作物

1)年間スケジュール

令和5(2023)年度展覧会スケジュールを下記のとおり制作し、ウェブサイトに掲載した。

<仕様>紙：A2 マット 110kg

サイズ・数量：210×396mm(仕上 210×99mm) 45,000部(日本語版)、500部(英語版)

加工：観音折り(四つ折り)加工

印刷：オフセット印刷(日本語版)、オンデマンド印刷(英語版)

◆日本語版年間スケジュール



表紙

表面

中面

◆英語版年間スケジュール



表紙

表面

中面

2)ワークショップシリーズ年間スケジュール

令和5(2023)年度ワークショップシリーズ年間スケジュールを下記のとおり制作した。

<仕様>紙：片艶晒クラフト(キャピタルラップ) 86kg

サイズ・数量：A4(仕上A5) 20,000部

加工：二つ折り加工



表紙

表面

中面

7-2 ウェブサイト

展覧会情報を中心に、関連イベントの情報や施設概要、ショップ情報についても掲載。ブログ、X(旧Twitter)、Instagram、YouTubeも開設し、常にタイムリーな情報発信を行っている。

ウェブサイト構成：(https://www.shizubi.jp)

- 展覧会
 - ・開催中の展覧会 ・ これからの展覧会
 - ・年間スケジュール ・ 展覧会アーカイブ
- イベント
 - ・これからのイベント
 - ・ワークショップシリーズ年間スケジュール
 - ・イベントアーカイブ
- 来館案内
 - ・基本情報 ・ 開館カレンダー ・ アクセス
 - ・駐車場 ・ ご来館のお客様へ/Q&A
 - ・ショップ&カフェ ・ 学校・団体鑑賞
- 美術館概要
 - ・静岡市美術館について
 - ・館長挨拶 ・ 施設概要 ・ ロゴについて
 - ・活動記録 ・ 静岡市美術館運営協議会
- その他(リンク)
 - ・ブログ(https://www.shizubi.jp/blog)
 - ・X(旧Twitter)(https://twitter.com/shizubi_jp)
 - ・Instagram(https://instagram.com/shizubi_jp)
 - ・YouTube(https://www.youtube.com/@shizuokacitymuseumofart2662)

アクセス数：666,874件(1日平均 約1,827件)



パソコン版ホームページ



スマートフォン版ホームページ

7-3 施設広報記録

展覧会事業・交流事業以外の美術館施設に関する主な取材記録は下記のとおりである。

1)新聞

- ・「山本香瑞子「作品紹介1 文様の描写 卓越」」『中日新聞』静岡版、6月16日。
- ・「次期館長に高市副館長」『静岡新聞』、3月13日。
- ・「静岡市美術館 新館長に」『朝日新聞』静岡版、3月13日。

2)雑誌他

- ・「草に憩う女 竹久夢二」『日本伝統の配色事典』、6月2日。
- ・「施設紹介」『KAKEHASHI』、2023春 no.5。
- ・「施設紹介」『KAKEHASHI』、2023夏 no.6。
- ・「施設紹介」『静岡駅周辺のご案内』。
- ・「施設紹介」『KAKEHASHI』、2023秋 no.7。
- ・「施設紹介」『Shizumaru』、2月号。
- ・「施設紹介」『KAKEHASHI』、2024冬 no.8。

3)ウェブサイト(媒体名のみ記載)

「るるぶ&more」、「ウォーカープラス」、「日本平ロープウェイ」

8. 管理運営

8-1 利用者数

1)利用者数(月別) (単位：人)

	展覧会 観覧者	展覧会関連事業 参加者	交流事業 参加者	連携事業・その他 の事業 参加者	事業参加者 計	総入館者
4月	4,634	254	7	53	4,948	13,377
5月	8,348	527	125	156	9,156	19,582
6月	9,654	321	7	148	10,130	22,390
7月	18,744	499	24,382	309	43,934	34,576
8月	22,621	362	42,496	346	65,825	42,756
9月	7,046	407	2	77	7,532	17,262
10月	8,701	178	20	5,979	14,878	19,732
11月	13,564	1,304	20,383	105	35,356	28,979
12月	8,278	148	17,896	133	26,455	19,751
1月	8,587	287	36	56	8,966	19,218
2月	9,801	1,551	139	85	11,576	21,854
3月	13,061	191	116	73	13,441	26,651
計	133,039	6,029	105,609	7,520	252,197	286,128
月平均	11,087	502	8,801	627	21,016	23,844

2)利用者数 事業別

展覧会名	実施期間	入場者等
英国キュー王立植物園 おいしいボタニカル・アート 食を彩る植物のものがたり	4月8日－6月4日 (開館51日間)	14,632人 (287人/日)
さくらももこ展	6月17日－8月23日 (開館59日間)	49,369人 (837人/日)
カンパール美術館所蔵 プルターニユの光と風 フランス 神秘と伝統の地へ	9月5日－10月22日 (開館42日間)	15,747人 (375人/日)
NHK大河ドラマ特別展 どうする家康	11月3日－12月13日 (開館40日間)	21,201人 (530人/日)
高畑勲展－日本のアニメーションに遺したもの	12月27日－3月31日 (開館80日間)	32,090人 (401人/日)
展覧会 観覧者 計		133,039人
普及事業参加者 (展覧会関連事業参加者＋交流事業参加者＋連携事業・その他事業参加者)		119,158人
事業参加者 総計 (展覧会観覧者＋普及事業参加者)		252,197人
総入館者数(エントランス入口自動カウンター集計数)	4月1日－3月31日	286,128人

3)利用者数(事業別詳細)

事業区分	事業名	実施時期	入場者等		
			目標値	実績値	達成率
			(人)	(人)	(%)
展覧会事業	展覧会		計5本 133,039人		
	英国キュー王立植物園 おいしいボタニカル・アート 食を彩る植物のものがたり	4/8-6/4 (計51日間)	17,500	14,632	83.6%
	さくらももこ展	6/17-8/23 (計59日間)	23,000	49,369	214.6%
	カンパール美術館所蔵 ブルターニュの光と風 フランス 神秘と伝統の地へ	9/5-10/22 (計42日間)	20,000	15,747	78.7%
	NHK大河ドラマ特別展 どうする家康	11/3-12/13 (計40日間)	24,000	21,201	88.3%
	高畑勲展-日本のアニメーションに遺したもの	12/27-3/31 (計80日間)	50,000	32,090	64.2%
展覧会関連事業	ミュージアム教室		計2,807人(145団体/151回)		
	ミュージアム教室(おいしいボタニカル・アート)	4/8-6/4 (全24回)	633(20団体/24回)		
	ミュージアム教室(さくらももこ展)	6/17-8/23 (全60回)	1,099(59団体/60回)		
	ミュージアム教室(ブルターニュの光と風)	9/5-10/22 (全12回)	238(12団体/12回)		
	ミュージアム教室(どうする家康)	11/3-12/13 (全12回)	172(12団体/12回)		
	ミュージアム教室(高畑勲展)	12/27-3/31 (全43回)	665(42団体/43回)		
	その他展示解説		計405人(19団体/19回)		
	展示解説(おいしいボタニカル・アート)	4/8-6/4 (全4回)	37(4団体/4回)		
	展示解説(さくらももこ展)	6/17-8/23 (全1回)	10(1団体/1回)		
	展示解説(ブルターニュの光と風)	9/5-10/22 (全4回)	78(4団体/4回)		
	展示解説(どうする家康)	11/3-12/13 (全7回)	210(7団体/7回)		
	展示解説(高畑勲展)	12/27-3/31 (全3回)	70(3団体/3回)		
	英国キュー王立植物園 おいしいボタニカル・アート 食を彩る植物のものがたり		計4本 111人		
	講演会「文学とアートから見るイギリスの食事」	4/22	60	60	100.0%
	当館学芸員によるスライドトーク	5/20	-	51	-
	静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業 サイエンスカフェ 「おいしいカンキツ品種を作るには～新品种開発のお話～」	4/29	※静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業に記載		
	ふじのくに地球環境史ミュージアムとの連携 ふじミュージ×しずび 「ボタニカル・アートのおいしい植物を解剖する」	5/7	※その他連携事業に記載		
	さくらももこ展		計1本 73人		
	静岡展開催記念 スペシャルトークショー	6/24	60	73	121.7%
	カンパール美術館所蔵 ブルターニュの光と風 フランス 神秘と伝統の地へ		計4本 269人		
	記念講演会「ブルターニュの光と風」	9/9	60	58	96.7%
	講演会 「ブルターニュと近代美術：フランスと日本の美術館をめぐる旅」	9/17	60	51	85.0%
	当館学芸員によるスライドトーク	9/30、10/14	-	102	-
静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業 静岡・室内楽フェスティバル2023 ミュージアム・コンサート「ピアノ連弾で楽しむフランス音楽」	9/24	60	58	96.7%	

事業区分	事業名	実施時期	入場者等		
			目標値	実績値	達成率
			(人)	(人)	(%)
展覧会関連事業	NHK大河ドラマ特別展 どうする家康		計3本 1,052人		
	記念講演会「家康を育んだ駿府、駿府を発展させた家康」	11/5	60	69	115.0%
	連続講座	11/19、11/25、12/3	180	153	85.0%
	8K文化財で体感!戦う芸術「甲冑」inしずび	11/11、11/12	-	830	-
	高畑勲展—日本のアニメーションに遺したもの		計4本 1,312人		
	講演会「高畑勲監督作品について語る」(対談)	1/28	70	74	105.7%
	当館学芸員によるスライドトーク	1/21、3/16	-	67	-
	「週替わり」高畑勲監督作品上映会」	2/6-25	630	1,171	185.9%
	笑顔デカケルプロジェクトプレ事業 静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業 「る・く・るでくるくる☆おさんぽアニメーションを作ろう!」	2/17 (全2回)	※静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業に記載		
交流事業	佐内正史写真展 静岡詩		計2本 66,261人		
	佐内正史写真展 静岡詩	7/11-8/27 (計43日間)	-	66,176	-
	静岡詩の解対照(カイトイショー)	7/23	50	85	170.0%
	Shizubi Research+「倉俣史朗と静岡」プレ企画		計2本 38,273人		
	連続トークイベント	12/3、1/14、2/4	75	70	93.3%
	パネル展示	11/11-12/24 (計41日間)	-	38,203	-
	Shizubiシネマアワー		計3本 134人		
	Shizubiシネマアワー vol.31「種子(たね)を守る人々」 ①「シード～生命の糧～」	5/3	60	53	88.3%
	Shizubiシネマアワー vol.31「種子(たね)を守る人々」 ②「よみがえりのレシピ」	5/4	60	39	65.0%
	Shizubiシネマアワー vol.32 「ユーリー・ノルシュテイン《外套》をつくる」	3/2	60	42	70.0%
	しずびオープンアトリエ		計4本 339人		
	セルアニメーションに挑戦!(夏季)	8/11-8/20 (計10日間・全20回)	140	136	97.1%
	セルアニメーションに挑戦!(春季)	2/3-3/3 (計10日間・全20回)	120	148	123.3%
	縹綯彩色に挑戦!色鮮やかな文様を描こう(動画配信+貸出キット)	4/1-7/31	-	16	-
	セルアニメーションに挑戦!(動画配信+貸出キット)	8/1-3/31	-	39	-
	しずびチビッコプログラム		計4本 75人		
	「おいしいボタニカル・アート」	5/28 (全2回)	16	15	93.8%
	「さくらももこ展」	8/5 (全2回)	16	18	112.5%
	「ブルターニュの光と風」	10/7 (全2回)	16	20	125.0%
	「どうする家康」	11/23 (中止)	16	中止	-
	「高畑勲展」	3/9 (全2回)	16	22	137.5%
	暦とあそぶワークショップ		計2本 51人		
	vol.25「七夕の準備をしよう!」	7/1 (全2回)	24	25	104.2%
vol.26「お正月だ!辰の飾り物に絵付けをしよう」	12/10 (全2回)	24	26	108.3%	

事業区分	事業名	実施時期	入場者等			
			目標値	実績値	達成率	
			(人)	(人)	(%)	
交流事業	プレゼントワークショップ		計3本 42人			
	vol.39「親子でつくる七宝焼きの贈り物」	5/13	14	16	114.3%	
	vol.40「親子でつくる七宝焼きの贈り物」	6/3	14	中止	-	
	vol.41「クリスマスの小さな妖精“トムテ”をつくろう!」子ども編	12/2	12	13	108.3%	
	vol.41「クリスマスの小さな妖精“トムテ”をつくろう!」大人編	12/3	12	13	108.3%	
	その他交流事業		計1本 434人			
	夜店市	8/11-8/13	-	434	-	
連携事業	■生涯学習センターとの連携事業					
	展示解説付き講座		計2本			
		高齢者学級みのり大学大里学級 「ブルターニュの光と風」展鑑賞	10/5	※その他展示解説に含む		
		駿河生涯学習センター連携 女性学級 「ブルターニュの光と風」展鑑賞	10/17	※その他展示解説に含む		
	しずび出前講座(講義)※当館学芸員が講師として参画		計13本 405人			
		薬科生涯学習センター 「おいしいボタニカル・アートの世界」	5/9、5/16	-	10	-
		西部生涯学習センター 「おいしいボタニカル・アートの世界」	5/23、5/30	-	11	-
		北部生涯学習センター 「絵本の絵を読む」	6/2	-	13	-
		南部生涯学習センター 「絵本の絵を読む」	6/24	-	28	-
		高齢者学級みのり大学東部学級 「絵画にみる「平家物語」の世界」	6/27	-	44	-
		大里生涯学習センター 大里心の乙女塾 「駿府御分物—徳川家康の遺愛品」	7/12	-	28	-
		高齢者学級みのり大学長田学級 「徳川家康と戦国合戦図屏風」	7/14	-	48	-
		高齢者学級みのり大学美和学級 「駿府御分物—徳川家康の遺愛品」	7/19	-	42	-
		高齢者学級みのり大学薬科学級 「近代美術の中の猫 日本画を中心に」	9/14	-	41	-
		葵生涯学習センター連携 「どうする?家康の選択」	11/17、11/24	-	38	-
		高齢者学級みのり大学西部学級 「倉俣史朗のデザインの世界」	12/7	-	58	-
		高齢者学級みのり大学西奈学級 「フランス印象派入門」	12/13	-	34	-
		西奈生涯学習センター連携 「高畑勲アニメーション創造の軌跡」	2/2、2/9	-	10	-
		静岡・音楽館×科学館×美術館 共同事業(三館共同事業)		計3本 50人		
		静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業 サイエンスカフェ 「おいしいカンキツ品種を作るには～新品種開発のお話～」	4/29	-	14	-
	静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業 静岡・室内楽フェスティバル2023 ミュージアム・コンサート「ピアノ連弾で楽しむフランス音楽」	9/24	※展覧会関連事業に記載			
	笑顔デカケルプロジェクトブレ事業 静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業 「る・く・るでぐるぐる☆おさんぽアニメーションを作ろう!」	2/17 (全2回)	36	36	100.0%	

事業区分	事業名	実施時期	入場者等		
			目標値	実績値	達成率
			(人)	(人)	(%)
連携事業	その他連携事業		計2本 1,118人		
	Kids Art Project Shizuoka	4/1-3/31	-	1,097	-
	ふじのくに地球環境史ミュージアムとの連携 ふじミュージアム×しずび 「ボタニカル・アートのおいしい植物を解剖する」	5/7	24	21	87.5%
その他事業	その他事業		計3本 5,947人		
	静岡市文化活動振興事業 特集展示 竹久夢二展	10/3-10/9 (計7日間)	-	5,942	-
	静岡市文化活動振興事業 静岡市清水文化会館マリナート常設展示 「平野富山-清水が生んだ彩色木彫の名匠」 【第1期】富山の塑像 【第2期】縁起物 【第3期】平野富山と平野千里	【第1期】7月-10月 【第2期】11月-2月 【第3期】3月-6月	-	-	-
	博物館実習	8/8-8/12 (計5日間)	5	5	100.0%
計			136,550	252,197	184.7%

8-2 過去展覧会一覧

	展覧会名	会期	観覧者数
●平成22(2010)年度			計3本 132日 93,654人
1	開館記念展<Ⅰ> ボーラ美術館コレクション展 印象派とエコール・ド・パリ	10月2日(土)～11月28日(日) <開館51日間>	38,695人 (759人/日)
2	開館記念展<Ⅱ>・NHK静岡放送局開局80周年記念 家康と慶喜－徳川家と静岡	12月11日(土)～1月30日(日) <開館42日間>	34,424人 (820人/日)
3	開館記念展<Ⅲ> 棟方志功 祈りと旅	2月11日(金・祝)～3月27日(日) <開館39日間>	20,535人 (527人/日)
●平成23(2011)年度			計5本 261日 131,904人
1	ハンス・コパー展－20世紀陶芸の革新	4月9日(土)～6月26日(日) <開館69日間>	16,395人 (238人/日)
2	没後150年 歌川国芳展	7月9日(土)～8月21日(日) <開館38日間> ※前期：7月9日(土)～31日(日) 後期：8月2日(火)～21日(日)	30,404人 (801人/日)
3	開館1周年記念展<Ⅰ>・NHK静岡放送局開局80周年記念 アルプスの画家 セガントーニ－光と山－	9月3日(土)～10月23日(日) <開館44日間>	17,806人 (405人/日)
4	開館1周年記念展<Ⅱ> レオナルド・ダヴィンチ美の理想	11月3日(木・祝)～12月25日(日) <開館46日間>	53,136人 (1,156人/日)
5	竹久夢二と静岡ゆかりの美術 (前期：中川雄太郎と静岡の創作版画の世界 後期：平野富山“彩色木彫”の美)	1月7日(土)～3月25日(日) <開館64日間> ※前期：1月7日(土)～2月12日(日) 後期：2月18日(土)～3月25日(日)	14,163人 (222人/日)
●平成24(2012)年度			計6本 258日 100,862人
1	森村泰昌モリエナーレ まねぶ美術史	4月7日(土)～6月10日(日) <開館57日間>	7,976人 (140人/日)
2	静岡音楽館AOI×静岡科学館る・く・る×静岡市美術館共同事業 七夕の美術－日本近世・近代の美術工芸にみる	6月23日(土)～8月19日(日) <開館51日間> ※前期：6月23日(土)～7月22日(日) 後期：7月24日(火)～8月19日(日)	10,929人 (214人/日)
3	フィンランドのくらしとデザイン－ムーミンが住む森の生活	9月1日(土)～10月8日(月・祝) <開館38日間>	41,258人 (1,086人/日)
4	ストラスブール美術館展 モダンアートへの招待	10月27日(土)～12月16日(日) <開館44日間>	12,016人 (273人/日)
5	滋賀県立琵琶湖文化館が守り伝える美 近江巡礼 祈りの至宝展	1月2日(水)～2月11日(月・祝) <開館36日間> ※前期：1月2日(水)～1月20日(日) 後期：1月22日(火)～2月11日(月・祝)	11,256人 (313人/日)
6	新美南吉生誕100年 ごんぎつねの世界	2月23日(土)～3月31日(日) <開館32日間>	17,427人 (545人/日)
●平成25(2013)年度			計5本 260日 156,594人
1	藤田嗣治 渡仏100周年記念 レオナルド・フジタとパリ	4月20日(土)～6月23日(日) <開館57日間>	22,451人 (393人/日)
2	静岡朝日テレビ 開局35周年記念 オーディロン・ルドン 夢の起源 幻想のふるさと、ボルドーから	6月29日(土)～8月25日(日) <開館51日間>	16,907人 (332人/日)
3	はじめての美術 絵本原画の世界2013	9月14日(土)～10月27日(日) <開館38日間>	44,385人 (1,168人/日)
4	徳川家康公顕彰四百年記念事業 没後100年 徳川慶喜	11月2日(土)～12月15日(日) <開館38日間> ※前期：11月2日(土)～11月24日(日) 後期：11月26日(火)～12月15日(日)	15,260人 (402人/日)
5	テレビ静岡開局45周年記念 シャガール展	1月2日(木)～3月30日(日) <開館76日間>	57,591人 (758人/日)

	展覧会名	会期	観覧者数
●平成26(2014)年度			計6本 254日 155,028人
1	巨匠の眼 川端康成と東山魁夷	4月12日(土)～6月1日(日) <開館44日間>	15,475人 (352人/日)
2	読売新聞創刊140周年記念・静岡第一テレビ開局35周年 法隆寺展－聖徳太子と平和への祈り－	6月14日(土)～7月27日(日) <開館38日間>	26,566人 (699人/日)
3	日本のアニメーション美術の創造者 山本二三展 ～天空の城ラピュタ、火垂るの墓、時をかける少女～	8月4日(月)～9月23日(火・祝) <開館48日間>	66,773人 (1,391人/日)
4	徳川家康公顕彰四百年記念事業・静岡市文化振興財団設立20周年記念事業 国宝・久能山東照宮展－家康と静岡ゆかりの名宝	10月4日(土)～11月24日(月・祝) <開館45日間>	20,353人 (452人/日)
5	ロイヤル・アカデミー展 イギリス美術の華麗なる150年	12月6日(土)～1月25日(日) <開館41日間>	16,034人 (391人/日)
6	没後100年 小林清親展 文明開化の光と影をみつめて	2月7日(土)～3月22日(日) <開館38日間>	9,827人 (259人/日)
●平成27(2015)年度			計6本 254日 155,806人
1	静岡市美術館開館5周年記念 大原美術館展 名画への旅	4月18日(土)～5月31日(日) <開館39日間>	32,133人 (824人/日)
2	青磁のいま－受け継がれた技と美 南宋から現代まで	6月13日(土)～8月16日(日) <開館56日間>	13,907人 (248人/日)
3	錦絵誕生250年 フィラデルフィア美術館浮世絵名品展 春信一番！写楽二番！	8月23日(日)～9月27日(日) <開館36日間>	16,475人 (458人/日)
4	静岡市美術館開館5周年記念 ちひろ美術館 世界の絵本原画コレクション展 絵本をひらくと	10月10日(土)～11月23日(月・祝) <開館39日間>	41,836人 (1,073人/日)
5	静岡市美術館開館5周年記念 静岡市立芹沢銈介美術館・静岡市美術館共同企画 芹沢銈介生誕120年記念展 しあわせの色 たのしい模様	12月5日(土)～1月11日(月・祝) <開館27日間>	7,502人 (278人/日)
6	スター・ウォーズ展 未来へつづく、創造のビジョン。	1月23日(土)～3月27日(日) <開館57日間>	43,953人 (771人/日)
●平成28(2016)年度			計6本 254日 167,547人
1	没後20年 ルーシー・リー展	4月9日(土)～5月29日(日) <開館45日間>	17,157人 (381人/日)
2	伊豆市所蔵近代日本画コレクション展 大観・靱彦・龍子らと修善寺	6月7日(火)～7月10日(日) <開館30日間>	6,592人 (220人/日)
3	エッシャーの世界	7月17日(日)～8月28日(日) <開館37日間>	36,297人 (981人/日)
4	ランス美術館展 美しきフランス バロックからフジタへ	9月10日(土)～10月30日(日) <開館45日間>	16,154人 (359人/日)
5	高畑・宮崎アニメの秘密がわかる。 スタジオジブリ・レイアウト展	11月19日(土)～2月5日(日) <開館65日間>	79,378人 (1,221人/日)
6	夢二と京都の日本画	2月18日(土)～3月26日(日) <開館32日間>	11,969人 (374人/日)
●平成29(2017)年度			計5本 244日 111,134人
1	アルバレス・ブラボ写真展 －メキシコ、静かなる光と時	4月8日(土)～5月28日(日) <開館45日間>	6,208人 (138人/日)
2	没後150年 坂本龍馬	7月1日(土)～8月27日(日) <開館51日間>	50,397人 (988人/日)
3	日本・デンマーク外交関係樹立150周年記念 デンマーク・デザイン	9月9日(土)～11月12日(日) <開館56日間>	16,965人 (303人/日)
4	ウェールズ国立美術館所蔵 ターナーからモネへ	11月23日(木・祝)～1月28日(日) <開館54日間>	25,503人 (472人/日)
5	駿河の白隠さん	2月10日(土)～3月25日(日) <開館38日間>	12,061人 (317人/日)

	展覧会名	会期	観覧者数
●平成30(2018)年度			計5本 258日 83,257人
1	いつだって猫展	4月7日(土)～5月20日(日) ＜開館39日間＞	18,404人 (472人/日)
2	ミュシャ展 ～運命の女たち～	6月2日(土)～7月15日(日) ＜開館38日間＞	28,579人 (752人/日)
3	ヴラマンク展 絵画と言葉で紡ぐ人生	7月28日(土)～9月24日(月・祝) ＜開館51日間＞	10,871人 (213人/日)
4	テレビ静岡開局50周年記念 フランス宮廷の磁器 セーヴル、創造の300年	10月6日(土)～12月16日(日) ＜開館62日間＞	15,262人 (246人/日)
5	起点としての80年代	1月5日(土)～3月24日(日) ＜開館68日間＞	10,141人 (149人/日)
●平成31/令和元(2019)年度			計5本 258日 105,481人
1	小倉遊亀と院展の画家たち展 滋賀県立近代美術館所蔵作品による	4月6日(土)～5月26日(日) ＜開館44日間＞	12,009人 (273人/日)
2	オーバリン大学アレン・メモリアル美術館所蔵 メアリー・エインズワース浮世絵コレクション ～初期浮世絵から北斎・広重まで	6月8日(土)～7月28日(日) ＜開館44日間＞	22,589人 (513人/日)
3	印象派への旅 海運王の夢 パレル・コレクション	8月7日(水)～10月20日(日) ＜開館65日間＞	25,461人 (392人/日)
4	Daiichi-TV開局40周年記念 奇蹟の芸術都市バルセロナ展	11月15日(金)～1月19日(日) ＜開館55日間＞	21,895人 (398人/日)
5	不思議の国のアリス展	2月1日(土)～3月29日(日) ＜開館50日間＞	23,527人 (470人/日)
●令和2(2020)年度			計5本 219日 109,088人
1	日・チェコ交流100周年 ミュシャと日本、日本とオルリック めぐるジャポニスム	4月11日(土)～4月19日(日) ＜開館8日間＞	578人 (72人/日)
2	静岡市美術館開館10周年記念 東海道之美 駿河への旅	※延期	-
3	静岡市所蔵品 特集展示 見るよろこび：東海道図屏風・竹久夢二を中心に	6月17日(水)～7月19日(日) ＜開館29日間＞	2,815人 (97人/日)
4	2020しずおか文化プロジェクト 日本・ポーランド国交樹立100周年記念 シヨバンー200年の肖像	8月1日(土)～9月22日(火・祝) ＜開館47日間＞	17,774人 (378人/日)
5	静岡市美術館開館10周年記念 生誕110年・没後30年 絵本画家・赤羽末吉展 『スーホの白い馬』はこうして生まれた	10月3日(土)～11月29日(日) ＜開館50日間＞	16,196人 (324人/日)
5	静岡市美術館開館10周年記念・中日新聞東海本社40周年記念 ライデン国立古代博物館所蔵 古代エジプト展	12月19日(土)～3月31日(水) ＜開館85日間＞	71,725人 (844人/日)
●令和3(2021)年度			計5本 251日 77,160人
1	キューガーデン 英国王室が愛した花々 シャーロット王妃とボタニカルアート	4月15日(木)～6月6日(日) ＜開館46日間＞	12,766人 (278人/日)
2	没後70年 吉田博展	6月19日(土)～8月29日(日) ＜開館62日間＞	13,646人 (220人/日)
3	静岡新聞社80周年・静岡放送70周年記念 生誕160年記念 グランマ・モーゼス展 一素敵な100年人生	9月14日(火)～11月7日(日) ＜開館48日間＞	16,437人 (342人/日)
4	ランス美術館コレクション 風景画のはじまり コローから印象派へ	11月20日(土)～1月23日(日) ＜開館51日間＞	15,096人 (296人/日)
5	平等院鳳凰堂と浄土院 その美と信仰	2月5日(土)～3月27日(日) ＜開館44日間＞	19,215人 (437人/日)

	展覧会名	会期	観覧者数
●令和4(2022)年度			計5本 251日 80,282人
1	スイス プチ・パレ美術館展 花ひらくフランス絵画	4月9日(土)～6月19日(日) <開館63日間>	19,755人 (314人/日)
2	ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵―武者たちの物語	7月2日(土)～8月28日(日) <開館51日間>	17,412人 (341人/日)
3	出版120周年 ピーターラビット™展	9月15日(木)～11月6日(日) <開館44日間>	24,780人 (563人/日)
4	杉浦非水 時代をひらくデザイン	11月19日(土)～1月29日(日) <開館55日間>	11,440人 (208人/日)
5	東海道之美 駿河への旅	2月11日(土)～3月26日(日) <開館38日間>	6,895人 (181人/日)
●令和5(2023)年度			計5本 272日 133,039人
1	英国キュー王立植物園 おいしいボタニカル・アート 食を彩る植物のものがたり	4月8日(土)～6月4日(日) <開館51日間>	14,632人 (287人/日)
2	さくらももこ展	6月17日(土)～8月23日(水) <開館59日間>	49,369人 (837人/日)
3	カンパール美術館所蔵 ブルターニュの光と風 フランス 神秘と伝統の地へ	9月5日(火)～10月22日(日) <開館42日間>	15,747人 (375人/日)
4	NHK大河ドラマ特別展 どうする家康	11月3日(金・祝)～12月13日(水) <開館40日間>	21,201人 (530人/日)
5	高畑勲展―日本のアニメーションに遺したもの	12月27日(水)～3月31日(日) <開館80日間>	32,090人 (401人/日)

8-3 静岡市美術館運営協議会

(公財)静岡市文化振興財団では、当館の事業及び運営について、幅広く意見を求め、長期的かつ総合的展望に立った運営に資することを目的として、平成23年度より静岡市美術館運営協議会を設置している。年2回の開催を基本とし、令和5年度末現在まで計24回開催した。

【静岡市美術館運営協議会委員】(敬称略・50音順)

氏名	肩書
●第1期【平成23年6月19日 - 平成25年6月18日】	
岩城見一	京都大学名誉教授・前京都国立近代美術館館長
小澤 豊	静岡市校長会(図工美術部会長・観山中学校校長)
織田元泰	元静岡市教育長・元常葉学園大学教授
金子賢治	茨城県陶芸美術館館長
川口良子	合同会社 デザイン・アープ代表CEO
川崎博良	静岡市中央商店街連合会(静岡紺屋町名店街理事長)
金原宏行	豊橋市美術博物館館長
小林 忠	学習院大学名誉教授・前千葉県美術館館長
小針由紀隆	静岡県立美術館学芸部長
谷 新	宇都宮美術館館長・美術評論家
●第2期【平成25年6月19日 - 平成27年6月18日】	
岩城見一	前京都国立近代美術館館長・京都大学名誉教授
小澤 豊	静岡市校長会(図工美術部会長・観山中学校校長) <～平成26年4月1日>
織田元泰	元静岡市教育長・元常葉学園大学教授
金子賢治	茨城県陶芸美術館館長
川口良子	合同会社 デザイン・アープ代表CEO
川崎博良	静岡市中央商店街連合会(静岡紺屋町名店街理事長)
金原宏行	豊橋市美術博物館館長
小林 忠	岡田美術館館長・学習院大学名誉教授
小針由紀隆	静岡文化芸術大学教授
谷 新	宇都宮美術館館長・美術評論家
増田安由	静岡市校長会(図工美術部会長・富士見小学校校長) <平成26年4月2日～>
●第3期【平成27年6月19日 - 平成29年6月18日】	
天野一夫	豊田市美術館チーフキュレーター
岩城見一	京都大学名誉教授・前京都国立近代美術館館長
金子賢治	茨城県陶芸美術館館長
川口良子	合同会社 デザイン・アープ代表CEO
金原宏行	豊橋市美術博物館館長
小林 忠	岡田美術館館長・学習院大学名誉教授
小針由紀隆	静岡文化芸術大学教授
田中文雄	元静岡県立中央図書館調査課長
服部 功	静岡市中央商店街連合会(静岡紺屋町名店街理事長)
増田安由	静岡市校長会(図工美術部会長・富士見小学校校長)
●第4期【平成29年6月19日 - 令和元年6月18日】	
片瀬恵子	静岡市校長会(図工美術部会長・清水庵原小学校校長)
金子賢治	茨城県陶芸美術館館長
金原宏行	前豊橋市美術博物館館長
小勝禮子	美術史家・元栃木県立美術館学芸課長

氏名	肩書
小針由紀隆	静岡文化芸術大学教授
高松良幸	静岡大学教授
田中文雄	元静岡県立中央図書館調査課長
服部 功	静岡市中央商店街連合会(静岡紺屋町名店街理事長)
村田眞宏	豊田市美術館館長
●第5期【令和元年6月19日 - 令和3年6月18日】	
大石英之	静岡市校長会(図工美術部会長・中田小学校校長) <～令和2年3月31日>
入口強志	静岡市校長会(図工美術部副会長・清水両河内中学校教頭) <令和2年5月25日～令和3年3月31日>
岩崎信男	静岡市校長会(図工美術部会長・長田西中学校校長) <令和3年4月22日～>
川口良子	合同会社 デザイン・アープ代表CEO
金原宏行	前豊橋市美術博物館館長
小勝禮子	美術史家・元栃木県立美術館学芸課長
小針由紀隆	静岡文化芸術大学教授
高松良幸	静岡大学教授
田中文雄	元静岡県立中央図書館調査課長
服部 功	静岡市中央商店街連合会(静岡紺屋町名店街理事長)
村田眞宏	豊田市美術館館長
●第6期【令和3年6月19日 - 令和5年6月18日】	
岩崎信男	静岡市校長会(図工美術部会長・長田西中学校校長)
川口良子	合同会社 デザイン・アープ代表CEO
金原宏行	元豊橋市美術博物館館長・元常葉美術館館長 元常葉学園大学教授
小勝禮子	美術史家・元栃木県立美術館学芸課長
小針由紀隆	ベルナル・ビュフェ美術館館長・元静岡文化芸術大学教授
高松良幸	静岡大学教授・公益財団法人平野美術館評議員
田中文雄	元静岡県立中央図書館調査課長・フェルケール博物館友の会会長
富田 章	公益財団法人東日本鉄道文化財団専務理事・東京ステーションギャラリー館長
服部 功	静岡市中央商店街連合会(静岡紺屋町名店街理事長)
村田眞宏	前豊田市美術館館長・元愛知県立美術館館長
●第7期【令和5年6月19日 - 】	
伊東正伸	練馬区立美術館館長
川口良子	合同会社デザイン・アープ代表社員
金原宏行	元豊橋市美術博物館館長・元常葉美術館館長・元常葉大学教授
小泉憲明	静岡市校長会(図工・美術部部長・賤機中小学校校長)
小勝禮子	美術史家・元栃木県立美術館学芸課長
小針由紀隆	ベルナル・ビュフェ美術館館長・元静岡文化芸術大学文化政策部芸術文化学科教授
田中文雄	静岡平和資料センター長・フェルケール博物館友の会会長
富田 章	公益財団法人東日本鉄道文化財団専務理事・東京ステーションギャラリー館長
服部 功	静岡市中央商店街連合会(静岡紺屋町名店街理事長)
森谷明子	日本画家

※委員の肩書については、各期就任時のものを記載した。

静岡市美術館運営協議会設置要綱

(目的)

第1条 公益財団法人静岡市文化振興財団(以下「当法人」という。)は、静岡市美術館(以下「美術館」という。)の事業及び運営について、幅広く意見を求め、長期的かつ総合的展望に立った運営に資することを目的として、静岡市美術館運営協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

(役割)

第2条 協議会は、美術館の運営に関し美術館長(以下「館長」という。)の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べるものとする。

(委員)

第3条 協議会の委員の定数は、10人とする。

2 委員は、当法人の専務理事が選定し、理事長が委嘱する。

3 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

4 補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員は、任期満了後においても、後任者が就任するまで在任する。

6 委員の氏名等は公表する。

(委員の任期の起算)

第4条 協議会委員の任期は、就任の日から起算する。ただし、任期満了による選任が、任期満了の前に行われたときは、新たな委員の任期は、前任者の任期満了の日の翌日から起算する。

(委員の辞任)

第5条 委員が辞任しようとするときは、理事長に届け出るものとする。

(会長及び副会長)

第6条 協議会に会長及び副会長を置き、委員会において互選する。

2 会長は、会議の議長となり、協議会の会務を総括する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故のあるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第7条 協議会は、館長からの求めに応じ、会長が随時招集する。

2 委員の辞職又は任期満了に伴い会長及び副会長がともに欠けたときは、館長が協議会を招集する。

3 会長は、協議会を招集しようとするときは、委員に対し、開催日の2週間前までに、書面等により日時、場所及び議題その他必要な事項を通知しなければならない。ただし、委員全員の同意があるときは、この限りではない。

4 協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

5 会長は、必要と認めるときは協議会に諮り、関係者に参考人として会議への出席を求め、資料の提供、意見の開陳、説明その他必要な協力を求めることができる。

6 会議当日に会長及び副会長とともに事故があるとき、又は会長及び副会長がともに欠けたときは、あらかじめ会長が指定した委員又は館長が指名した委員がその職務を代理する。

(議事録)

第8条 会議の議事については、その経過の要領及びその結果を記載した議事録を作成するものとする。

2 前項の議事録は館長が保管し、保存年限は当法人文書取扱規程の定めるところによる。

(庶務)

第9条 協議会の事務は、静岡市美術館総務課において処理する。

2 美術館の職員は、協議会その他の事務処理を通じて知り得た事項を他に漏らしてはならない。

(補足)

第10条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、協議会において定める。

附 則

この要綱は、平成23年6月19日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

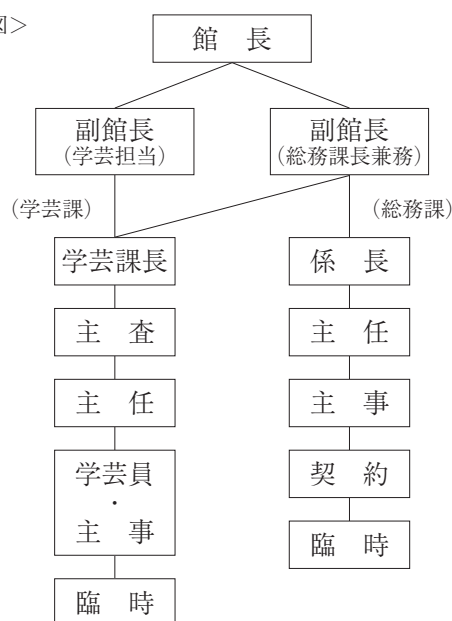
この要綱は、平成25年10月30日から施行する。

附 則

この要綱は、平成31年4月1日から施行する。

8-4 組織図・職員名簿

<組織図>



<職員名簿>(令和5年度)

館長	田中 豊稲
副館長(総務課長兼務)	大畑 綾子
副館長(学芸担当)	高市 純行
(総務課)	
係長	青木 直美
主任	池ヶ谷 志帆
主事	寺崎 薫
契約	青野 貴美
臨時	清水 美香(令和5年7月-)
(学芸課)	
学芸課長	山本 香瑞子(日本近代美術)
主査	高橋 哲也(日本美術)
主査	伊藤 鮎(西洋美術)
主任	大庭 千恵子(広報)
主任	太田 紗世(教育普及)
主任	大石 沙織(日本美術)
主任	安岡 真理(教育普及)
学芸員	小川 かい(西洋美術)
学芸員	深尾 茅奈美(西洋美術)
主事	岡田 牧(広報)
臨時	山中 悠

8-5 条例・施行規則

○静岡市美術館条例

平成21年7月16日
条例第50号

(設置)

第1条 静岡市は、多様な美術表現を広く市民に公開し、静岡市の特色ある美術文化の創造と発信を行い、及び美術文化の交流を促進することにより、美術に関する市民の知識及び教養の向上を図り、もって市民の美術文化を振興することを目的として、次の施設を設置する。

名称	位置
静岡市美術館	静岡市葵区紺屋町17番地の1

(事業)

第2条 静岡市美術館(以下「美術館」という。)は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 美術文化に係る展示会の開催に関すること。
- (2) 美術文化の教育及び普及に関すること。
- (3) 美術文化に係る講演会、講習会等の開催に関すること。
- (4) 美術文化に係る調査及び研究に関すること。
- (5) 美術文化に係る情報の収集及び提供並びに広報活動に関すること。
- (6) 美術作品及び美術に係る資料の収集、保管、展示及び利用に関すること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要があると認める事業(開館時間)

第3条 美術館の開館時間は、午前10時から午後7時までとする。ただし、第7条の規定による指定を受けて美術館の管理を行うもの(以下「指定管理者」という。)が特に必要があると認めるときは、市長の承認を得てこれを変更することができる。

(休館日)

第4条 美術館の休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者が特に必要があると認めるときは、市長の承認を得てこれを変更し、又は臨時に休館することができる。

- (1) 月曜日(当日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下この号において「休日」という。)に当たるときは、その翌日以降の最初の休日以外の日)
- (2) 12月28日から翌年の1月4日までの日

(入館の制限)

第5条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、美術館への入館を拒否し、又は美術館からの退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあると認めるとき。
- (2) 美術館の管理上支障があると認めるとき。
- (3) 前2号に掲げる場合のほか、必要があると認めるとき。

(損害賠償の義務)

第6条 美術館の施設、設備、備品等を損傷し、又は滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めるときは、賠償額を減額し、又は免除することができる。

(指定管理者による管理)

第7条 美術館の管理は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の第3項の規定により、法人その他の団体であつて市長が指定するものに行わせるものとする。

(指定管理者の指定の申請)

第8条 指定管理者の指定を受けようとするものは、事業計画書その他規則で定める書類を添付して市長に申請しなければならない。

(指定管理者の指定の基準)

第9条 市長は、前条の規定による申請を審査し、次に掲げる基準に適合するものの中から、最も効率的かつ適切な管理を行うことができると認めるものを指定管理者として指定するものとする。

- (1) 事業計画が美術館の設置の目的を達成するためにふさわしいものであること。
- (2) 事業計画が美術館の効果的な管理を実現するものであること。
- (3) 事業計画に沿った管理を行うために必要な物的・人的能力を有していると認められること。
- (4) 管理の業務を適切かつ円滑に行うための経理的基礎を有していること。

(指定管理者の指定等の公告)

第10条 市長は、指定管理者を指定したとき、又はその指定を取り消したときは、遅滞なく、その旨を公告するものとする。

(指定管理者の業務の範囲)

第11条 指定管理者が行う業務の範囲は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 第2条に掲げる事業の実施に関すること。
- (2) 美術館の施設及び設備の維持管理に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、市長が必要があると認める業務(指定管理者の原状回復の義務)

第12条 指定管理者は、その指定に係る管理の業務の期間が満了したとき、又は指定を取り消され、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられたときは、その管理しなくなった施設又は設備を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、市長の承認を得たときは、この限りでない。

(委任)

第13条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から起算して12月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。ただし、第1条、第8条から第11条まで及び第13条の規定は、公布の日から施行する。

(平成22年規則第9号で、規則で定める日を平成22年5月1日とした。)

○静岡市美術館条例施行規則

平成21年11月12日
規則第103号

(趣旨)

第1条 この規則は、静岡市美術館条例(平成21年静岡市条例第50号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(入館者の遵守事項)

第2条 静岡市美術館(以下「美術館」という。)の入館者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 火災、爆発その他の危険を生ずるおそれのある行為をしないこと。
- (2) 騒音又は大声を発する等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (3) 動物(身体障害者補助犬法(平成14年法律第49号)第2条第1項に規定する身体障害者補助犬を除く。)又は他人に迷惑を及ぼすおそれのある物品を持ち込まないこと。
- (4) 美術館資料、器物又は施設を汚損し、又は損傷するおそれのある行為をしないこと。
- (5) 許可を受けないで広告類を掲出し、又はまき散らす行為をしないこと。
- (6) 所定の場所以外の場所へ立ち入らないこと。
- (7) 所定の場所以外の場所で飲食をしないこと。
- (8) 喫煙をしないこと。
- (9) 許可を受けないで寄附金品の募集、物品の販売若しくは陳列又は飲食物の販売若しくは提供をしないこと。
- (10) 前各号に掲げるもののほか、指定管理者が管理上支障があると認める行為をしないこと。

(指定管理者の指定の申請書類)

第3条 条例第8条の規定による申請は、静岡市美術館指定管理者指定申請書(様式第1号)に、次に掲げる書類を添えて行うものとする。

- (1) 静岡市美術館事業計画書(様式第2号)
- (2) 静岡市美術館事業計画に関する収支予算書(様式第3号)
- (3) 定款、寄附行為又はこれに準ずるものの謄本
- (4) 役員名簿
- (5) 経営(事業)状況に関する書類
- (6) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要があると認める書類(協定の締結)

第4条 市長は、指定管理者を指定したときは、当該指定管理者と美術館の管理に関する協定を締結するものとする。

2 前項の協定には、次に掲げる事項を掲載するものとする。

- (1) 事業計画に関する事項
- (2) 市が支払うべき管理費用に関する事項
- (3) 管理業務を行うに当たって保有する個人情報の保護に関する事項
- (4) 事業報告に関する事項
- (5) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要があると認める事項(雑則)

第5条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。ただし、第2条の規定は、静岡市美術館条例附則本文に規定する規則で定める日から施行する。

様式第1号(第3条関係)

静岡市美術館指定管理者指定申請書

年 月 日

(あて先)静岡市長

所在地(法人以外の団体にあつては、その代表者の住所)

申請者 名称

代表者氏名

印

電話

静岡市美術館の指定管理者の指定を受けたいので、静岡市美術館条例第8条及び静岡市美術館条例施行規則第3条の規定により、次のとおり関係書類を添えて申請します。

様式第2号(第3条関係)

静岡市美術館事業計画書

事業計画の理念・方針
実施事業の概要(事業の構成及び年間計画表)
実施体制図
特記事項(効果的に事業を行うための方策、市民サービスの向上のための施策等)

様式第3号(第3条関係)

静岡市美術館事業計画に関する収支予算書

収入			千円
	科目	内容・数量	金額
			千円
			千円
			千円
			千円
			千円
			千円
支出			千円
	科目	内容・数量	金額
			千円
			千円
			千円
			千円
			千円
			千円

令和5(2023)年度
静岡市美術館 年報 No.14
2025年2月 発行

編集・発行 静岡市美術館
〒420-0852
静岡市葵区紺屋町17-1 葵タワー3階
TEL 054-273-1515(代)
FAX 054-273-1518

印刷 株式会社アプライズ

©Shizuoka City Museum of Art 2025

